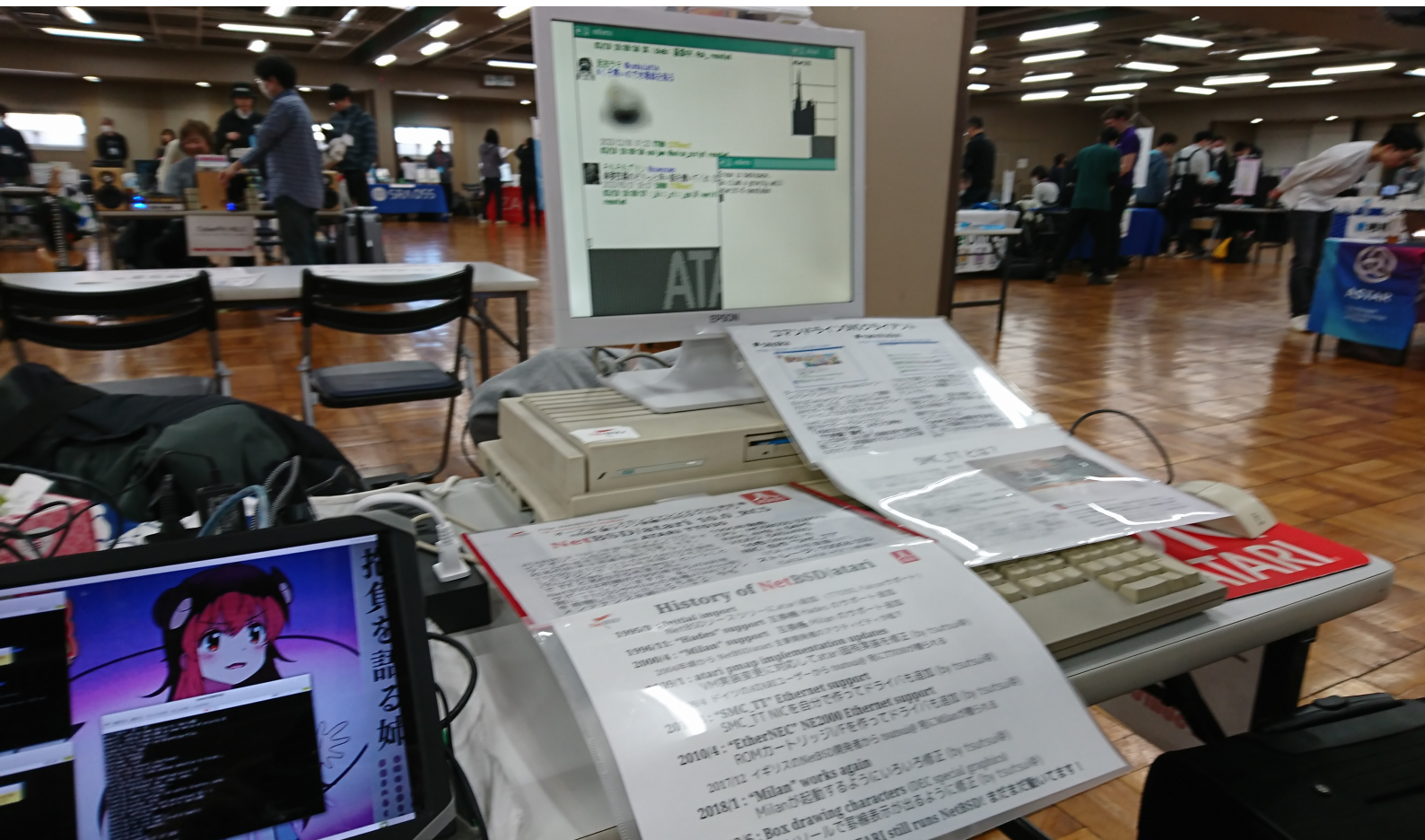


Open Source Conference 観光ガイド

オープンソースカンファレンス 東京春

NetBSD



日本 NetBSD ユーザーグループ

Japan NetBSD Users' Group

2024



\$37,035 raised of \$50,000 goal

Home

[Recent changes](#)
[NetBSD blog](#)
[Presentations](#)

About

[Developers](#)
[Gallery](#)
[Ports](#)
[Packages](#)

Documentation

[FAQ & HOWTOs](#)
[The Guide](#)
[Manual pages](#)
[Wiki](#)

Support

[Community](#)
[Mailing lists](#)
[Bug reports](#)
[Security](#)

Developers

[CVSWeb](#)
[Mercurial](#)
[Cross-reference](#)
[Release engineering](#)
[Projects list](#)

Announcing NetBSD 10.0 (Mar 28, 2024)

Quick links for the impatient:

Download 10.0 from our CDN: [amd64 USB](#), [amd64 CD](#), [various ARM devices](#), full release dir with everything else.

[Hashes](#), signed with the [NetBSD Security Officer's PGP key](#), of all files in the distribution.

Introduction

The NetBSD Project is pleased to announce NetBSD 10.0, the eighteenth major release of the NetBSD operating system.

It represents cumulative improvements to the operating system since NetBSD 9.x was originally branched in 2019.

Upgrade instructions

An existing installation can be upgraded by booting an installation image and selecting the Upgrade option.

If you are using other update methods, update the kernel and modules *first*, then reboot and update your userspace. You will need to adjust any package repository URL and update all third-party packages. Note also the addition of the new `gpfw` set, which may need to be installed separately with `sysinst(8)`.

Please take particular note of *Changes to system behaviour and compatibility* if you are upgrading from an earlier release.

Changes since NetBSD 9.3

Performance and scalability

Benchmarks of NetBSD 10 show huge performance and scalability gains over NetBSD 9.x, especially on multiprocessor and multicore systems, for compute and filesystem-bound applications. Areas of improvement included:

- Switched the kernel's file path lookup cache to use faster per-directory red-black trees.
- Improved scheduler performance, including the ability to more appropriately spread load on a mixture of slow and fast cores (e.g. big.LITTLE Arm CPUs).
- Various optimizations for the machine-independent virtual memory system:
 - Switched to a faster radix tree algorithm for memory page lookups.
 - Improved tracking of clean/dirty pages, speeding up `fsync(2)` on large files by orders of magnitude.
 - Improved parallelization: rewritten page allocator with awareness

NetBSD/newsmips	Sony's MIPS-based “NET WORK STATION” series
NetBSD/next68k	NeXT 68k “black” hardware
NetBSD/ofppc	OpenFirmware PowerPC machines
NetBSD/pmax	Digital MIPS-based DECstations and DECsystems
NetBSD/prep	PReP (PowerPC Reference Platform) and CHRP machines
NetBSD/rs6000	IBM RS/6000 MCA-based PowerPC machines.
NetBSD/sandpoint	Motorola Sandpoint reference platform, including many PPC-based NAS boxes
NetBSD/sgimips	Silicon Graphics' MIPS-based workstations
NetBSD/shark	Digital DNARD (“shark”)
NetBSD/sparc	Sun SPARC (32-bit) and UltraSPARC (in 32-bit mode)
NetBSD/sparc64	Sun UltraSPARC (in native 64-bit mode)
NetBSD/sun2	Sun Microsystems Sun 2 machines with Motorola 68010 CPU
NetBSD/sun3	Motorola 68020 and 030 based Sun 3 and 3x machines
NetBSD/vax	Digital VAX
NetBSD/x68k	Sharp X680x0 series
NetBSD/xen	The Xen virtual machine monitor
NetBSD/zaurus	Sharp Arm PDAs

Ports included in the release but not fully supported or functional:

[NetBSD/ia64](#) Itanium family of processors

Dedication

NetBSD 10.0 is dedicated to the memory of Ryo Shimizu, who passed before it could be released.

ryo@'s contributions to NetBSD, to our community, to ARM and networking (and indeed, to this release) were beyond immense. We are all deeply saddened at the loss of an excellent technical contributor and good friend.

Acknowledgments

The NetBSD Foundation would like to thank all those who have contributed code, hardware, documentation, funds, colocation for our servers, web pages and other documentation, release engineering, and other resources over the years. More information on the people who make NetBSD happen is available at:

www.NetBSD.org/people/

We would also like to thank the Tasty Lime and the Network Security Lab at Columbia University's Computer Science Department for current colocation services. Thanks to [Fastly](#) for providing the CDN services.

About NetBSD

NetBSD is a free, fast, secure, and highly portable Unix-like Open Source operating system. It is available for a wide range of platforms, from large-scale servers and powerful desktop systems to handheld and embedded devices. Its clean design and advanced features make it excellent for use in both production and research environments, and the source code is freely

NetBSD について

NetBSD とは？

NetBSD は、国際的なコミュニティによって開発された、完全に無料でオープンソースの UNIX ライクなオペレーティング システムです。これは「ディストリビューション」でもバリエーションでもありませんが、数十年にわたって進化し、BSD ファミリーの中で完全かつ独自のオペレーティング システムになりました。

NetBSD が最初にリリースされたのは 1993 年です。そのコードは、品質、清潔さ、および安定性の長い歴史に基づいて、時間の経過とともに多くの驚くべき環境に浸透してきました。NetBSD コードは、もともとカリフォルニア大学バークレー校の 4.4BSD Lite2 から派生したものです。

NetBSD は、完全に再現可能なバイナリーのセットとして配布されています：

- **リリース** は、一定期間のテストの後、安定したブランチから定期的に削除され、数年間サポートされます。
- **NetBSD-stable** は、最新のリリース ブランチのナイトリー ディストリビューションであり、次のポイントリリースに含まれる修正と改善が含まれています。同じブランチからのリリースのバイナリと互換性があります。
- **NetBSD-current** は、最新の開発ブランチの夜間配布であり、最新の機能が含まれていますが、実験的な変更やバグが含まれている可能性もあります。現在、-current 用の公式パッケージビルドは作成されていません。

なぜ NetBSD を使うのですか？

NetBSD ユーザーは、シンプルで十分に文書化された、完全に統合された UNIX ライクなシステムを楽しんでいます。このシステムは最小限で、多くの点で伝統的でありながら、多くの現代的で興味深い機能と最近のハードウェアのサポートを含んでいます。

コミュニティとして、NetBSD を作成する人々は幅広い関心を持っており、その結果、いくつかの多様な機能を備えたシステムが生まれました：

- セキュリティおよびメモリ強化機能- デフォルトでグローバルに適用される PaX MPROTECT (W^X) を含み、バイナリを除外するオプションなどがあります。ファイルの整合性保護は **verifexec** によって提供され、従来の BSD は、スーパーユーザーでさえ実行できる操作がさらに制限されます。NetBSD には独自のネイティブ ファイアウォールである **NPF** が含まれており、セキュリティ クリティカルなネットワーク デバイスで正常に使用されています。NetBSD のカーネルとユーザー空間は、コード サニタイザーと自動テストによる広範なチェックを受けています。
- 強力なパッケージ管理- NetBSD の **pkgsrc** には、四半期ごとの安定版ブランチと「ローリング リリース」ブランチの独自のリリース スケジュールがあり、NetBSD ベース システムと任意の方法で組み合わせることができます。 **pkgin** は、pkgsrc 用のユーザー フレンドリーなバイナリ パッケージ マネージャーですが、pkgsrc 自体を使用すると、パワー ユーザーは非常に柔軟に操作できます。 **pkgsrc** は、NASA を含む高性能科学計算コミュニティで広く採用されており、他のプラットフォームをサポートしていますが、NetBSD が優先されます。
- 最新のストレージ機能- **ZFS** ファイル システム、 **RAIDframe** ソフトウェア RAID システム、 **cgd** ディスク暗号化など。 **Logical Volume Manager** だけでなく、従来の BSD ファイルシステム (ロギング拡張機能付き) およびディスクラベル システムもサポートされて
- ARM ハードウェアは、強力な SBBA/SBBR サーバー、オープン ハードウェア ラップトップ、ポケットサイズの開発ボードなど、オープンで低コストのハイエンド デバイスを幅広くサポートし完全にメインライン カーネルにあり、単一のイメージでサポートされ、長期サポートを念頭に置いて NetBSD 開発者によって維持されます。
- 仮想化のサポート- **Xen** で確立されたエンタープライズ ソリューション、およびネイティブの NetBSD カーネル モジュールとライブラリを含み、 **NVMM** ハイパーバイザーを構成します。これにより、クリーンで安全な方法で **QEMU** のハードウェア アクセラレーションが提供されます
- NVMe、UEFI、高速化されたグラフィックス、さまざまな **ラップトップ** など、最新の x86 ハードウェアのサポート。
- 幅広い「レガシー」ハードウェアと ABI の安定したサポートを継続します。64 ビット時間などの機能に妥協することなく、初期の NetBSD リリースに対しても長期的な後方互換性があります。これらのシステムは、2038 年以降も稼働し続ける予定です。

NetBSD プロジェクトの目標

目標がなければ、プロジェクトは意味がありません。ありがたいことに、NetBSD プロジェクトには、かなり長い間忙しくしておくだけの十分な目標があります。一般的に言えば、NetBSD プロジェクトは：

- よく設計された、安定した、高速な BSD システムを提供します。
- ライセンスの煩わしさを回避し、
- 多くのハードウェア プラットフォームで動作するポータブル システムを提供します。
- 他のシステムとの相互運用性が高く、
- 可能な限りオープン システム標準に準拠します。

要約: NetBSD プロジェクトは、専門家、愛好家、研究者が好きなように使用できる、無料で再配布可能なシステムを提供します。

なぜ名前？

NetBSD は、ネットワーク接続されたバージョン管理システムを使用して OS を開発し、1993 年以来電子メールでプロジェクトを組織することで、完全にインターネット上で共同で組織された最初の主要なオープンソース プロジェクトの 1 つでした。インターネットは、NetBSD を可能にした実現技術でした。このように、私たちの名前の「ネット」は、インターネットへのオマージュとして選ばれました。

私たちの名前の「BSD」は、4.4BSDおよび386BSDの派生物としての私たちの伝統を明確に認識しています。

[NetBSD の歴史](#)についてもっと読んでください。

NetBSD を実現する人々

多くの人々が、システム自体の開発、開発のサポート、または単に使用することによって、NetBSD オペレーティング システムを今日の状態にするために多くの時間と労力を費やしてきました。これらの人々は、次のグループに分類できます。

- [NetBSD 開発者](#)
- [NetBSD コアグループ](#)
- [The NetBSD Foundation, Inc.](#)
- [NetBSD ポートメンテナ](#)
- [NetBSD プロジェクト内の他のグループ](#)
- [NetBSD に寄付または融資を行った組織および人々](#)

さらに、カリフォルニア大学バークレー校の [Computer Systems Research Group](#) と [Berkeley Software Distributions](#) への多くの貢献者がいなければ、NetBSD プロジェクトは確実に存在しませんでした。彼らの努力に感謝します。

[NetBSD Foundation](#) は、NetBSD プロジェクトの伝統的な目標と精神に専念する免税法人（米国内国歳入法のセクション 501(c)(3) に基づく）として米国で法人化されており、次の商標を所有しています。「NetBSD」という言葉。

目次:

- I. クイックスタート
 1. バイナリパッケージをインストール (NetBSD)
 2. バイナリ パッケージのインストール (illumos, macOS, Enterprise Linux)
 3. ソースパッケージをインストールする
- II. コミュニティとサポート
- III. 安全
- IV. 問題の解決
- V. pkgsrc が実行されるプラットフォーム
 1. 主な焦点
 2. その他のサポートされているプラットフォーム
- VI. 開発者向け情報
- VII. その他のリンク

クイックスタート

バイナリパッケージをインストール (NetBSD)

を設定し、まだインストールされていない場合はPKG_PATHインストールします。pkgin

```
# PKG_PATH="http://cdn.NetBSD.org/pub/pkgsrc/packages/NetBSD/${uname -p}/${uname -r|cut -f '1 2' -d.}/All/"
# export PKG_PATH
# pkg_add pkgin
```

URL の「リリース」フィールドは、9.2.STABLE ではなく、9.2 のようにする必要があることに注意してください。

pkgin は、pkgsrc バイナリ パッケージを管理するための主要な高レベル ツールであり、aptなどの他のパッケージ マネージャーのユーザーが使い慣れるように設計されています。

```
# pkgin search nginx
nginx-1.19.6      Lightweight HTTP server and mail proxy server
nginx-1.18.0nb8  Lightweight HTTP server and mail proxy server
# pkgin install zsh nginx-1.19.6 vim
# pkgin upgrade
```

NetBSD パッケージのブラウズ可能な Web インデックスが利用可能です。

バイナリ パッケージのインストール (illumos, macOS, Enterprise Linux)

SmartOS/illumos, macOS, NetBSD current, および Enterprise Linux のバイナリ パッケージ セットは、MNX から入手できます。

ソースパッケージをインストールする

pkgsrc を入手する

CVS で pkgsrc HEAD をチェックアウトできます。

```
$ CVS_RSH=ssh cvs -danoncv@anoncv.NetBSD.org:/cvsroot checkout -P pkgsrc
```

または pkgsrc の安定版ブランチ:

```
$ CVS_RSH=ssh cvs -danoncv@anoncv.NetBSD.org:/cvsroot checkout -r pkgsrc-2022Q4 -P pkgsrc
```

または、HTTP から pkgsrc をダウンロードします。

- 現在のブランチを tarball としてダウンロードする
- 安定版ブランチを tarball としてダウンロードします

ブートストラップ

NetBSD 以外のオペレーティング システム、およびデフォルト以外の設定 (異なるインストール PREFIX など) の NetBSD では、pkgsrc は最初にブートストラップ (ツールのビルドとインストール) を行う必要があります。

```
$ cd pkgsrc/bootstrap
$ ./bootstrap --prefix /opt/pkg-2022Q4 --prefer-pkgsrc yes --make-jobs 4
```

パッケージをビルドする

依存関係は自動的にダウンロード、ビルド、およびインストールされます。

```
$ cd pkgsrc/devel/memcached
$ bmake install clean
```

ブートストラップされていない NetBSD インストールでは、bmake単にmake.

ビルドされたパッケージは、バイナリ パッケージ (pkgin, pkg_info など) とまったく同じツールで管理できます。

pbulk, pkg_chk, pkg_rolling-replaceなど、pkgsrc パッケージのビルドとインストールを自動化するさまざまなツールが存在します。

自分でパッケージングを開始する

自分でソフトウェアをパッケージ化して貢献したい場合は、pkgsrc-wipを見てください。

pkgsrc-Users archive

[[Date Prev](#)][[Date Next](#)][[Thread Prev](#)][[Thread Next](#)][[Date Index](#)][[Thread Index](#)][[Old Index](#)]

pkgsrc-2024Q3 branch

- **To:** pkgsrc-users%NetBSD.org@localhost
 - **Subject:** pkgsrc-2024Q3 branch
 - **From:** Thomas Klausner <wiz%NetBSD.org@localhost>
 - **Date:** Mon, 30 Sep 2024 16:33:32 +0200
-

The pkgsrc developers are proud to announce the 84th quarterly release of pkgsrc, the cross-platform packaging system. pkgsrc contains over 26,200 packages, with varying support across 23 distinct operating systems. More information on pkgsrc itself is available at <https://www.pkgsrc.org/>

Since the pkgsrc-2024Q2 release, 128 packages were added, 1505 packages were updated (with 2307 updates, including language-specific updates: 32 Go, 125 Perl, 12 PHP, 778 Python, 192 Ruby). 40 packages were removed.

The count is lower than in previous quarters because by default, Python modules are no longer built for Python 3.8 and 3.9.

For the 2024Q3 release we welcome the following notable package additions:

- Apache Tomcat 10.1.26
- gcc 14.2.0
- Glasgow Interface Explorer (2024-08-10 snapshot)
- mariadb 11.4.3
- mkttool 1.2.0
- vcmi 1.5.6

We welcome the following notable updates:

- CMake 3.30.3
- Erlang 27.0.1
- Gnocash 5.8
- Go 1.21.13, 1.22.6, 1.23.1
- Libreoffice 24.8.0.3
- libzip 1.11.1
- LLVM 18.1.8
- Lua 5.4.7
- mapserver 8.2.2
- MariaDB 10.5.26, 10.6.19, 10.11.9, 11.4.3
- NodeJS 18.20.4, 20.17.0, 22.9.0
- OpenSSH 9.9p1
- Palemoon 33.3.1
- PHP 8.1.30, 8.2.24, 8.3.12
- PostgreSQL 12.20, 13.16, 14.13, 15.8, 16.4
- proj 9.5.0
- Python 3.10.15, 3.11.10, 3.12.6
- Qemu 9.1.0
- Qt6 6.7.2
- R 4.4.1
- restic 0.17.1
- Ruby 3.2.5, 3.3.5
- tiff to 4.7.0
- wesnoth 1.18.2

This branch we say notable goodbyes to:

- MySQL 5.6 & 5.7
- MariaDB 10.4

Changes to the pkgsrc infrastructure and notes:

- nothing in particular

Instructions on using the binary package manager can be found at <https://pkgin.net>, and pkgsrc itself can be retrieved via CVS, tar file, and other mirrors. See <https://www.netbsd.org/docs/pkgsrc/getting.html> for instructions. The branch name for the 2024Q3 branch is "pkgsrc-2024Q3".

- Prev by Date: **Re: Building OpenSSL 3.3.1 links with system libcrypto and libssl**
- Next by Date: **Re: Building OpenSSL 3.3.1 links with system libcrypto and libssl**
- Previous by Thread: **Building OpenSSL 3.3.1 links with system libcrypto and libssl**

Port-arm archive

[[Date Prev](#)][[Date Next](#)][[Thread Prev](#)][[Thread Next](#)][[Date Index](#)][[Thread Index](#)][[Old Index](#)]

2024-10-16-netbsd-raspi-earmv6hf.img (Re: Raspberry Pi update please.)

- To: **port-arm%netbsd.org@localhost**
- Subject: **2024-10-16-netbsd-raspi-earmv6hf.img (Re: Raspberry Pi update please.)**
- From: **Jun Ebihara <jun@soum.co.jp@localhost>**
- Date: Wed, 16 Oct 2024 19:11:44 +0900

I've updated 2024-10-16-netbsd-raspi-earmv6hf.img.gz for RPI.

<https://cdn.netbsd.org/pub/NetBSD/misc/jun/raspberry-pi/2024-10-16-earmv6hf/2024-10-16-netbsd-raspi-earmv6hf.img.gz>
<https://cdn.netbsd.org/pub/NetBSD/misc/jun/raspberry-pi/2024-10-16-earmv6hf/MD5>

Update:

- add net/nanotodon
Nanotodon is a light-weight CUI/C99 mastodon client.

arm64\$ nanotodon

Hello! Welcome to nanotodon!

First, Please tell me the server where you live.

([https://\[please enter this part\]/](https://[please enter this part]/))

>social.mikutter.hachune.net

Next, I will do application authentication.

Please access to following URL, then after authorization, please input displayed authorization code.

https://social.mikutter.hachune.net/oauth/authorize?client_id=XXX...

> [input authorization code]

:

- NetBSD 10.99.12 evbarm-earmv6hf 202410141310Z rpi.img from nyftp.

- add pkgsrc/net/sayaka : SNS called Misskey client support
to show misskey.io timeline with sayaka:

mlterm-wscons

sayaka --local --server misskey.io

- rust build ok: rust-1.76.0nb3.tgz

add earmv6hf to pkgsrc/lang/rust/platform.mk:

```
.if ${OPSYS} == "NetBSD" && (${MACHINE_ARCH} == "aarch64" ||  
${MACHINE_ARCH} == "earmv7hf" || ${MACHINE_ARCH} == "earmv6hf")
```

- armv6 on QEMU (was Re: armv6 support for rust)

<http://mail-index.netbsd.org/port-arm/2024/09/01/msg008901.html>

<http://mail-index.netbsd.org/tech-pkg/2022/10/21/msg026888.html>

- Re: Raspberry Pi camera under NetBSD current

<http://mail-index.netbsd.org/current-users/2021/11/16/msg041683.html>

1. firmware copy start* and fix*

2. sync dtb

- Firmware update

commit 8d5579c475569d1cacf6f386122c050ab09e69b0 (HEAD -> master,

origin/master, origin/HEAD)

Author: Dom Cobley <popcornmix@gmail.com@localhost>

Date: Tue Jul 16 14:09:52 2024 +0100

kernel: Bump to 6.6.40

- Raspberry Pi zero 2 W

<http://mail-index.netbsd.org/port-arm/2022/02/14/msg007593.html>

earmv7hf works well.earmv6hf not yet.

- Raspberry Pi [0-3] have been supported in big-endian mode (Rin Okuyama)

XXX: should test big-endian image and pkgsrc

<http://mail-index.netbsd.org/port-arm/2021/06/17/msg007310.html>

"earmv7hfeb works fine so far, pkgsrc included. aarc64eb doesn't boot
on a Raspberry Pi 3,"

- Fw: gstreamer1 updated, raspberry help needed

<http://mail-index.netbsd.org/port-arm/2021/11/17/msg007498.html>

- multimedia/gst-plugins1-egl-gl

- multimedia/gst-plugins1-egl-opengl

- multimedia/gst-plugins1-omx

PR

#55505 RaspberryPi3A+ can't find Wi-Fi module

<http://gnats.netbsd.org/cgi-bin/query-pr-single.pl?number=55505>

#54941

Raspberry Pi Zero W serial console corrupted when CPU frequency changed
<http://gnats.netbsd.org/54941>

- RPI4: testing on NetBSD/aarch64
<https://github.com/ebijun/NetBSD/blob/master/RPI/RPIimage/Image/aarch64/README>

Changes from 2021-09-18 version

<https://github.com/ebijun/NetBSD/commit/4b4566c7b33b38a9aa9b3ae7326d069d431a1d63>

- pkgin support
 check /usr/pkg/etc/pkgin/repositories.conf.
 I add
<http://cdn.netbsd.org/pub/NetBSD/misc/jun/raspberry-pi/earmv6hf/2021-1>
 for testing, with pkg_summery.gz .

sysinfo:

bind-9.18.30 libssh-48.0 openssh-9.9 opensshd-9.9 sh-20220122-20241014122628Z

pkgsrc:

bash-5.2.37 cairo-1.18.2 curl-8.10.1 freetype2-2.13.3 fribidi-1.0.16
 giflib-5.2.2 git-base-2.46.2 gnutls-3.8.7.1 gobject-introspection-1.80.1nb3
 imlib2-1.12.2nb1 libaom-3.10.0 libepoxy-1.5.10nb2 libgcrypt-1.11.0nb1
 libheif-1.18.2nb2 libproxy-0.5.9 mlterm-3.9.3nb13
 mozilla-rootcerts-1.1.20240827 nanotodon-0.4.0 nhttp2-1.63.0 pixman-0.43.4
 pkg_install-20240826 png-1.6.44 py312-setuptools-75.1.0 python312-3.12.7
 qt5-qtbase-5.15.15 qt5-qtxmlpatterns-5.15.15
 raqm-0.10.2 ruby32-atk-4.2.3 ruby32-cairo-gobject-4.2.3 ruby32-gdk3-4.2.3
 ruby32-gdk_pixbuf2-4.2.3 ruby32-gio2-4.2.3 ruby32-glib2-4.2.3
 ruby32-gobject-introspection-4.2.3 ruby32-gtk3-4.2.3 ruby32-pango-4.2.3
 sayaka-3.8.1 sudo-1.9.16nb1 svt-av1-2.2.0 tiff-4.7.0 wayland-protocols-1.37
 x265-4.0

Need Checking:

- bluetooth keyboard/mouse setting
- RPI camera module
<http://mail-index.netbsd.org/current-users/2021/11/16/msg041683.html>

Got Reports:

- HDMI output works very well however I wanted to change the resolution into 800x600 both tty console and X Window graphical modes. Where should I change it? As config.txt with hdmi_group=1, hdmi_mode=1 or hdmi_safe=1 didn't work.
- USB input devices seem to work fine as well with my USB keyboard, mouse and barcode reader. However for my USB output device such as my Xprinter printer didn't work with device driver of ulpt(4). It is detected and working in OpenBSD.[9.0 release also occurs same error]

```
[ 195.114857] ulpt0 at uhub1 port 5 configuration 1 interface 0
[ 195.114857] ulpt0: Xprinter (0x0483) USB Printer P (0x5743), rev
2.00/1.00, addr 5, iclass 7/1
[ 195.114857] ulpt0: using bi-directional mode
```

- ```
rpi# cat myfile.txt > /dev/ulpt0
-sh: cannot create /dev/ulpt0: error 16
```
- with my Raspberry Pi 3B because every time I invoked this command "shutdown -h now" a kernel panic occurs relating to usbdtmfer.
  - After shutting-down leaving the system unplugged, this will turn it's processor very very hot and seems harmful to the system.

pre-installed packages:

<https://github.com/ebijun/NetBSD/blob/master/RPI/RPIimage/pkgsrc/pkginfo>

Keyboard layout checkpoint:

<http://www.netbsd.org/docs/guide/en/chap-cons.html>

/etc/wscons.conf

```
#encoding sv
#encoding us.swapctrlcaps
encoding jp
```

System Update:

<http://cvsweb.netbsd.org/bsdweb.cgi/src/distrib/sets/lists/base/shl.mi>

RPI Wifi:

<http://mail-index.netbsd.org/port-arm/2019/08/31/msg006102.html>

Overview:

[http://wiki.NetBSD.org/ports/evbarm/raspberry\\_pi/](http://wiki.NetBSD.org/ports/evbarm/raspberry_pi/)

QEMU,with GENERIC kernel : vexpress to GENERIC: testing

<https://github.com/ebijun/NetBSD/tree/master/vexpress/Boot>  
<https://github.com/ebijun/NetBSD/tree/master/vexpress/vexpress-v2p-ca15-tc1.dtb>  
<http://cdn.netbsd.org/pub/NetBSD/misc/jun/raspberry-pi/2024-10-16-earmv6hf/QEMU/netbsd-GENERIC.ub.gz>  
<http://mail-index.netbsd.org/port-arm/2017/06/02/msg004154.html>

dmesg:

Port-arm archive

[\[Date Prev\]](#)[\[Date Next\]](#)[\[Thread Prev\]](#)[\[Thread Next\]](#)[\[Date Index\]](#)[\[Thread Index\]](#)[\[Old Index\]](#)

## 2024-10-16-netbsd-raspi-aarch64.img

- **To:** [port-arm%netbsd.org@localhost](mailto:port-arm%netbsd.org@localhost)
- **Subject:** 2024-10-16-netbsd-raspi-aarch64.img
- **From:** Jun Ebihara <[jun%soum.co.jp@localhost](mailto:jun%soum.co.jp@localhost)>
- **Date:** Wed, 16 Oct 2024 12:54:34 +0900

I've updated 2024-10-16-netbsd-raspi-aarch64.img.gz for RPI4.

<https://cdn.netbsd.org/pub/NetBSD/misc/jun/raspberry-pi/2024-10-16-aarch64/2024-10-16-netbsd-raspi-aarch64.img.gz>  
<https://cdn.netbsd.org/pub/NetBSD/misc/jun/raspberry-pi/2024-10-16-aarch64/MD5>

Topics:

- add net/nanotodon  
Nanotodon is a light-weight CUI/C99 mastodon client.

arm64\$ nanotodon

Hello! Welcome to nanotodon!

First, Please tell me the server where you live.

([https://\[please enter this part\]/](https://[please enter this part]/))

>social.mikutter.hachune.net

Next, I will do application authentication.

Please access to following URL, then after authorization, please input displayed authorization code.

[https://social.mikutter.hachune.net/oauth/authorize?client\\_id=XXX...](https://social.mikutter.hachune.net/oauth/authorize?client_id=XXX...)

> [input authorization code]

:

- [Researching] RPI5:

Re: NetBSD on Raspberry PI5

<http://mail-index.netbsd.org/port-arm/2024/08/21/msg008868.html>

<https://github.com/worproject/rpi5-uefi>

This image has rpi5-uefi 0.3.

/boot:

RPI\_EFI.fd.rpi5-uefi  
config.txt.rpi5-uefi  
bcm2712-rpi-5-b.dtb

- [Test] Firmware update /boot/fixup4\*.dat,start4\*.elf  
commit 48cd9f9dfe536c5ad32367a1554b12d5a7325d00 (HEAD -> master,  
origin/master, origin/HEAD)

Author: Dom Cobley <[popcornmix@gmail.com](mailto:popcornmix@gmail.com)@localhost>

Date: Fri Sep 13 16:04:06 2024 +0100

- SD/MMC Configuration

Switch Default uSD/eMMC Routing: Arasan SDHCI -> EMMC2

<http://mail-index.netbsd.org/port-arm/2021/08/08/msg007393.html>

the Arasan SDHCI is used to connect bwfm(4).

In this image, a symbolic link added

/libdata/firmware/if\_bwfm:

ln -s brcmfmac43455-sdio.raspberrypi,4-model-b.txt

"brcmfmac43455-sdio.Raspberry Pi 4 Model B.txt"

to avoid

bwfm0: autoconfiguration error: NVRAM file not available

- only for RPI4

(fill dtb for RPI3?)

- build script

<https://github.com/ebijun/NetBSD/tree/master/RPI/RPIimage/Image/aarch64>

- [Issue] Can't recognize D05 partition from Windows

Should I Use MBR version image?

- rpi cm4 + waveshare mini base board B seems stop after kernel load

fixed: To use USB,set UEFI+FDT

<http://mail-index.netbsd.org/port-arm/2021/06/30/msg007343.html>

<http://mail-index.netbsd.org/port-arm/2022/10/03/msg007875.html>

- pkgin support

edit /usr/pkg/etc/pkgin/repositories.conf

cf.

<https://cdn.netbsd.org/pub/NetBSD/misc/jun/raspberry-pi/aarch64/2024>

and pkgin update

sysinfo:

Port-arm archive

[[Date Prev](#)][[Date Next](#)][[Thread Prev](#)][[Thread Next](#)][[Date Index](#)][[Thread Index](#)][[Old Index](#)]

## 2024-10-17-netbsd-armv7-earmv7hf.img

- **To:** [port-arm%netbsd.org@localhost](mailto:port-arm%netbsd.org@localhost)
- **Subject:** 2024-10-17-netbsd-armv7-earmv7hf.img
- **From:** Jun Ebihara <[jun%soum.co.jp@localhost](mailto:jun%soum.co.jp@localhost)>
- **Date:** Thu, 17 Oct 2024 11:57:52 +0900

I've updated 2024-10-17-netbsd9-armv7-earmv7hf.img.gz for RPI Zero2W/2/3.

<http://cdn.netbsd.org/pub/NetBSD/misc/jun/armv7/2024-10-17-earmv7hf/2024-10-17-netbsd-armv7-earmv7hf.img.gz>  
<http://cdn.netbsd.org/pub/NetBSD/misc/jun/armv7/2024-10-17-earmv7hf/MD5>

Update:

- add net/nanotodon  
Nanotodon is a light-weight CUI/C99 mastodon client.

\$ nanotodon

Hello! Welcome to nanotodon!

First, Please tell me the server where you live.

([https://\[please enter this part\]/](https://[please enter this part]/))

>social.mikutter.hachune.net

Next, I will do application authentication.

Please access to following URL, then after authorization, please input displayed authorization code.

[https://social.mikutter.hachune.net/oauth/authorize?client\\_id=XXX...](https://social.mikutter.hachune.net/oauth/authorize?client_id=XXX...)

> [input authorization code]

:

- NetBSD 10.99.12 evbarm-armv7hf 202410141310Z armv7.img from nyftp.

- Raspberry PI zero 2 W support

  need internal Wi-Fi support

- Firmware:

commit de0f03dd9c1893785d0303797bac63fdded8b17a (HEAD -> master,

origin/master, origin/HEAD)

Author: Dom Cobley <[popcornmix@gmail.com](mailto:popcornmix@gmail.com)@localhost>

Date: Thu Oct 10 18:45:02 2024 +0100

sysinfo:

bind-9.18.30 libssh-48.0 openssh-9.9 opensshd-9.9 sh-20220122-20241014122628Z

pkgsrc:

bash-5.2.37 cairo-1.18.2 curl-8.10.1 fribidi-1.0.16 giflib-5.2.2

git-base-2.47.0 libaom-3.10.0nbl libproxy-0.5.9 mlterm-3.9.3nbl3

nanotodon-0.4.0 pixman-0.43.4 python312-3.12.7 qt5-qtbase-5.15.15 raqm-0.10.2

ruby32-atk-4.2.3 ruby32-cairo-gobject-4.2.3 ruby32-gdk3-4.2.3

ruby32-gdk\_pixbuf2-4.2.3 ruby32-gio2-4.2.3 ruby32-glib2-4.2.3

ruby32-gobject-introspection-4.2.3 ruby32-gtk3-4.2.3 ruby32-pango-4.2.3

sayaka-3.8.1 sudo-1.9.16nbl tiff-4.7.0

- packages:

<http://cdn.netbsd.org/pub/NetBSD/misc/jun/raspberry-pi/earmv7hf/2024/>

- pre-installed packages:

<https://github.com/ebijun/NetBSD/blob/master/RPI/RPIimage/Image/earmv7hf/pkginfo>

Keyboard layout checkpoint:

<http://www.netbsd.org/docs/guide/en/chap-cons.html>

/etc/wscons.conf

#encoding sv

#encoding us.swapctrlcaps

encoding jp

System Update:

<http://cvsweb.netbsd.org/bsdweb.cgi/src/distrib/sets/lists/base/shl.mi>

dmesg:

<https://github.com/ebijun/NetBSD/blob/master/dmesg/earmv7hf/RPIZero2W>

<https://github.com/ebijun/NetBSD/blob/master/dmesg/earmv7hf/RPI2>

<https://github.com/ebijun/NetBSD/blob/master/dmesg/earmv7hf/RPI2-1.2>

<https://github.com/ebijun/NetBSD/blob/master/dmesg/earmv7hf/RPI3>

<https://github.com/ebijun/NetBSD/blob/master/dmesg/earmv7hf/RPI3A+>

<https://github.com/ebijun/NetBSD/blob/master/dmesg/earmv7hf/RPI3B+>

- BeagleBone Black i2cscan does not work in CURRENT.

<http://mail-index.netbsd.org/port-arm/2024/10/16/msg009011.html>

Port-arm archive

[[Date Prev](#)][[Date Next](#)][[Thread Prev](#)][[Thread Next](#)][[Date Index](#)][[Thread Index](#)][[Old Index](#)]

## pinebook status update (20241018)

- **To:** [port-arm%netbsd.org@localhost](mailto:port-arm%netbsd.org@localhost)
- **Subject:** pinebook status update (20241018)
- **From:** Jun Ebihara <[jun%soum.co.jp@localhost](mailto:jun%soum.co.jp@localhost)>
- **Date:** Fri, 18 Oct 2024 08:30:43 +0900

NetBSD Arm Bootable Images: NetBSD9/NetBSD10/NetBSD-current  
<https://www.armbsd.org>

### Problems:

- pinebook:  
Using audio interface, rebooting.  
PR port-arm/57111
- Pinebook Pro graphics noticeably slower since DRM update  
fixed: PR port-arm/56596  
<http://gnats.netbsd.org/cgi-bin/query-pr-single.pl?number=56596>
- gimp with -python option: don't depends on python27 packages
- seamonkey 2.53.10 can't start
- gnuCash build failed
- USB Audio 2.0 Support  
<http://mail-index.netbsd.org/current-users/2022/06/03/msg042467.html>  
<https://raw.githubusercontent.com/openbsd/src/master/sys/dev/usb/uaudio.c>

### Topics:

- Tow-Boot on Pinebook Pro  
<https://tow-boot.org/devices/pine64-pinebookPro.html>  
need more testing on NetBSD.
- Pinebook GPU  
"I think I am making a bit of progress with the DRM driver  
for the Pinebook."  
<http://mail-index.netbsd.org/port-arm/2022/05/12/msg007650.html>
- pkgsrc update as after 2022Q1.  
firefox 98.0.2 and libreoffice 7.3.1.3  
<https://twitter.com/ebijun/status/1513773516402790403>
- graphical mixer for NetBSD audio.

### on pinebook:

```
Select a mixer device:
[*] /dev/mixer0: sun50i-a64-audio ausoc
[] /dev/mixer1: hdmi-audio ausoc
```

### on pinebook pro:

```
XXX: [inputs] tab controls audio output level.
https://twitter.com/ebijun/status/1395184397599469568
```

### - Audio CD with wavpack

#### Encode:

On Windows: Exact Audio Copy & foobar2000

On pkgsrc:

```
1. pkg_add abcde; pkg_add glyr
 abcde -d /dev/rca0a -B -o wav -l -a default,cue
 -> wav,cue,jpg file created.
```

```
2. pkg_add wavpack
```

```
wavpack -h .wav --write-binary-tag "Cover Art (Front)=@.jpg" -w
"cuesheet=@.cue"
-> wav file created.
```

### Play:

```
qmp: can play wavpack file with cue. How can I show Cover Art?
Setting->Output->OSS plugin(liboss.so)
```

### - audio0 input issue

```
http://mail-index.netbsd.org/port-arm/2021/02/22/msg007185.html
"Is audio input from the inbuilt microphone(s) working? I get "read failed:
Resource temporarily unavailable" from audiorecord"
audio0(ausoc1): trigger_input failed: errno=5
audio0(audoc1): device timeout
```

### pkgsrc:

- works : inkscape, scribes, seamonkey, minitube, mikutter, xournalpp, libreoffice
- firefox 90.0 and libreoffice 7.1.4.2 on NetBSD 9.99.85/aarch64 on pinebook.

Port-arm archive

[[Date Prev](#)][[Date Next](#)][[Thread Prev](#)][[Thread Next](#)][[Date Index](#)][[Thread Index](#)][[Old Index](#)]

## apple m1 status update (20241017)

- **To:** [port-arm%netbsd.org@localhost](mailto:port-arm%netbsd.org@localhost)
- **Subject:** apple m1 status update (20241017)
- **From:** Jun Ebihara <[jun%soum.co.jp@localhost](mailto:jun%soum.co.jp@localhost)>
- **Date:** Thu, 17 Oct 2024 15:31:02 +0900

Install:

<https://wiki.netbsd.org/ports/evbarm/apple/>

Update:

bind-9.18.30  
libssh-48.0  
openssh-9.9  
boost-libs-1.86.0  
firefox-131.0.2  
libreoffice-24.8.2.1  
mlterm-3.9.3nb13  
osabi-NetBSD-10.99.12  
python312-3.12.7  
rust-1.80.1  
samba-4.20.5  
sayaka-3.8.1

Topics:

- USB2 audio

works ok

uaudio0 at uhub5 port 1 configuration 1 interface 0  
uaudio0: LUXMAN LXU-OT2 (0x08bb) LUXMAN LXU-OT2 (0x2704), rev  
1.10/1.00, addr 17  
uaudio0: audio rev 1.00  
audio0 at uaudio0: playback  
audio0: slinear\_le:16 2ch 48000Hz, blk 11520 bytes (60ms) for playback

recognize ok ,but sound output awful just like boss overdrive compressor.

uaudio0 at uhub5 port 1 configuration 1 interface 0  
uaudio0: Topping (0x152a) D10s (0x8750), rev 2.00/1.04, addr 5  
uaudio0: ignored setting with format 0x80000000  
uaudio0: audio rev 2.00  
audio0 at uaudio0: playback  
audio0: slinear\_le:16 2ch 48000Hz, blk 11520 bytes (30ms) for playback

- pkgsrc/textproc/ruby-nokogiri

make package  
ok with ar 2.34  
failed with ar 2.39

- X

startx failed with signal 11,  
till NetBSD-10.99.2-evbarm-aarch64-202302150640Z

X.Org X Server 1.21.1.7

```
[40.591] (EE) Backtrace:
[40.592] (EE) 0: /usr/X11R7/bin/X (xorg_backtrace+0x3c) [0x9761b8c]
[40.592] (EE) 1: /usr/X11R7/bin/X (os_move_fd+0x78) [0x975d4f8]
[40.592] (EE) 2: /usr/lib/libc.so.12 (__sigtramp_siginfo_2+0x0)
[0xf7d48807e1e8]
[40.592] (EE) 3: /usr/X11R7/bin/X (CreateColormap+0x418) [0x9644a68]
[40.592] (EE) 4: /usr/X11R7/bin/X (miCreateDefColormap+0x84) [0x96b7744]
[40.592] (EE) 5: /usr/X11R7/lib/modules/drivers/wsfb_drv.so
(+0x147c) [0xf7d4874e322c]
[40.592] (EE) 6: /usr/X11R7/bin/X (AddScreen+0xac) [0x9639c6c]
[40.592] (EE) 7: /usr/X11R7/bin/X (InitOutput+0x26c) [0x967616c]
[40.592] (EE) 8: /usr/X11R7/bin/X (dix_main+0x1a0) [0x9608fd0]
[40.592] (EE)
[40.592] (EE) Segmentation fault at address 0xf7d487aa07f0
[40.592] (EE)
```

Fatal server error:

```
[40.592] (EE) Caught signal 11 (Segmentation fault). Server aborting
```

startx but colormap

<https://twitter.com/ebijun/status/1583622834990956545>

startx -- -depth 30

<http://mail-index.netbsd.org/port-arm/2021/10/21/msg007458.html>  
<https://twitter.com/ebijun/status/1480042814704873473>

application checked via tigervnc.  
<https://twitter.com/ebijun/status/1615544069161357314>

- pkgsrc/net/tigervnc build failed depends:  
 x11/libXfont2:  
 ERROR: This package has set PKG\_SKIP\_REASON:  
 ERROR: Package set is using native X11 component  
 works with comment out  
 #.include "../../x11/libXfont2/buildlink3.mk"

- pkgsrc/x11/xterm failed  
 ld: fontutils.o: undefined reference to symbol 'FT\_Load\_Char'  
 ld: /usr/X11R7/lib/libfreetype.so.19: error adding symbols: DSO  
 missing from command line

## Hardware:

Apple Mac mini M1 2020 A2348  
 USB SSD 512GB BUFFALO SSD-PGM2.0U3-BC

| Filesystem | 1M-blocks | Used   | Avail  | %Cap | Mounted on |
|------------|-----------|--------|--------|------|------------|
| /dev/dk6   | 480587    | 198243 | 258314 | 43%  | /          |
| /dev/dk5   | 79        | 34     | 44     | 43%  | /boot      |
| ptyfs      | 0         | 0      | 0      | 100% | /dev/pts   |
| procfs     | 0         | 0      | 0      | 100% | /proc      |
| tmpfs      | 1912      | 0      | 1912   | 0%   | /var/shm   |

## ToDo:

- audio  
 - Wireless LAN

## pkgsrc:

- pkgsrc packages:  
<http://cdn.netbsd.org/pub/NetBSD/misc/jun/aarch64/aarch64/2024/pkgin>  
 support

## System Updates:

## sysinfo:

bind-9.18.30 libssh-48.0 openssh-9.9 opensshd-9.9 sh-20220122-20241014122628Z  
 wpa\_supplicant-2.11 yacc-2.020240109

## pkgsrc:

ImageMagick-7.1.1.35nb1 MesaLib-21.3.9nb4 SDL2-2.30.8 atril-1.26.2nb5  
 bash-5.2.37 boost-headers-1.86.0 boost-jam-1.86.0 boost-libs-1.86.0  
 bsdtar-3.7.5 cairo-1.18.2 cbindgen-0.27.0 cmake-3.30.5 curl-8.10.1  
 deforaos-pdfviewer-0.1.0nb27 emacs-29.4 emacs29-29.4nb3 exempi-2.5.2nb8  
 ffmpeg4-4.4.5 ffmpeg5-5.1.6 ffmpeg6-6.1.2nb1 ffmpeg7-7.1 firefoxi-131.0.2  
 firefox-l10n-131.0.2 firefox115-115.16.1 firefox115-l10n-115.16.0  
 fribidi-1.0.16 gcc14-libjit-14.2.0 ghostscript-agpl-10.04.0 giflib-5.2.2  
 gimp-2.10.38nb3 git-base-2.47.0 graphviz-12.1.2nb1 gst-plugins1-bad-1.24.8  
 gst-plugins1-base-1.24.8 gst-plugins1-good-1.24.8 gstreamer1-1.24.8  
 imath-3.1.12 imlib2-1.12.2nb1 jwm-2.4.5 libLLVM-13.0.1nb4 libabw-0.1.3nb21  
 libaom-3.10.0nb1 libarchive-3.7.5 libcdr-0.1.7nb14 libclucene-2.3.3.4nb26  
 libdeflate-1.22 libe-book-0.1.3nb30 libepoxy-1.5.10nb2 libepubgen-0.1.1nb9  
 libetonyek-0.1.10nb14 libfreehand-0.1.2nb22 libgsf-1.14.53 libheif-1.18.2nb2  
 libixion-0.19.0nb2 libmtp-0.1.4nb29 libmwaw-0.3.2nb4 libodfgen-0.1.7nb9  
 libpagemaker-0.0.4nb15 libproxy-0.5.9 libqxp-0.0.2nb23 libreoffice-24.8.2.1  
 librevenge-0.0.5nb1 libstaroffice-0.0.7nb9 libuv-1.49.1 libvisio-0.1.7nb24  
 libwpd-0.10.3nb9 libwpg-0.3.3nb12 libwps-0.4.12nb8 libzip-1.11.1  
 libzmf-0.0.2nb31 mdds-2.1.1nb2 meson-1.5.2 mlterm-3.9.3nb13  
 mozilla-rootcerts-1.1.20240827 nss-3.105 orc-0.4.40 orcus-0.19.2nb1  
 osabi-NetBSD-10.99.12 osg-3.6.5nb56 p5-ExtUtils-InstallPaths-0.014  
 p5-HTTP-Message-7.00 p5-Mozilla-CA-20240924 p5-Net-DNS-1.47  
 p5-Scalar-List-Utils-1.66 p5-URI-5.30 p5-namespace-autoclean-0.31  
 pkg\_install-20240826 png-1.6.44 poppler-24.10.0 poppler-cpp-24.10.0  
 poppler-includes-24.10.0 protobuf-28.2 py-cairo-shared-1.27.0  
 py311-installer-0.7.0nb1 py311-pspdfutils-3.3.2 py312-Pillow-10.4.0nb1  
 py312-Socks-1.7.1nb1 py312-babel-2.16.0 py312-brotli-1.1.0  
 py312-brotlicffi-1.1.0.0 py312-build-1.2.2.post1 py312-cairo-1.27.0  
 py312-charset-normalizer-3.4.0 py312-dns-2.7.0 py312-docutils-0.21.2  
 py312-glad2-2.0.8 py312-idna-3.10 py312-importlib-metadata-8.5.0  
 py312-iso8601-2.1.0nb1 py312-jinja2-3.1.4 py312-markupsafe-3.0.1  
 py312-olefile-0.47 py312-pdf-5.0.1 py312-puremagic-1.28 py312-pyparsing-3.2.0  
 py312-pyproject\_hooks-1.2.0 py312-pytz-2024.2 py312-requests-2.32.3nb1  
 py312-roman-4.2 py312-setuptools-75.2.0 py312-tomli-2.0.2  
 py312-trove-classifiers-2024.10.13 py312-urllib3-2.2.3 py312-zipp-3.20.2  
 py312-zstandard-0.23.0 python312-3.12.7 raqm-0.10.2 rhash-1.4.5  
 ruby32-atk-4.2.3 ruby32-cairo-gobject-4.2.3 ruby32-gdk3-4.2.3  
 ruby32-gdk\_pixbuf2-4.2.3 ruby32-gio2-4.2.3 ruby32-glib2-4.2.3  
 ruby32-gobject-introspection-4.2.3 ruby32-gtk3-4.2.3 ruby32-pango-4.2.3  
 ruby32-unf-0.2.0 rust-1.80.1 samba-4.20.5 sayaka-3.8.1 sudo-1.9.16nb1  
 tiff-4.7.0 tree-sitter-0.24.3 tree-sitter-elixir-0.3.1 tree-sitter-go-mod-1.1.0  
 vlc-3.0.21nb1 vte3-0.76.4 wayland-protocols-1.37 wxGTK32-3.2.6 x265-4.0  
 xfce4-tumbler-4.18.2nb8 xscreensaver-6.08nb6

## Version:

NetBSD 10.99.12 (GENERIC64) #0: Mon Oct 14 12:26:28 UTC 2024  
 mkrepro%mkrepro.NetBSD.org@localhost:/usr/src/sys/arch/evbarm/compile/GENERIC64

# 1. 東京

Maps:

<https://maps.google.co.jp/maps/ms?msa=0&msid=208676479199435389545.0004c2d1822250759aa9f>

このドキュメント:

<https://github.com/ebijun/NetBSD/blob/master/Guide/Place/tokyo.rst>

## 2. 東京でのオープンソースカンファレンス

| 開催年         | 開催日         | 参加者  | 参加グループ | 会場              |
|-------------|-------------|------|--------|-----------------|
| 2004        | 9/4         | 500  | 20     | 日本電子専門学校        |
| 2005        | 3-25-26     | 1100 | 33     | 日本電子専門学校        |
| 2005 Fall   | 9/17        | 800  | 35     | 日本電子専門学校        |
| 2006 Spring | 3/17-18     | 1100 | 47     | 日本電子専門学校        |
| 2006 Fall   | 10/28       | 800  | 46     | 日本電子専門学校        |
| 2007 Spring | 3/16-3/17   | 1200 | 42     | 日本電子専門学校        |
| 2007 Fall   | 10/5-10/6   | 1410 | 45     | 大田区産業プラザPiO     |
| 2008 Spring | 2/29        | 1500 | 46     | 日本電子専門学校        |
| 2008 Fall   | 10/3-10/4   | 1300 | 58     | 大田区産業プラザPiO     |
| 2009 Spring | 2/20-2/21   | 1450 | 77     | 日本電子専門学校        |
| 2009 Fall   | 10/30-10/31 | 1600 | 78     | 日本工学院専門学校       |
| 2010 Spring | 2/26-2/27   | 1300 | 76     | 明星大学            |
| 2010 Fall   | 9/9-9/10    | 1400 | 77     | 明星大学            |
| 2011 Spring | 3/4-3/5     | 2100 | 84     | 早稲田大学           |
| 2011 Fall   | 11月19日      | 1500 | 75     | 明星大学            |
| 2012 Spring | 3/16-3/17   | 1700 | 74     | 明星大学            |
| 2012 Fall   | 9/6-9/7     | 1450 | 82     | 明星大学            |
| 2013 Spring | 2/22-2/23   | 1700 | 78     | 明星大学            |
| 2013 Fall   | 10/19-20    | 1300 | 80     | 明星大学            |
| 2014 Spring | 2/28-3/1    | 1900 | 82     | 明星大学            |
| 2014 Fall   | 10/18-19    | 1550 | 72     | 明星大学            |
| 2015 Spring | 2/27-28     | 1700 | 79     | 明星大学            |
| 2015 Fall   | 10/24-25    | 1550 | 77     | 明星大学            |
| 2016 Spring | 2/26-27     | 1550 | 71     | 明星大学            |
| 2016 Fall   | 11/5-6      | 1350 | 77     | 明星大学            |
| 2017 Spring | 3/10-11     | 1300 | 72     | 明星大学            |
| 2017 Fall   | 9/9-10      | 1100 | 57     | 明星大学            |
| 2018 Spring | 2/23-24     | 1200 | 62     | 明星大学            |
| 2018 Fall   | 10/27-28    | 1050 | 62     | 明星大学            |
| 2019 Spring | 2/22-23     | 1010 | 68     | 明星大学            |
| 2019 Fall   | 11/23-24    | 830  | 63     | 明星大学            |
| 2020 Spring | 4/24-25     | 500  | 19     | オンライン           |
| 2020 Fall   | 10/23-24    | 500  | 15     | オンライン           |
| 2021 Spring | 3/6-7       | 570  | 26     | オンライン           |
| 2021 Fall   | 10/22-23    | 350  | 18     | オンライン           |
| 2022 Spring | 3/11-12     | 420  | 19     | オンライン           |
| 2022 Fall   | 10/28-29    | 270  | 15     | オンライン           |
| 2023 Spring | 3/10-11     | 340  | 18     | オンライン           |
| 2023 Spring | 4/1         | 450  | 53     | 東京都立産業貿易センター台東館 |
| 2023 Fall   | 9/29-30     | 202  | 14     | オンライン           |
| 2023 Fall   | 10/21       | 300  | 29     | 大田区産業プラザPiO     |
| 2024 Spring | 3/1-2       | 312  | 20     | オンライン           |
| 2024 Spring | 3/10        | 530  | 48     | 東京都立産業貿易センター台東館 |

|           |       |                 |
|-----------|-------|-----------------|
| 2024 Fall | 3/1-2 | オンライン           |
| 2024 Fall | 3/10  | 東京都立産業貿易センター台東館 |

## 2.1. 観光ガイドバックナンバー

これまですべてのバックナンバーは <https://github.com/ebijun/osc-demo> にあります。

| No  | イベント       | URL                                                                                                                     |
|-----|------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 204 | OSC2024東京秋 | <a href="http://www.re.soum.co.jp/~jun/OSC2024tokyofall.pdf">http://www.re.soum.co.jp/~jun/OSC2024tokyofall.pdf</a>     |
| 197 | OSC2024東京春 | <a href="http://www.re.soum.co.jp/~jun/OSC2023tokyospring.pdf">http://www.re.soum.co.jp/~jun/OSC2023tokyospring.pdf</a> |
| 190 | OSC2023東京秋 | <a href="http://www.re.soum.co.jp/~jun/OSC2023tokyofall.pdf">http://www.re.soum.co.jp/~jun/OSC2023tokyofall.pdf</a>     |
| 185 | OSC2023東京春 | <a href="http://www.re.soum.co.jp/~jun/OSC2023tokyospring.pdf">http://www.re.soum.co.jp/~jun/OSC2023tokyospring.pdf</a> |
| 181 | OSC2022東京秋 | <a href="http://www.re.soum.co.jp/~jun/OSC2022tokyofall.pdf">http://www.re.soum.co.jp/~jun/OSC2022tokyofall.pdf</a>     |
| 175 | OSC2022東京春 | <a href="http://www.re.soum.co.jp/~jun/OSC2022tokyospring.pdf">http://www.re.soum.co.jp/~jun/OSC2022tokyospring.pdf</a> |
| 171 | OSC2021東京秋 | <a href="http://www.re.soum.co.jp/~jun/OSC2021tokyofall.pdf">http://www.re.soum.co.jp/~jun/OSC2021tokyofall.pdf</a>     |
| 164 | OSC2021東京春 | <a href="http://www.re.soum.co.jp/~jun/OSC2021tokyospring.pdf">http://www.re.soum.co.jp/~jun/OSC2021tokyospring.pdf</a> |
| 159 | OSC2020東京秋 | <a href="http://www.re.soum.co.jp/~jun/OSC2020tokyofall.pdf">http://www.re.soum.co.jp/~jun/OSC2020tokyofall.pdf</a>     |
| 152 | OSC2019東京秋 | <a href="http://www.re.soum.co.jp/~jun/OSC2019tokyofall.pdf">http://www.re.soum.co.jp/~jun/OSC2019tokyofall.pdf</a>     |
| 139 | OSC2019東京春 | <a href="http://www.re.soum.co.jp/~jun/OSC2019tokyospring.pdf">http://www.re.soum.co.jp/~jun/OSC2019tokyospring.pdf</a> |
| 132 | OSC2018東京秋 | <a href="http://www.re.soum.co.jp/~jun/OSC2018tokyofall.pdf">http://www.re.soum.co.jp/~jun/OSC2018tokyofall.pdf</a>     |
| 121 | OSC2018東京春 | <a href="http://www.re.soum.co.jp/~jun/OSC2018tokyospring.pdf">http://www.re.soum.co.jp/~jun/OSC2018tokyospring.pdf</a> |
| 113 | OSC2017東京秋 | <a href="http://www.re.soum.co.jp/~jun/OSC2017tokyofall.pdf">http://www.re.soum.co.jp/~jun/OSC2017tokyofall.pdf</a>     |
| 104 | OSC2017東京春 | <a href="http://www.re.soum.co.jp/~jun/OSC2017tokyospring.pdf">http://www.re.soum.co.jp/~jun/OSC2017tokyospring.pdf</a> |
| 97  | OSC2016東京秋 | <a href="http://www.re.soum.co.jp/~jun/OSC2016tokyofall.pdf">http://www.re.soum.co.jp/~jun/OSC2016tokyofall.pdf</a>     |
| 85  | OSC2016東京春 | <a href="http://www.re.soum.co.jp/~jun/OSC2016tokyospring.pdf">http://www.re.soum.co.jp/~jun/OSC2016tokyospring.pdf</a> |
| 80  | OSC2015東京秋 | <a href="http://www.re.soum.co.jp/~jun/OSC2015tokyofall.pdf">http://www.re.soum.co.jp/~jun/OSC2015tokyofall.pdf</a>     |
| 69  | OSC2015東京春 | <a href="http://www.re.soum.co.jp/~jun/OSC2015tokyospring.pdf">http://www.re.soum.co.jp/~jun/OSC2015tokyospring.pdf</a> |
| 64  | OSC2014東京秋 | <a href="http://www.re.soum.co.jp/~jun/OSC2014tokyofall.pdf">http://www.re.soum.co.jp/~jun/OSC2014tokyofall.pdf</a>     |
| 53  | OSC2014東京春 | <a href="http://www.re.soum.co.jp/~jun/OSC2014tokyospring.pdf">http://www.re.soum.co.jp/~jun/OSC2014tokyospring.pdf</a> |
| 49  | OSC2013東京秋 | <a href="http://www.re.soum.co.jp/~jun/OSC2013tokyofall.pdf">http://www.re.soum.co.jp/~jun/OSC2013tokyofall.pdf</a>     |
| 39  | OSC2013東京春 | <a href="http://www.re.soum.co.jp/~jun/OSC2013tokyospring.pdf">http://www.re.soum.co.jp/~jun/OSC2013tokyospring.pdf</a> |
| 31  | OSC2012東京秋 | <a href="http://www.re.soum.co.jp/~jun/OSC2012tokyofall.pdf">http://www.re.soum.co.jp/~jun/OSC2012tokyofall.pdf</a>     |
| 22  | OSC2012東京春 | <a href="http://www.re.soum.co.jp/~jun/OSC2012tokyospring.pdf">http://www.re.soum.co.jp/~jun/OSC2012tokyospring.pdf</a> |
| 19  | OSC2011東京秋 | <a href="http://www.re.soum.co.jp/~jun/OSC2011tokyofall.pdf">http://www.re.soum.co.jp/~jun/OSC2011tokyofall.pdf</a>     |
| 6   | OSC2011東京春 | <a href="http://www.re.soum.co.jp/~jun/OSC2011tokyospring.pdf">http://www.re.soum.co.jp/~jun/OSC2011tokyospring.pdf</a> |

## 2.2. OSC東京まとめ

|                                      |                                                                               |
|--------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------|
| OSC2024 Online/Fall NetBSDのご紹介 の記録   | <a href="https://togetter.com/li/2446541">https://togetter.com/li/2446541</a> |
| OSC2024 Online/Spring NetBSDのご紹介 の記録 | <a href="https://togetter.com/li/2314715">https://togetter.com/li/2314715</a> |
| OSC2023 Online/Fall BSDなひとときの記録      | <a href="https://togetter.com/li/2231931">https://togetter.com/li/2231931</a> |
| OSC2023 Online/Spring NetBSDのご紹介 の記録 | <a href="https://togetter.com/li/2094211">https://togetter.com/li/2094211</a> |
| OSC2022 Online/Fall BSDなひとときの記録      | <a href="https://togetter.com/li/1964480">https://togetter.com/li/1964480</a> |
| OSC2022 Online/Spring NetBSDのご紹介 の記録 | <a href="https://togetter.com/li/1856809">https://togetter.com/li/1856809</a> |
| OSC2021 Online/Fall NetBSDのご紹介 の記録   | <a href="https://togetter.com/li/1790501">https://togetter.com/li/1790501</a> |
| OSC2021 Online/Spring NetBSDのご紹介 の記録 | <a href="https://togetter.com/li/1675363">https://togetter.com/li/1675363</a> |
| OSC2020東京秋 BSDなひとときの記録               | <a href="https://togetter.com/li/1611536">https://togetter.com/li/1611536</a> |
| OSC2019東京秋 NetBSDブース展示の記録            | <a href="https://togetter.com/li/1433822">https://togetter.com/li/1433822</a> |
| OSC2019東京春 NetBSDブース展示の記録            | <a href="https://togetter.com/li/1321833">https://togetter.com/li/1321833</a> |
| OSC2018東京秋 NetBSDブース展示の記録            | <a href="https://togetter.com/li/1281694">https://togetter.com/li/1281694</a> |
| OSC2018東京春 NetBSDブース展示の記録            | <a href="https://togetter.com/li/1202581">https://togetter.com/li/1202581</a> |
| OSC2017東京秋 NetBSDブース展示の記録            | <a href="https://togetter.com/li/1148810">https://togetter.com/li/1148810</a> |
| OSC2017東京春 NetBSDブース展示の記録            | <a href="https://togetter.com/li/1089005">https://togetter.com/li/1089005</a> |
| OSC2016東京秋 NetBSDブース展示の記録            | <a href="https://togetter.com/li/1044981">https://togetter.com/li/1044981</a> |
| OSC2016東京春 NetBSDブース展示の記録            | <a href="http://togetter.com/li/943037">http://togetter.com/li/943037</a>     |



|                           |                                                                           |
|---------------------------|---------------------------------------------------------------------------|
| OSC2015東京秋 NetBSDブース展示の記録 | <a href="http://togetter.com/li/891197">http://togetter.com/li/891197</a> |
| OSC2015東京春 NetBSDブース展示の記録 | <a href="http://togetter.com/li/788681">http://togetter.com/li/788681</a> |
| OSC2014東京秋 NetBSDブース展示の記録 | <a href="http://togetter.com/li/733588">http://togetter.com/li/733588</a> |
| OSC2014東京春 NetBSDブース展示の記録 | <a href="http://togetter.com/li/635747">http://togetter.com/li/635747</a> |
| OSC2013東京秋 NetBSDブース展示の記録 | <a href="http://togetter.com/li/578893">http://togetter.com/li/578893</a> |
| OSC2013東京春 NetBSDブース展示の記録 | <a href="http://togetter.com/li/460484">http://togetter.com/li/460484</a> |
| OSC2012東京秋 NetBSDブース展示の記録 | <a href="http://togetter.com/li/369471">http://togetter.com/li/369471</a> |
| OSC2012東京春 NetBSDブース展示の記録 | <a href="http://togetter.com/li/274145">http://togetter.com/li/274145</a> |

## 2.3. よく行く店

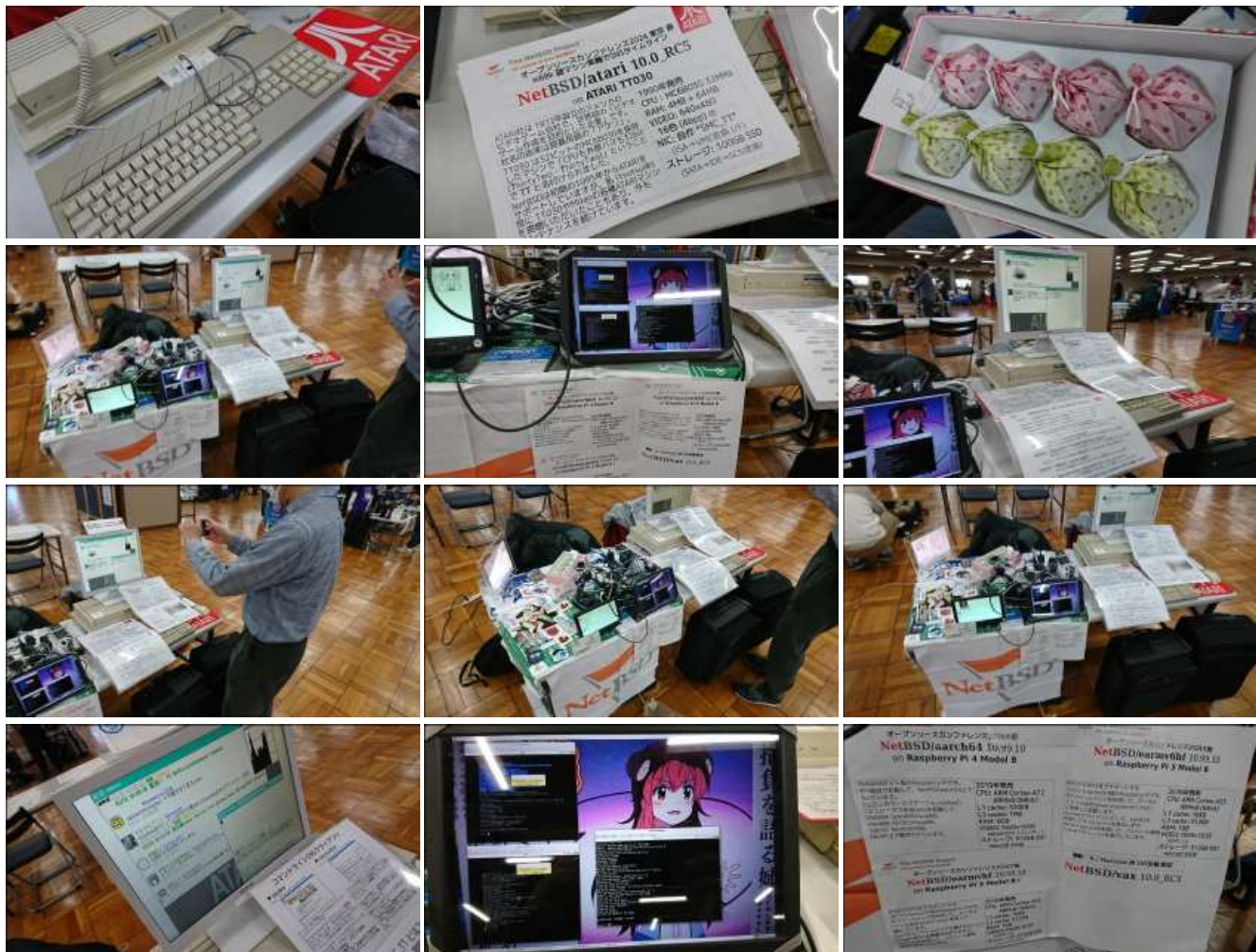
|                |          |                                           |
|----------------|----------|-------------------------------------------|
| みそのくち醸造所       | 高津       | 12:00-23:00 ウタウト ワラウト                     |
| いくどん柿生店        | 柿生       | 村人が集う焼肉店。いしはらさんの合言葉は「レバー大辛」。              |
| VERTERE        | 奥多摩      | クラフトビール 月金14:00-19:30 土日12:00-19:30       |
| CYCAD BREWING  | 要町       | クラフトビールとDEC 木金月 15:00-23:00 土日13:00-23:00 |
| riot beer      | 祖師ヶ谷大蔵   | クラフトビール 木~土15:00-21:00 土日13:00-18:00      |
| フタコビール         | 二子玉川     | クラフトビール 11:30-23:00                       |
| エビナビール         | 海老名      | クラフトビール 月~金17:00-22:30 土日14:00-22:30      |
| TDM1874        | 十日市場     | ブルワリー+酒屋。IPA #バージョン番号                     |
| さかづきブルーイング     | 北千住      | クラフトビール 水~金16:00-22:30 土日13:00-22:30      |
| アボットチョイス       | 町田       | 21タップ                                     |
| GreenBud!!     | 本厚木      | 村人が集うヨーロッパビール店                            |
| ピガール           | 三軒茶屋     | オリジナルビールL.S.D(Love Saison Darling)        |
| ノベルクラフト        | 千歳烏山     | 18:00-                                    |
| Welders diner  | 石神井公園    | 11:00-23:00                               |
| グレムリン          | 幡ヶ谷      | 15:00- 弊社から60秒でクラフトビール。                   |
| サトー電気          | 町田/川崎/小机 | エレックセンターにあった部品が一部ある                       |
| パパのいうことを聞きなさい! | 中央大学     | ひな役がちゃんおぶ五十嵐裕美さんだお。                       |
| ポパイ            | 両国       | ビール屋さんが研修に来る店。ぷらっと後藤さんが常連。                |
| 古書ドリス          | 鶯谷       | 幻想図書を扱う古書店。徳島から移転。                        |
| 古書ほうろう         | 根津       | 池之端門前                                     |
| すた城            | 東小金井     | NBUGみずのさんと事務局長が育った居酒屋。しこ天==じゃこ天。          |
| 富士ランチ          | 東小金井     | 大盛りとは何か考える。                               |
| 加賀屋            | 本郷三丁目    | もつMLというBSD関連の集まりがありましたな。                  |
| 丹青通商           | 亀戸       | AppleII 5000円 マイコンマニュアル&ぱふ                |
| 三ちゃん           | 荻窪       | ピングドラムに出てきたラーメン店。スタミナラーメン。                |
| ムーンライト         | 生田       | ビール醸造所。季節のフルーツビール。                        |
| ヌビチヌ           | 野毛       | 素晴らしいスタンディングビアバー。                         |
| 大衆             | 生麦       | 焼肉ジンギスカンホッピー焼肉ジンギスカンホッピー。                 |
| たん清            | 秋葉原      | BSDマガジンの焼肉夜話。                             |
| 名曲喫茶ライオン       | 渋谷       | 百軒店の伝説。                                   |
| ヴィオロン          | 阿佐谷      | 名曲喫茶。真空管アンプの最終目的地。                        |
| Galaxy         | 原宿       | マニアックラヴ&シャッフルマスター&REBOOT                  |
| 池田電子           | 町田       | 町田市金森187-20 木曜定休 うずたかく積まれている              |

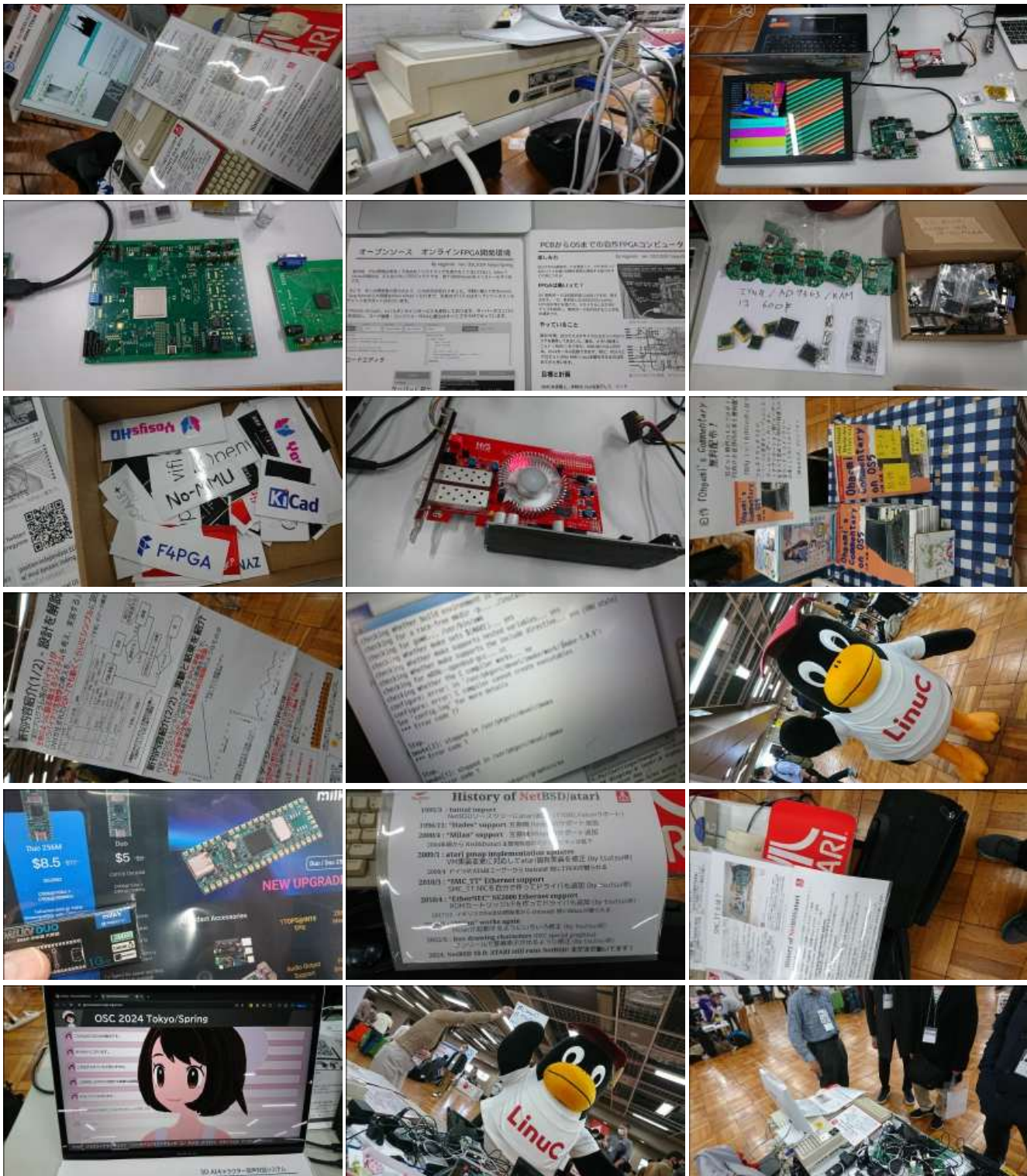
## 2.4. OSC東京主な展示物

|               |            |                                           |
|---------------|------------|-------------------------------------------|
| 2024/3/10     | OSC2024東京春 | NetBSD/atari                              |
| 2023/4/1      | OSC2023東京春 | NetBSD/next68k                            |
| 2019/11/23-24 | OSC2019東京秋 | NetBSD/zaurus8.1                          |
| 2019/2/22-23  | OSC2018東京春 | Zrouter FreeBSD/mips NetBSD/nintendo64    |
| 2018/10/27-28 | OSC2018東京秋 | Linux on Nintendo64                       |
| 2018/2/23-24  | OSC2018東京春 | RPI3+XM6i GPD Sparcbook BananaPis         |
| 2017/09/9-10  | OSC2017東京秋 | OrangePi One NanoPi RPI3+XM6i+NetBSD/x68k |

|               |            |                                                                |
|---------------|------------|----------------------------------------------------------------|
| 2017/03/10-11 | OSC2017東京春 | RPI3+XM6i+NetBSD/x68k RPI2+omxplayer NetWalker WZERO3 GPDWIN   |
| 2016/11/5-6   | OSC2016東京秋 | DreamCast+IDE HDD                                              |
| 2016/2/26-7   | OSC2016東京春 | fdgw2 RK3188 WM8750 USL-5P RouterBoard AR9331 pcDuino          |
| 2015/10/24-5  | OSC2015東京秋 | RK3188 WM8750 EP9315 AM3358 Allwinner A20 405GP BCM2836 AR9331 |
| 2015/2/27-8   | OSC2015東京春 | Radxa Rock APC8750 RPI OpenBlockS sandpoint                    |
| 2014/10/18-19 | OSC2014東京秋 | Xen dom0 BSD全部 RadxaRock zaurusC700音源                          |
| 2014/2/28-3/1 | OSC2014東京春 | Netwinder RPI ZAURUS第六艦隊 OSCアワード受賞                             |
| 2013/10/19-20 | OSC2013東京秋 | Netwinder OpenblocksA6 RPI                                     |
| 2013/2/22-23  | OSC2013東京春 | RPI KOBO netwalker mikutter WZERO3                             |
| 2012/9/7-8    | OSC2013東京秋 | OpenblocksA6 Openblocks266/600 RPI KOBO netwalker USL5P かめぬい   |
| 2012/3/16-17  | OSC2012東京春 | ておくれイメージ WZero3 Zaurus Jornada680/720 yeeloong ZBOXNANO        |
| 2011/11/19-20 | OSC2011東京秋 | ておくれイメージ BBC A3000 WZero3全部 Zaurus全部 hpcmips/sh/arm            |
| 2011/3/4-5    | OSC2011東京春 | hpcmips/hpcarm/hpcsh                                           |
| 2010/9/10-11  | OSC2010東京秋 | hpcmips/sh/arm XM6i                                            |
| 2010/2/26-27  | OSC2010東京春 | hpcmips/sh/arm XM6i                                            |
| 2009/10/30-31 | OSC2009東京秋 | USBLCD USL5P LS-S250L tadpole hpcmips/sh/arm                   |
| 2009/2/20-21  | OSC2009東京春 | VAIO-P tadpole hpcmips/sh/arm                                  |
| 2008/10/3-4   | OSC2008東京秋 | Linkstation tadpole PCBSD/Xen hpcmips/sh/arm                   |
| 2008/2/29-3/1 | OSC2008東京秋 | hpcmips/sh/arm EeePC                                           |
| 2007/10/5-6   | OSC2007東京秋 | X68030Nereid itojun最後のプレゼン hpcmips/sh/arm                      |
| 2007/3/16-17  | OSC2007東京春 | hpcmips/sh/arm スピーシーズ                                          |
| 2006/10/28    | OSC2006東京秋 | hpcmips/sh/arm                                                 |
| 2006/3/17-18  | OSC2006東京春 | hpcmips/sh/arm                                                 |
| 2005/3/25-26  | OSC2005    | hpcmips/sh/arm                                                 |
| 2004/9/4      | OSC2004    | hpcmips/sh/arm                                                 |

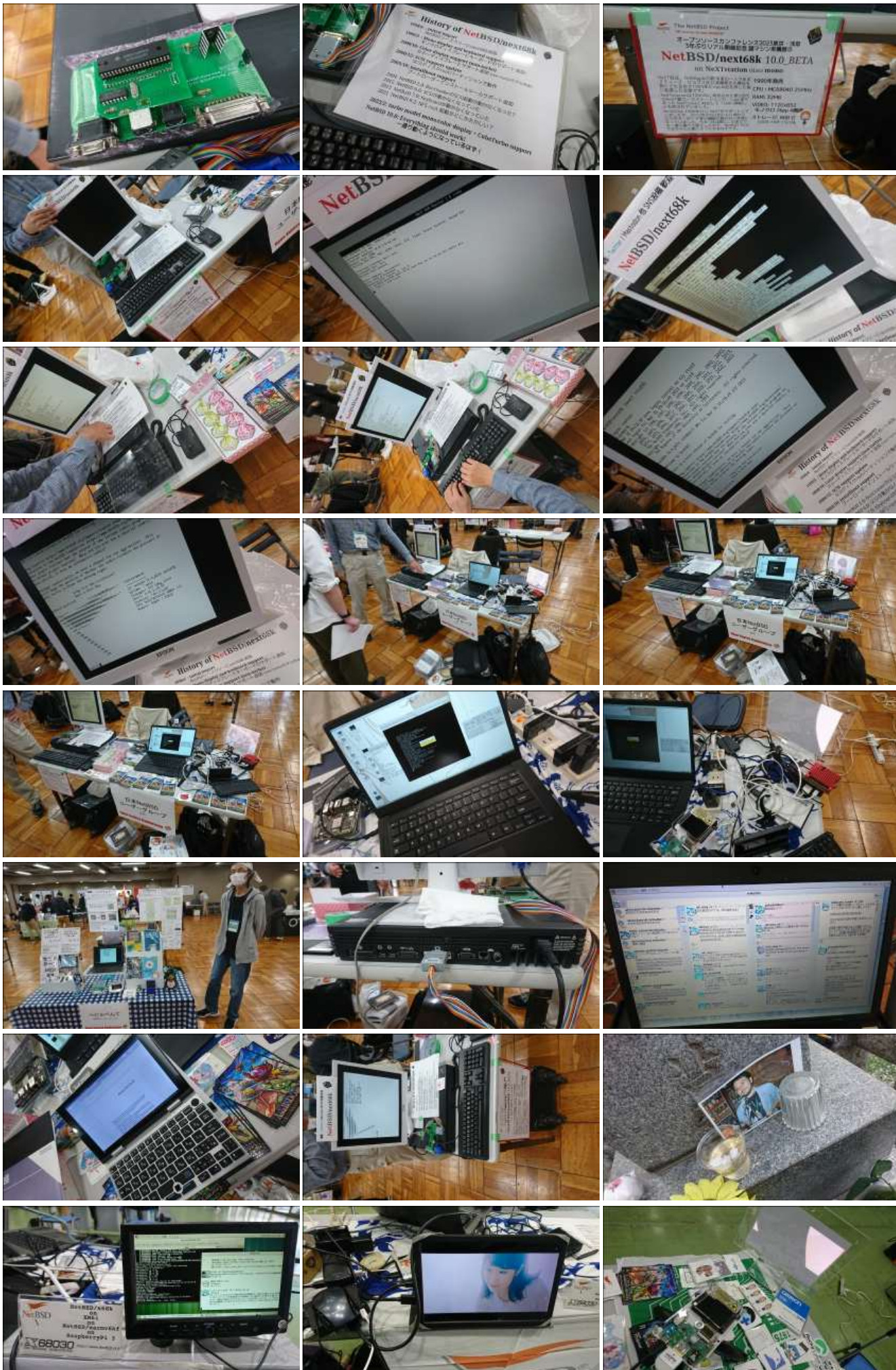
## 2.5. 2024年





## 2.6. 2023年







## 2.7. 2019年





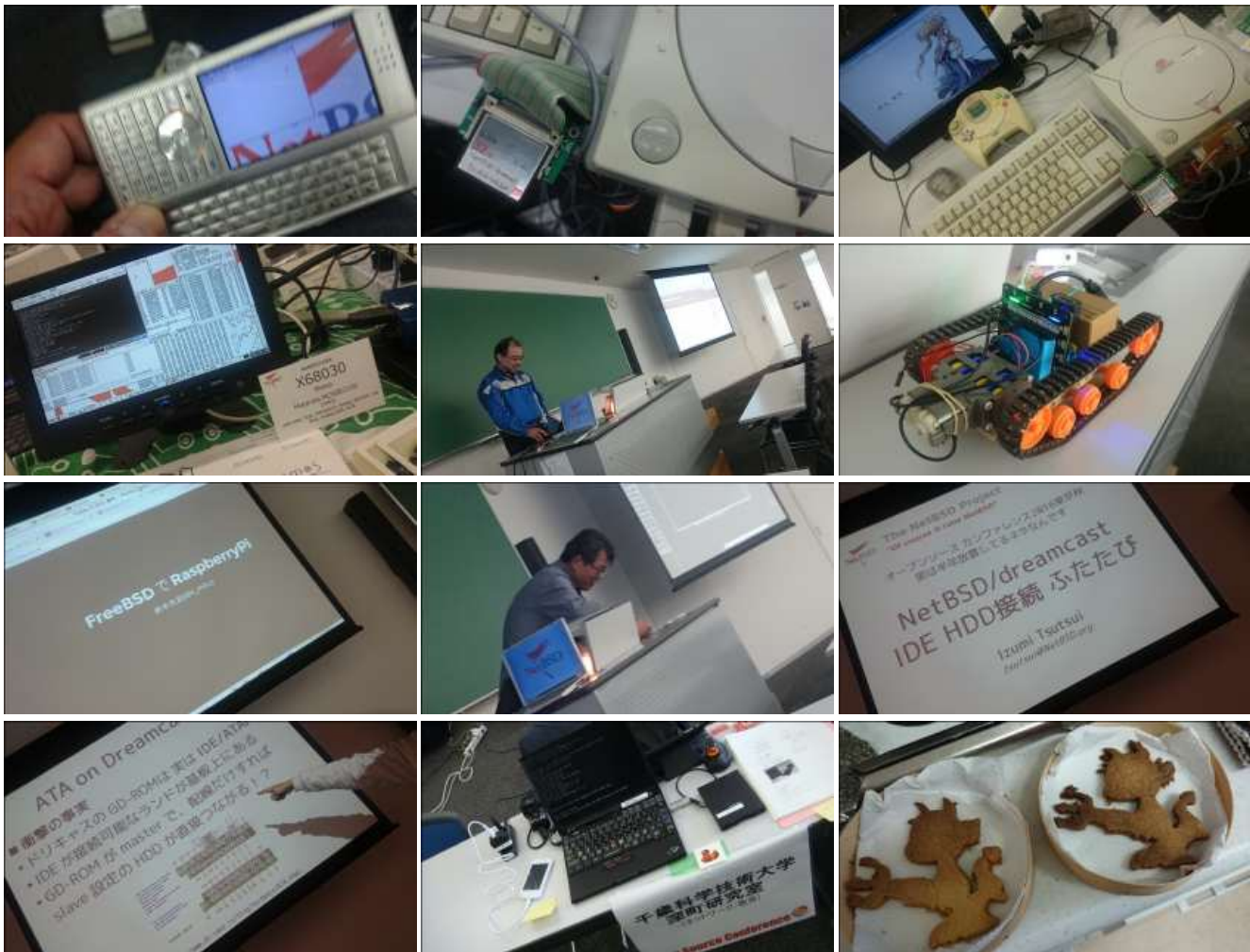
2.8. 2018年



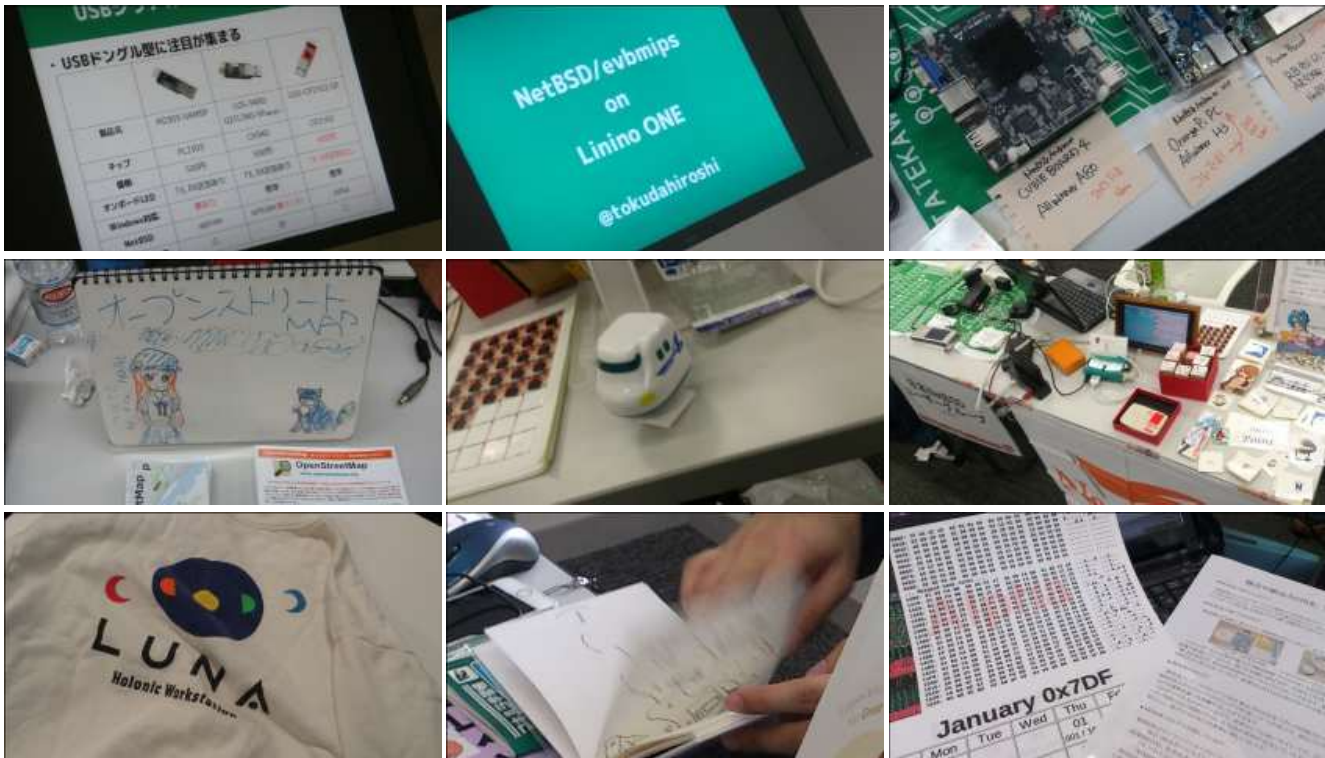
## 2.9. 2017年



## 2.10. 2016年



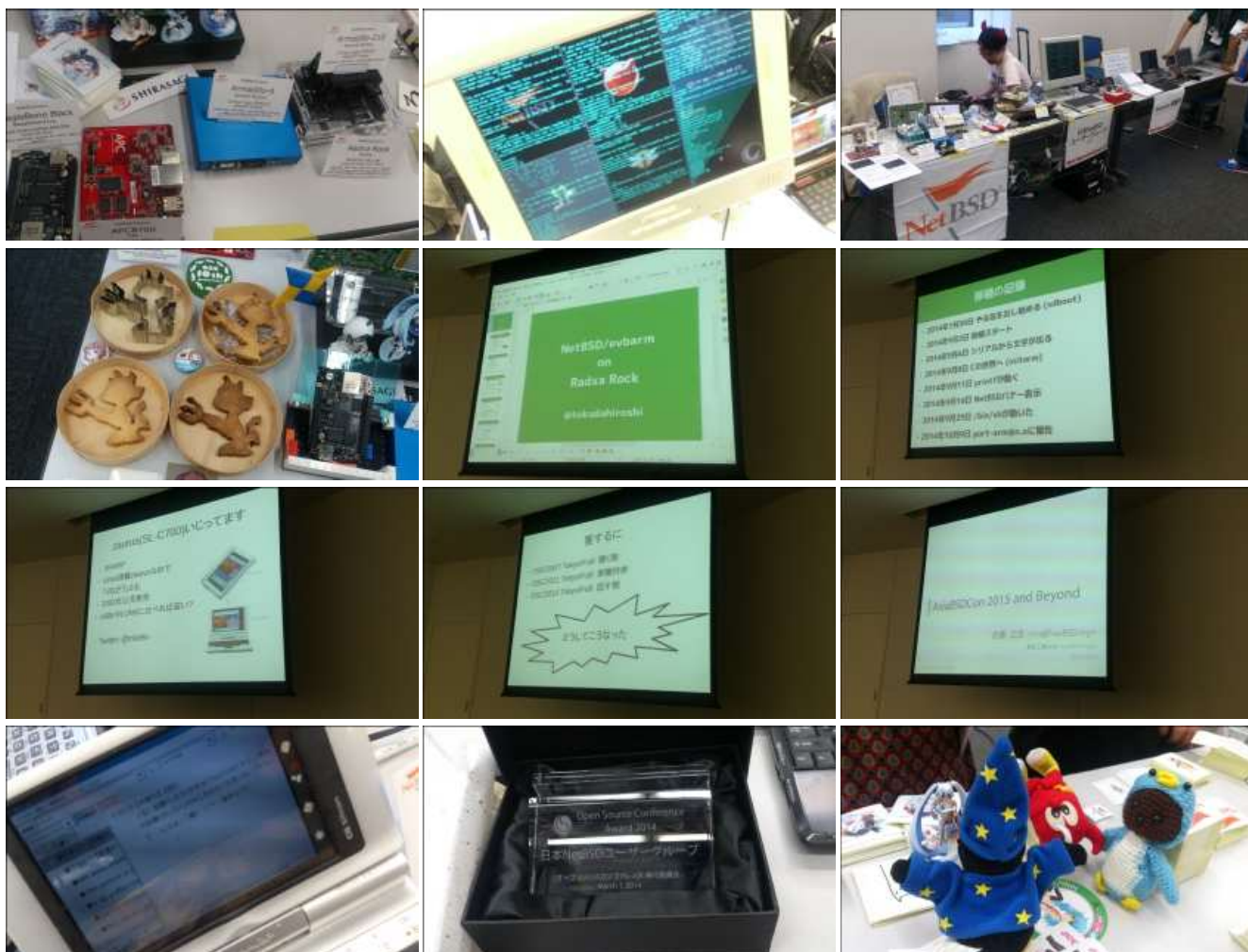
## 2.11. 2015年







## 2.12. 2014年



## 2.13. 2013年





## 2.14. 2012年



## 2.15. 2011年/2007年





### 3. RaspberryPIのNetBSDイメージ2024進捗どうですか

#### 3.1. RaspberryPIのNetBSDイメージについて

今年もオープンソースカンファレンスごとにRaspberryPI用のNetBSDイメージを作って配布しています。この一年、どんなことがあったのか表にしてまとめてみました。

| 年月         | NetBSD         | mikutter | mlterm   | OpenSSL | ネタ         | OSC       | URL                                                                                                                                           |
|------------|----------------|----------|----------|---------|------------|-----------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 2019/8/3   | 8.99.51→9.99.1 | 3.9.2    |          |         | 9.0_BETA   | OSC<br>京都 | <a href="http://mail-index.netbsd.org/port-arm/2019/07/31/msg005994.html">http://mail-index.netbsd.org/port-arm/2019/07/31/msg005994.html</a> |
| 2023/1/28  | 10.99.2        | 5.0.4nb2 | 3.9.2    |         | 10ブランチ     | OSC<br>大阪 | <a href="http://mail-index.netbsd.org/port-arm/2023/01/19/msg008093.html">http://mail-index.netbsd.org/port-arm/2023/01/19/msg008093.html</a> |
| 2023/9/30  | 10.99.9        |          |          |         | certctl    | OSC<br>東京 | <a href="http://mail-index.netbsd.org/port-arm/2023/09/28/msg008405.html">http://mail-index.netbsd.org/port-arm/2023/09/28/msg008405.html</a> |
| 2023/10/19 | 10.99.10       |          |          |         | misskey.io | OSC<br>島根 | <a href="http://mail-index.netbsd.org/port-arm/2023/10/19/msg008416.html">http://mail-index.netbsd.org/port-arm/2023/10/19/msg008416.html</a> |
| 2023/11/25 | 10.99.10       | 5.0.5nb4 | 3.9.3nb3 | 3.0.12  | OpenSSH9.5 | OSC<br>長岡 | <a href="http://mail-index.netbsd.org/port-arm/2023/11/24/msg008433.html">http://mail-index.netbsd.org/port-arm/2023/11/24/msg008433.html</a> |
| 2023/12/9  | 10.99.10       |          |          |         |            | OSC<br>福岡 | <a href="http://mail-index.netbsd.org/port-arm/2023/12/05/msg008449.html">http://mail-index.netbsd.org/port-arm/2023/12/05/msg008449.html</a> |

|           |          |          |           |               |            |                                                                                                                                               |
|-----------|----------|----------|-----------|---------------|------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 2024/1/27 | 10.99.10 |          | 3.9.3nb6  | 10RC3         | OSC<br>大阪  | <a href="http://mail-index.netbsd.org/port-arm/2024/01/18/msg008522.html">http://mail-index.netbsd.org/port-arm/2024/01/18/msg008522.html</a> |
| 2024/3/2  | 10.99.10 |          | 3.9.3nb7  | 10RC5 ruby3.2 | OSC<br>東京  | <a href="http://mail-index.netbsd.org/port-arm/2024/02/22/msg008586.html">http://mail-index.netbsd.org/port-arm/2024/02/22/msg008586.html</a> |
| 2024/5/25 | 10.99.10 | 5.0.7nb2 | 3.9.3nb9  | NetBSD10      | OSC<br>名古屋 | <a href="http://mail-index.netbsd.org/port-arm/2024/05/21/msg008716.html">http://mail-index.netbsd.org/port-arm/2024/05/21/msg008716.html</a> |
| 2024/6/29 | 10.99.10 |          | 3.9.3nb10 | gcc12         | OSC<br>北海道 | <a href="http://mail-index.netbsd.org/port-arm/2024/06/24/msg008778.html">http://mail-index.netbsd.org/port-arm/2024/06/24/msg008778.html</a> |
| 2024/7/27 | 10.99.11 |          | 3.9.3nb11 | openssh9.8    | OSC<br>京都  | <a href="http://mail-index.netbsd.org/port-arm/2024/07/17/msg008829.html">http://mail-index.netbsd.org/port-arm/2024/07/17/msg008829.html</a> |
| 2024/9/7  | 10.99.12 |          |           |               | ODC        | <a href="http://mail-index.netbsd.org/port-arm/2024/08/22/msg008875.html">http://mail-index.netbsd.org/port-arm/2024/08/22/msg008875.html</a> |
| 2024/9/29 | 10.99.12 |          | 3.0.15    | sayaka 3.8.1  | OSC<br>広島  | <a href="http://mail-index.netbsd.org/port-arm/2024/09/20/msg008918.html">http://mail-index.netbsd.org/port-arm/2024/09/20/msg008918.html</a> |
| 年月        | NetBSD   | mikutter | mlterm    | OpenSSL       | ネタ         | OSC URL                                                                                                                                       |

OSCはほぼ毎月のように日本各地で行われています。前に、OpenBSDのTheoさんに、自分のノートPCのアップデートをどのくらいの周期でやってるのかきいてみました。2週間くらいごとかなと答えてくれて、ああだいたいそんなものなのかと思っていました。

NetBSDのイメージを配るとしたとき、どのくらいの周期でアップデートしていけばいいのでしょうか？イメージを配る理由は、何かソフトウェアが新しくなって新しい機能がいったとか、ハードウェアのサポート種類が増えたとか、ソフトウェアの脆弱性が出たとか、理由はいくつかあると思いますが、試しにずっと更新して配りつづけることにしてみました。

イメージのサイズは2GBにしてみました。ダウンロードにかかる時間とか考えると、これ以上でっかくすると使ってもらえません。2GBのカードのサイズはこんなくらいにすればいいよとFreeBSDのワーナーさんに教えてもらってずっとそのサイズにしていたのですが、手狭になったので増やしました。

イメージに入れるソフトを何にするか考えたんですが、mikutterとmltermにしてみました。RubyのGUI環境+ネットワーク認証を使うソフトと、基本的なターミナルソフトで、sixelグラフィックも表示できるのでおもしろそうです。

作り方は

<https://github.com/ebijun/NetBSD/blob/master/Guide/RPI/RPIImage.rst>

みたいに作って、あらかじめ作っておいたパッケージを組み込んで動作テストをします。mikutterで「あひる焼き」とつぶやいて返事が帰ってくればネットワーク認証と画面表示とRubyまわりと漢字入力がかまくまいています。

## 3.2. 新しいハードウェア対応

1. RPI5:2023/10末出荷開始 Broadcom BCM2712 64-bit quad-core Arm Cortex-A76 2.4GHz

2. <https://github.com/worproject/rpi5-uefi> <http://mail-index.netbsd.org/port-arm/2024/01/19/msg008524.html>
3. RPI4:OSC2019島根から : <http://mail-index.netbsd.org/port-arm/2019/10/03/msg006208.html>

<https://github.com/ebijun/NetBSD/blob/master/RPI/RPIimage/Image/aarch64/README>

1. RPI3/RPI0WのBluetooth/無線LAN:OSC2019広島版からテストをはじめました
2. Raspberry PI zero 2 W earmv7hf版で動きます。

<https://github.com/ebijun/NetBSD/blob/master/RPI/RPIimage/Image/earmv7hf/README>

### 3.3. ソフトウェア配布方法

---

NetBSDのftpサイトはCDN対応のところからダウンロードできるようになりました。漫喫でも楽勝です。 - <http://cdn.netbsd.org/> - <http://nycdn.netbsd.org/>

### 3.4. OSCでやっているデモ

---

RaspberryPIっぽいなにかということで、omxplayerを使って動画を流すデモと、nonoで NetBSD/x68k,OpenBSD/luna88k,NetBSD/luna68kを動かすデモをやっています。

### 3.5. security.pax.mprotect.enabled

---

```
man security
man paxctl
sysctl -a |grep pax
If application failed, such as omxplayer.
try to test
sysctl -w security.pax.mprotect.enabled=0
```

---

### 3.6. GPIOのドキュメント

---

GPIOの使い方をまとめてくれた方が。

- NetBSD GPIO DOC by Marina Brown <https://github.com/catskillmarina/netbsd-gpio-doc/blob/master/README.md>

### 3.7. 64bit対応

---

ryo@netbsd さんによる rpi64wip実装が進み、NetBSD/aarch64としてRPI3/4で利用できます。

- <https://github.com/ryo/netbsd-src>
- <http://mail-index.netbsd.org/port-arm/2018/02/20/msg004631.html>
- <http://mail-index.netbsd.org/port-arm/2018/12/03/msg005297.html>

### 3.8. RPI4

---

- pinebookとpkgsrcを共用しています。
- <http://mail-index.netbsd.org/port-arm/2020/11/18/msg007066.html>
- <https://github.com/ebijun/NetBSD/blob/master/RPI/RPIimage/Image/aarch64/README>

### 3.9. RPI5

---

- <https://github.com/worproject/rpi5-uefi>

### 3.10. armv7のいろいろ

---

NetBSD ARM Bootable Imagesがあります。

- <https://nycdn.netbsd.org/pub/arm/>

### 3.11. ご注文はなんとかですか（弱点）

---

- RPI4のGPUとか

### 3.12. まとめ

---

OSCごとにイメージをつくっていると、だいたいBINDとOpenSSLの脆弱性に対応できていい感じです。なんでOSCの直前になると脆弱性がみつかるのでしょうか。たまにBSD自体の10年もののバグとかも発掘されて楽しいです。リリース間隔があればあくほど、ひとりで対応できる作業量を越えてしまう気がするので、いまんとここれでいいのかほんとうに。

## 4. オープンソースカンファレンスNetBSDブースこの一年

---

日本NetBSDユーザーグループは2024年もオープンソースカンファレンスを中心とするイベントに参加しています。2020/1のOSC2020大阪以降はZOOMでの参加になりましたが、2023/5のOSC2023名古屋以降ZOOMと展示を分けて開催するようになりました。NetBSD/aarch64からZOOM会議に参加する試みをしました。従来、ブースへの展示機材持ち込み&差し入れに代わり、事前にtwitter上でデモ動画等を投稿されたものをtogetterでまとめておいて紹介するようにしてみました。、引き続きセミナー時間での参加・発表を歓迎します。

### 4.1. NetBSD環境からのZOOM会議参加

---

NetBSDからZOOM等の会議に参加するためには、以下の手順をとります。

1. rustが動くようにする。
2. audioが動くようにする。
3. 内蔵カメラが動くようにする。
4. Firefox80以降をpkgsrcからインストールする
5. FirefoxのプラグインでLinuxまたはFreeBSDからインストールしているように見せかける。

### 4.2. これまでに参加した一覧

---

これまでに参加した一覧は以下のとおりです。

<https://github.com/ebijun/NetBSD/blob/master/Guide/OSC/OSC100.csv>

このファイルはオープンソースカンファレンス過去来場者数一覧 <http://www.ospn.jp/visitors/> を元に作成しています。

### 4.3. どのくらい参加しているか

---

- 2024/1/27までにOSCは229回開催されています。
- JNUGは205回参加しています。89.5%→89.5% (前年比変わらず)

### 4.4. OSCこの一年

---

#### 4.4.1. 2024年まとめ

---

- 日本全国各地で10回+オンライン開催6回+ODC開催
- 参加者: 107,270人 年間参加者3404人 3115人(2021年)→2383人(2022年)→3304人(2023年)
- 参加団体:6547グループ 年間参加グループ 317グループ 133グループ(2021)→127グループ(2022)→299グループ(2022)

| 回数  | イベント               | 日付      | この一年 |        |        |
|-----|--------------------|---------|------|--------|--------|
|     |                    |         | 参加者  | 参加グループ | 参加したら1 |
| 222 | 2023 Online Fall   | 9/29-30 | 202  | 14     | 1      |
| 223 | 2023 Tokyo Fall    | 10/21   | 300  | 29     | 1      |
| 224 | 2023 Shimane       | 10/21   | 100  | 18     | 1      |
| 225 | 2023 Hiroshima     | 11/12   | 54   | 14     | 1      |
| 226 | 2023 Niigata       | 11/25   | 37   |        | 1      |
| 227 | 2023 Fukuoka       | 12/9    | 150  | 20     | 1      |
| 228 | 2023 Yamaguchi     | 12/10   | 55   |        |        |
| 229 | 2024 Osaka         | 1/27    | 220  | 32     | 1      |
| 230 | 2024 Online/Spring | 3/1-2   | 312  | 20     | 1      |
| 231 | 2024 Tokyo/Spring  | 3/10    | 530  | 48     | 1      |
| 232 | 2024 Nagoya        | 5/25    | 250  | 36     | 1      |
| 233 | 2024 Hokkaido      | 6/29    | 400  | 34     | 1      |
| 234 | 2024 Kyoto         | 7/27    | 330  | 38     | 1      |
|     | 2024 ODC           | 9/7     | 170  | 10     | 1      |
| 235 | 2024 Hiroshima     | 9/29    | 113  | 17     | 1      |

## 4.5. togetterアクセスで見たNetBSDブース

togetterのアクセスログは以下の場所にあります。

<https://github.com/ebijun/NetBSD/blob/master/Event/togetter/togetterview/view.csv>

この一年のアクセス数集計は以下の通りです。

|                    |                                                                               |      |
|--------------------|-------------------------------------------------------------------------------|------|
| OSC2024 Nagaoka    | <a href="https://togetter.com/li/2446541">https://togetter.com/li/2446541</a> | 104  |
| OSC2024 Hiroshima  | <a href="https://togetter.com/li/2437595">https://togetter.com/li/2437595</a> | 849  |
| ODC2024            | <a href="https://togetter.com/li/2423438">https://togetter.com/li/2423438</a> | 536  |
| OSC2024 Kyoto      | <a href="https://togetter.com/li/2403819">https://togetter.com/li/2403819</a> | 718  |
| OSC2024 Hokkaido   | <a href="https://togetter.com/li/2377329">https://togetter.com/li/2377329</a> | 877  |
| OSC2024 Nagoya     | <a href="https://togetter.com/li/2359557">https://togetter.com/li/2359557</a> | 1120 |
| AsiaBSDCon 2024の記録 | <a href="https://togetter.com/li/2337258">https://togetter.com/li/2337258</a> | 731  |
| OSC2024 Spring     | <a href="https://togetter.com/li/2314715">https://togetter.com/li/2314715</a> | 1017 |
| OSC2024 Osaka      | <a href="https://togetter.com/li/2298407">https://togetter.com/li/2298407</a> | 1492 |
| OSC2023 Fukuoka    | <a href="https://togetter.com/li/2271317">https://togetter.com/li/2271317</a> | 732  |
| OSC2023 Niigata    | <a href="https://togetter.com/li/2260623">https://togetter.com/li/2260623</a> | 615  |

## 4.6. netbsd-advocacyメーリングリストへの報告

netbsd-advocacyメーリングリストへの参加報告をしました。

NetBSD machines at Open Source Conference 2020 Osaka <http://mail-index.netbsd.org/netbsd-advocacy/2020/01/28/msg000823.html>

## 4.7. NetBSD観光ガイド作成

イベント毎に観光ガイドを作っています。セミナー参加者に配布しました。

一覧：

<https://github.com/ebijun/osc-demo/blob/master/README.md>

作成方法：

<https://github.com/ebijun/NetBSD/blob/master/Guide/Paper/sphinx.rst>

203 OSC2024長岡 <http://www.re.soum.co.jp/~jun/OSC2024nagaoka.pdf>

|     |            |                                                                                                                         |
|-----|------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 202 | OSC2024広島  | <a href="http://www.re.soum.co.jp/~jun/OSC2024hiroshima.pdf">http://www.re.soum.co.jp/~jun/OSC2024hiroshima.pdf</a>     |
| 201 | ODC2024    | <a href="http://www.re.soum.co.jp/~jun/ODC2024.pdf">http://www.re.soum.co.jp/~jun/ODC2024.pdf</a>                       |
| 200 | OSC2024京都  | <a href="http://www.re.soum.co.jp/~jun/OSC2024kyoto.pdf">http://www.re.soum.co.jp/~jun/OSC2024kyoto.pdf</a>             |
| 199 | OSC2024北海道 | <a href="http://www.re.soum.co.jp/~jun/OSC2024hokkaido.pdf">http://www.re.soum.co.jp/~jun/OSC2024hokkaido.pdf</a>       |
| 198 | OSC2023名古屋 | <a href="http://www.re.soum.co.jp/~jun/OSC2024nagoya.pdf">http://www.re.soum.co.jp/~jun/OSC2024nagoya.pdf</a>           |
| 197 | OSC2024東京春 | <a href="http://www.re.soum.co.jp/~jun/OSC2024tokyospring.pdf">http://www.re.soum.co.jp/~jun/OSC2024tokyospring.pdf</a> |
| 196 | OSC2024大阪  | <a href="http://www.re.soum.co.jp/~jun/OSC2024osaka.pdf">http://www.re.soum.co.jp/~jun/OSC2024osaka.pdf</a>             |
| 195 | OSC2023福岡  | <a href="http://www.re.soum.co.jp/~jun/OSC2023fukuoka.pdf">http://www.re.soum.co.jp/~jun/OSC2023fukuoka.pdf</a>         |
| 194 | OSC2023新潟  | <a href="http://www.re.soum.co.jp/~jun/OSC2023niigata.pdf">http://www.re.soum.co.jp/~jun/OSC2023niigata.pdf</a>         |

## 4.8. 旅費

横浜からの旅費(=交通費+宿泊費),機材配送費,資料印刷費実費をまとめています。機材配送はヤマトの「スマホでかんたん発送」サービスを利用しています。

| 月       | イベント      | 旅費    | 機材配送 |
|---------|-----------|-------|------|
| 2020/1  | OSC大阪     | 26080 | 1469 |
| 2023/5  | OSC名古屋    | 19300 | 0    |
| 2023/6  | OSC北海道    | 45392 | 3891 |
| 2023/7  | OSC京都     | 25004 | 3618 |
| 2023/10 | OSC島根     | 56603 | 0    |
| 2023/11 | KOF/OSC広島 | 59459 | 0    |
| 2023/11 | OSC新潟     | 20958 | 0    |
| 2023/12 | OSC福岡     | 37960 | 3720 |
| 2024/1  | OSC大阪     | 28464 | 0    |
| 2024/5  | OSC名古屋    | 20440 | 0    |
| 2024/6  | OSC北海道    | 35993 | 4091 |
| 2024/7  | OSC京都     | 25734 | 3376 |
| 2024/9  | ODC       | 1120  | 0    |
| 2024/9  | OSC広島     | 36604 | 0    |
| 2024/10 | OSC長岡     | 19796 |      |

## 4.9. 2025年

OSCは2025/1/25のOSC 大阪(<https://event.ospn.jp/osc2025-osaka/>)からはじまります。ブース展示/ミーティング時間での発表を歓迎します。

# 5. RaspberryPIでNetBSDを使ってみる

## 5.1. 特徴

- NetBSDをRaspberryPIで利用するために、ディスクイメージを用意しました。
- Xが動いて、ご家庭のテレビでmikutterが動きます。
- うまく動いたら、動いた記念写真をツイートだ！
- fossil(<http://www.fossil-scm.org/>)も入れてあります。家庭内Webサーバとかチケットシステムとかwikiサーバになるんでないかい。

## 5.2. 準備するもの

- RaspberryPI本体
- HDMI入力のあるテレビ／ディスプレイ
- USBキーボード



- USBマウス
- 有線ネットワーク

ケースは Geekworm Raspberry Pi 3/4ケースをそれぞれ使っています。

## 5.3. 起動ディスクの作成

- ディスクイメージのダウンロード

```
earmv6hf
ftp http://cdn.netbsd.org/pub/NetBSD/misc/jun/raspberry-pi/
2016-11-12-earmv6hf/2016-11-12-netbsd-raspi-earmv6hf.img.gz
```

- 2GB以上のSDカードを準備します。
- ダウンロードしたディスクイメージを、SDカード上で展開します。

```
disklabel sd0 必ずインストールするSDカードか確認してください。
gunzip < 2016-11-12-netbsd-raspi-earmv6hf.img.gz | dd of=/dev/rsd0d bs=1m
```

## 5.4. NetBSD Arm Bootable Images

NetBSD Arm Bootable Images が、<https://nycdn.netbsd.org/pub/arm/> 以下にあります。 RPIと同じ手順で起動できます。

## 5.5. RaspberryPIの起動

1. HDMIケーブル/USBキーボード/USBマウス/有線ネットワークをRPIにさします。
2. 電源を入れてRPIを起動します。
3. 少し待つと、HDMIからNetBSDの起動メッセージが表示されます。
4. メモリカードの容量にあわせたサイズまでルートパーティションを自動調整します。(現在、RPI2では自動調整プログラムの起動が失敗します)
5. 容量調整後に再起動します。再起動した後は、起動プロセスが最後まで進み、ログインできる状態になります。
6. 起動しない場合、まず基板上のLEDを確認してください。

赤いランプのみ点灯している場合

- OSを正しく読み込んでいません。
- 少なくともMSDOS領域に各種ファームウェアファイルが見えていることを確認する。
- SDカードの接触不良の可能性があるので、SDカードを挿しなおしてみる。
- ファームウェアが古いため起動しない

緑のランプも点灯している場合

- OSは起動しているのに画面をHDMIに表示できていません。
- HDMIケーブルを差した状態で電源ケーブルを抜き差しして、HDMIディスプレイに何か表示するか確認する。
- HDMIケーブル自体の接触不良。ケーブルを何度か差し直してください。
- 電源アダプタ容量には、少なくとも800mA程度の容量を持つアダプタを使ってみてください。スマートフォン用のアダプタならまず大丈夫です。起動途中で画面が一瞬消えたり、負荷をかけるといきなり再起動したりする場合は、電源やUSBケーブルを気にしてみてください。

## 5.6. ログイン

rootでログインできます。rootアカウントではリモートからログインすることはできません。

```
login: root
```

```
startxでicewmが立ち上がります。
```

```
startx
```

## 5.7. mikutterを使ってみよう

- xtermからdilloとmikutterを起動します。

```
dillo &
mikutter &
```

- しばらく待ちます。
- mikutterの認証画面がうまく出たら、httpsからはじまるURLをクリックするとdilloが起動します。
- twitterのIDとパスワードを入力すると、pin番号が表示されます。pin番号をmikutterの認証画面に入力します。
- しばらくすると、mikutterの画面が表示されます。表示されるはずですが、落ちてしまう場合は時計が合っているか確認してください。
- 漢字は[半角/全角]キーを入力すると漢字モードに切り替わります。anthyです。
- 青い鳩を消したいとき：mikutterのプラグインを試してみる

```
% touch ~/.mikutter/plugin/display_requirements.rb
```

すると、鳩が消えます。mikutterはプラグインを組み込むことで、機能を追加できる自由度の高いtwitterクライアントです。プラグインに関しては、「mikutterの薄い本 プラグイン」で検索してみてください。

## 5.8. fossilを使ってみよう

fossilは、Wiki/チケット管理システム/HTTPサーバ機能を持つ、コンパクトなソースコード管理システムです。fossilバイナリひとつ、リポジトリファイルひとつにすべての情報が集約されています。ちょっとしたメモをまとめたりToDoリストを簡単に管理できます。

```
% fossil help
Usage: fossil help COMMAND
Common COMMANDs: (use "fossil help -a|--all" for a complete list)
add changes info merge revert tag
addremove clean gdiff mv rm timeline
all clone help open settings ui
annotate commit import pull sqlite3 undo
bisect diff info push stash update
branch export init rebuild status version
cat extras ls remote-url sync
% fossil init sample-repo
project-id: bcf0e5038ff422da876b55ef07bc8fa5eded5f55
server-id: 5b21bd9f4de6877668f0b9d90b3cff9baecea0f4
admin-user: jun (initial password is "f73efb")
% ls -l
total 116
-rw-r--r-- 1 jun users 58368 Nov 14 18:34 sample-repo
% fossil server sample-repo -P 12345 &
ブラウザでポート12345にアクセスし、fossil initを実行した時のユーザとパスワードでログインします。
```

## 5.9. キーマップの設定を変更する

- ログインした状態でのキーマップは/etc/wscons.confで設定します。

```
encoding jp.swapctrlcaps 日本語キーボード, CtrlとCAPSを入れ替える。
```

- Xでのキーマップは.xinitrcで設定します。

```
setxkbmap -model jp106 jp -option ctrl:swapcap
```

## 5.10. コンパイル済パッケージをインストールする

- コンパイルしたパッケージを以下のURLに用意しました。

---

```
% cat /etc/pkg_install.conf
```

---

```
PKG_PATH=http://cdn.netbsd.org/pub/NetBSD/misc/jun/raspberry-pi/earmv6hf/2016-11-12
```

- パッケージのインストール

pkg\_addコマンドで、あらかじめコンパイル済みのパッケージをインストールします。関連するパッケージも自動的にインストールします。

---

```
pkg_add zsh
```

---

- パッケージの一覧

pkg\_infoコマンドで、インストールされているパッケージの一覧を表示します。

---

```
pkg_info
```

---

- パッケージの削除

---

```
pkg_delete パッケージ名
```

---

## 5.11. /usr/pkgsrcを使ってみよう

---

たとえばwordpressをコンパイル／インストールする時には、以下の手順で行います。

---

```
cd /usr/
ls /usr/pkgsrc ... 上書きしてしまわないか確認
ftp http://cdn.netbsd.org/pub/pkgsrc/current/pkgsrc.tar.gz
tar tzvf pkgsrc.tar.gz |head ... アーカイブの内容確認
tar xzvf pkgsrc.tar.gz
ls /usr/pkgsrc
cd /usr/pkgsrc/www/php-ja-wordpress
make package-install
```

```
cd /usr/pkgsrc
cvs update -PA
```

---

## 5.12. パッケージ管理

---

pkg\_chk コマンドを使って、インストールしたパッケージを管理してみましょう。あらかじめpkgsrcの内容を更新しておきます。どこからパッケージファイルを取得するかは、/etc/pkg\_install.confのPKG\_PATHに書いておきます。

---

```
pkg_info ... インストールしているパッケージ名と概要を出力します。
pkg_chk -g ... 使っているパッケージの一覧を/usr/pkgsrc/pkgchk.confに作ってくれます。
pkg_chk -un ... パッケージをアップデートします。(nオプション付きなので実行はしません)
pkg_chk -u ... パッケージをアップデートします。
```

---

## 5.13. ユーザー作成

---

---

```
useradd -m jun
passwd jun
```

---

root権限で作業するユーザーの場合：

```
useradd -m jun -G wheel
```

```
passwd jun
```

## 5.14. サービス起動方法

/etc/rc.d以下にスクリプトがあります。dhcpクライアント(dhcpd)を起動してみます。

```
テスト起動：
/etc/rc.d/dhcpd onestart
テスト停止：
/etc/rc.d/dhcpd onestop
```

正しく動作することが確認できたら/etc/rc.confに以下のとおり指定します。

```
dhcpd=YES
```

/etc/rc.confでYESに指定したサービスは、マシン起動時に同時に起動します。

```
起動：
/etc/rc.d/dhcpd start
停止：
/etc/rc.d/dhcpd stop
再起動：
/etc/rc.d/dhcpd restart
```

## 5.15. vndconfigでイメージ編集

NetBSDの場合、vndconfigコマンドでイメージファイルの内容を参照できます。

```
gunzip 2016-11-12-netbsd-raspi-earmv6hf.img.gz
vndconfig vnd0 2016-11-12-netbsd-raspi-earmv6hf.img
vndconfig -l
vnd0: /usr (/dev/wd0e) inode 53375639
disklabel vnd0
:
8 partitions:
size offset fstype [fsize bsize cpg/sgs]
a: 3428352 385024 4.2BSD 0 0 0 # (Cyl. 188 - 1861)
b: 262144 122880 swap # (Cyl. 60 - 187)
c: 3690496 122880 unused 0 0 # (Cyl. 60 - 1861)
d: 3813376 0 unused 0 0 # (Cyl. 0 - 1861)
e: 114688 8192 MSDOS # (Cyl. 4 - 59)
mount_msdos /dev/vnd0e /mnt
ls /mnt
LICENCE.broadcom cmdline.txt fixup_cd.dat start.elf
bootcode.bin fixup.dat kernel.img start_cd.elf
cat /mnt/cmdline.txt
root=ld0a console=fb
#fb=1280x1024 # to select a mode, otherwise try EDID
#fb=disable # to disable fb completely

umount /mnt
vndconfig -u vnd0
```

## 5.16. HDMIじゃなくシリアルコンソールで使うには

- MSDOS領域にある設定ファイルcmdline.txtの内容を変更してください。

<https://raw.githubusercontent.com/Evilpaul/RPi-config/master/config.txt>

```
fb=1280x1024 # to select a mode, otherwise try EDID
fb=disable # to disable fb completely
```

## 5.17. 起動ディスクを変えるには

- MSDOS領域にある設定ファイルcmdline.txtの内容を変更してください。

---

```
root=sd0a console=fb ←ld0をsd0にするとUSB接続したディスクから起動します
```

---

## 5.18. 最小構成のディスクイメージ

NetBSD-currentのディスクイメージに関しては、以下の場所にあります。日付の部分は適宜読み替えてください。

---

```
ftp://nyftp.netbsd.org/pub/NetBSD-daily/HEAD/201502042230Z/evbarm-earmv6hf/binary/gzimg/rpi_inst.bin.gz
gunzip < rpi_inst.bin.gz | dd of=/dev/rsd3d bs=1m sd3にコピー。
```

RaspberryPIにsdカードを差して、起動すると、# プロンプトが表示されます。  
# sysinst .... NetBSDのインストールプログラムが起動します。

---

## 5.19. X11のインストール

rpi.bin.gzからインストールした場合、Xは含まれていません。追加したい場合は、

<ftp://nyftp.netbsd.org/pub/NetBSD-daily/HEAD/201310161210Z/evbarm-earmv6hf/binary/sets/> 以下にある tar ファイルを展開します。tarで展開するときにpオプションをつけて、必要な権限が保たれるようにしてください。

---

```
tar xzpvf xbase.tar.gz -C / pをつける
```

---

## 5.20. クロスビルドの方法

- ソースファイル展開
- ./build.sh -U -m evbarm -a armv6hf release
- `earmv{v[4567],}{hf,}{eb} armv4hf`
- <http://mail-index.netbsd.org/tech-kern/2013/11/12/msg015933.html>

|                      |                          |
|----------------------|--------------------------|
| acorn26              | armv2                    |
| acorn32              | armv3 armv4 (strongarm)  |
| cats shark netwinder | armv4 (strongarm)        |
| iyonix               | armv5                    |
| hpcarm               | armv4 (strongarm) armv5. |
| zaurus               | armv5                    |
| evbarm               | armv5/6/7                |

## 5.21. 外付けUSB端子

NetBSDで利用できるUSBデバイスは利用できる（はずです）。電源の制約があるので、十分に電源を供給できる外付けUSBハブ経由で接続したほうが良いです。動作しているRPIにUSBデバイスを挿すと、電源の関係でRPIが再起動してしまう場合があります。その場合、電源を増強する基板を利用する方法もあります。

## 5.22. 外付けSSD

コンパイルには、サンディスク X110 Series SSD 64GB（読込 505MB/s、書込 445MB/s）SD6SB1M-064G-1022I を外付けディスクケース経由で使っています。NFSが使える環境なら、NFSを使い、pkgsrcの展開をNFSサーバ側で実行する方法もあります。RPIにSSDを接続した場合、OSの種類と関係なく、RPI基板の個体差により、SSDが壊れる場合があるので十分注意してください。

## 5.23. 液晶ディスプレイ

液晶キット (<http://www.aitendo.com/page/28>) で表示できています。

aitendoの液晶キットはモデルチェンジした新型になっています。On-Lap 1302でHDMI出力を確認できました。HDMI-

VGA変換ケーブルを利用する場合、MSDOS領域にある設定ファイルcmdline.txtで解像度を指定してください。

---

<https://twitter.com/oshimyja/status/399577939575963648>  
とりあえずうちの1024x768の液晶の場合、 `hdmi_group=2 hdmi_mode=16` の2行をconfig.txtに書いただけ。なんと単純。

---

## 5.24. inode

inodeが足りない場合は、ファイルシステムを作り直してください。

```
newfs -n 500000 -b 4096 /dev/rvnd0a
```

## 5.25. bytebench

おおしまさん(@oshimyja)がbytebenchの結果を測定してくれました。

<https://twitter.com/oshimyja/status/400306733035184129/photo/1>  
[status/400303304573341696/photo/1](https://twitter.com/oshimyja/status/400303304573341696/photo/1)

<https://twitter.com/oshimyja/>

## 5.26. 壁紙

おおしまさん(@oshimyja)ありがとうございます。

---

<http://www.yagoto-urayama.jp/~oshimaya/netbsd/Proudly/2013/>

---

--

## 5.27. パーティションサイズをSDカードに合わせる

2GB以上のSDカードを利用している場合、パーティションサイズをSDカードに合わせることができます。この手順はカードの内容が消えてしまう可能性もあるため、重要なデータはバックアップをとるようにしてください。

手順は、[http://wiki.netbsd.org/ports/evbarm/raspberry\\_pi/](http://wiki.netbsd.org/ports/evbarm/raspberry_pi/) のGrowing the root file-systemにあります。

### 5.27.1. シングルユーザでの起動

1. /etc/rc.confのrc\_configured=YESをNOにして起動します。
2. 戻すときはmount /;vi /etc/rc.conf でNOをYESに変更してrebootします。

## 5.28. 参考URL

- [http://wiki.netbsd.org/ports/evbarm/raspberry\\_pi/](http://wiki.netbsd.org/ports/evbarm/raspberry_pi/)
- NetBSD Guide <http://www.netbsd.org/docs/guide/en/>
- NetBSD/RPiで遊ぶ (SDカードへの書き込み回数を気にしつつ) <http://hachulog.blogspot.jp/2013/03/netbsdrpisd.html>
- <http://www.raspberrypi.org/phpBB3/viewforum.php?f=86> NetBSDフォーラム
- <http://www.raspberrypi.org/phpBB3/viewforum.php?f=82> 日本語フォーラム

## 6. nono のバージョンアップ

pkgsrc/emulators/nono 以下を更新して、nonoのバージョンアップをしてみます。

### 6.1. バージョン指定

Makefile 内のバージョンをあげます。

---

```
DISTNAME= nono-0.7.3
```

---

## 6.2. チェックサム作成

---

```
% make makesum
-rw-r--r-- 1 jun wheel 1164 Jul 9 10:00 Makefile
-rw-r--r-- 1 jun wheel 304 Jul 9 10:01 distinfo
```

---

make package して動作を確認します。

## 6.3. pkglint

---

pkglint をして正しいか確認します。

```
pkg_add pkglint
pkglint .
% pkglint .
Looks fine.
```

---

## 6.4. commit

---

バージョンアップ時のアップデート内容をしらべておきます。nonoの場合は、changes.htmlに日英併記された更新内容があるので、英語部分だけを変更点とします。更新ログの一行目は「パッケージ名: Update to バージョン」の形式にします。

<http://www.pastel-flower.jp/~isaki/nono/doc/changes.html>

---

```
cvcs commit
```

```
nono: update to 0.7.3.
```

```
0.7.3 (2024/07/03)
```

```
vm(Fix): "Fix problem that resetting on LUNA-88K sometimes stops the scheduler."
vm(Fix): "Fix problem that MSX-DOS mode immediately exits since er 0.7.0."
vm(Fix): "Fix problem that the real PROM image could not access SPC correctly on LUNA-I since ver 0.7.0."
vm(Fix): "Make an error if the directory specified by windrv-path does not exist on startup."
vm(Fix): "Fix problem that the renderer runs excessively."
vm(New): "X68030 Contrast rendering now can use NEON on aarch64."
vm(New): "Implement SSG (YM2149) registers only (It doesn't work yet)."
vm(Update): "Mainview scaling is now done by the renderer thread."
vm(Update): "Display register addresses on the SPC monitor."
vm(Update): "Change several SCSI internal structures. No functional changes intended."
vm(Update): "Various internal improvements. No functional changes intended."
m68k(Update): "Put back the number of ATC lines to 22. It improves the performance about 2%."
GUI(New): "Make the access status monitor graphical."
GUI(Update): "Change whole bitmap internal structures. No functional changes intended."
GUI(Update): "Improve scaling performance at preset magnification by 3-5 times."
vm(New): "Allow CPU affinity configuration for debugging and evaluation."
```

---

## 6.5. doc をcommit します

---

doc をcommit します。コメントは、「doc:Updated カテゴリー/パッケージ名 to バージョン」に設定します。

```
doc: Updated emulators/nono to 0.7.3
```

```
cvcs diff -u CHANGES-2024
```

```
Updated emulators/nono to 0.7.3 [jun 2024-07-09]
```

---

## 7. sphinxのドキュメントをlatex経由でpdfに変換する

---

## 7.1. sphinxのインストール

---

```
pkg_add py38-sphinx
ln -s /usr/pkg/bin/sphinx-build-3.8 /usr/pkg/bin/sphinx-build
which sphinx-build
/usr/pkg/bin/sphinx-build
```

---

## 7.2. sphinxに必要なlatex環境インストール

---

```
pkg_add dvipdfmx
pkg_add latexmk
pkg_add tex-platex
pkg_add texlive-collection-langjapanese
pkg_add texlive-collection-fontutils
pkg_add tex-cmap
pkg_add tex-fancyhdr
pkg_add tex-titlesec
pkg_add tex-tabulary
pkg_add tex-varwidth
pkg_add tex-framed
pkg_add tex-float
pkg_add tex-wrapfig
pkg_add tex-parskip
pkg_add tex-upquote
pkg_add tex-capt-of
pkg_add tex-needspace
pkg_add tex-kvsetkeys
pkg_add tex-geometry
pkg_add tex-hyperref
pkg_add py-sphinxcontrib-svg2pdfconverter
pkg_add tex-tex-gyre
pkg_add py-blockdiag
```

---

## 7.3. dvipdfmx設定変更

---

```
cd /usr/pkg/etc/texmf/dvipdfm
diff -u -r1.1 dvipdfmx.cfg
--- dvipdfmx.cfg 2021/02/03 08:55:35 1.1
+++ dvipdfmx.cfg 2021/02/03 08:56:21
@@ -215,7 +215,7 @@
%f psfonts.map

% Put additional fontmap files here (usually for Type0 fonts)
-%f cid-x.map
+f cid-x.map

% the following file is generated by updmap(-sys) from the
% KanjiMap entries in the updmap.cfg file.
```

---

## 7.4. sphinx でlatexpdf起動

---

```
% gmake latexpdf
```

---

## 7.5. uplaxexを使う

---

「jarticle, jreport, jbook を使用していて! LaTeX Error: Encoding scheme `JY1' unknown. と表示される場合は、それぞれ uarticle, ureport, ujbook という upLaTeX で使用するクラスファイルに変更します。」 [1]

---

```
--- perth.tex.org 2022-04-28 13:47:29.834982187 +0900
```



```
+++ perth.tex 2022-04-28 13:47:50.156470962 +0900
@@ -1,6 +1,6 @@
%% Generated by Sphinx.
\def\sphinxdocclass{jsbook}
-\documentclass[a4paper,10pt,dvipdfmx]{sphinxmanual}
+\documentclass[a4paper,10pt,dvipdfmx,uplatex]{sphinxmanual}
\ifdefined\pdfpxdimen
\let\sphinxpxdimen\pdfpxdimen\else\newdimen\sphinxpxdimen
\fi \sphinxpxdimen=.75bp\relax
```

[1] <https://texwiki.texjp.org/?LaTeXのエラーメッセージ>

## 7.6. pip でのモジュール追加

pip は `/usr/pkg/bin/pip3.10` にあります。pip+バージョンです。sphinxcontribに追加する場合の例です。

```
% pip3.10 install sphinxcontrib-blockdiag
% pip3.10 install sphinxcontrib-seqdiag
% pip3.10 install sphinxcontrib-actdiag
% pip3.10 install sphinxcontrib-nwdiag
```

## 8. BSDライセンス

BSDは、Berkeley Software Distributionの略称です。

1. <http://ja.wikipedia.org/wiki/BSD>
2. `/usr/src/share/misc/bsd-family-tree`

### 8.1. BSDライセンスとNetBSD

NetBSDのソースコードは、自由に配布したり売ることができます。NetBSDのソースコードから作ったバイナリを売ることができます。バイナリのソースコードを公開する義務はありません。

#### 8.2. 2 条項 BSD ライセンス

<http://www.jp.NetBSD.org/ja/about/redistribution.html>

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

#### 8.3. 2条項BSDライセンス(訳)

<http://www.jp.NetBSD.org/ja/about/redistribution.html>

ソースおよびバイナリー形式の再配布および使用を、変更の有無にかかわらず、以下の条件を満たす場合に認める:

1. ソースコードの再配布においては、上記の著作権表示、この条件の列挙、下記の注意書きを残すこと。
2. バイナリー形式の再配布においては、上記の著作権表示、この条件の列挙、下記の注意書きを、配布物に付属した文書および/または他のものに再現させること。

このライセンスの前には著作権表示そのものが付きます。この後には注意書きが付き、このソフトウェアに関して問題が生じても、作者は責任を負わないと述べます。

## 9. NetBSD

---

NetBSDは1個のソースツリーをコンパイルすることで実行イメージを作ることができます。

### 9.1. ソースコードから作る

---

tar形式のファイルをダウンロード&展開し、build.shというスクリプトでコンパイルすると、NetBSDの実行イメージができます。

このtarファイルの中には、これまでNetBSDがサポートしてきた50種類以上のハードウェアと、無数の周辺機器の仕様が含まれています。しかもコンパイルすると、実際にハードウェア上でNetBSDが動作します。

NetBSDのコンパイルはNetBSDでも、NetBSDではないOSでも、どのハードウェアでも、ほぼ同じ手順でコンパイルできます。(できるはずです)

---

```
ftp ftp://ftp.NetBSD.org/pub/NetBSD/NetBSD-current/tar_files/src.tar.gz
tar xzvf src.tar.gz
./build.sh -U -m i386 release -U:root以外で作成,この場合i386向け
```

---

### 9.2. Xを含んだシステムを作る

---

---

```
ftp ftp://ftp.NetBSD.org/pub/NetBSD/NetBSD-current/tar_files/xsrc.tar.gz
tar xzvf xsrc.tar.gz
cd src
./build.sh -u -U -m i386 -x -X ../xsrc release ... -u:更新,-xX Xも作る
```

---

### 9.3. CD-ROMイメージを作る

---

---

```
./build.sh -m i386 iso-image ... CD-ROMイメージ作成
```

---

## 10. pkgsrc - ソースコードからソフトウェアを作る

---

世界中にあるいろいろなプログラムをコンパイル・インストールする手順は、プログラムごとにまちまちです。世界中のプログラムを、すべて同じ手順でコンパイルして、インストールするためには、どのような枠組みがあればよいでしょうか？

ソースコードからプログラムをコンパイル・インストールする時、NetBSDでは主に、pkgsrcを利用します。pkgsrcでは、13000種類以上のプログラムについて、コンパイル手順を分野ごとにまとめて、収集しています。

pkgsrcの役割を挙げてみます。

1. 適切なサイトからソースコードをダウンロード展開する。
2. 適切なオプションをつけて、コンパイルする。
3. インストールする。
4. コンパイルした結果からパッケージを作る。
5. 他のマシンにパッケージをインストールする。

それではpkgsrcを実際に使ってみましょう。pkgsrc.tar.gzというファイルを展開して利用します。ここでは、すぐれたtwitterクライアントであるmikutterをインストールします。makeコマンドを実行すると、関連するソフトウェアをインストールします。

---

```
cd /usr
ftp://ftp.NetBSD.org/pub/NetBSD/NetBSD-current/tar_files/pkgsrc.tar.gz
tar xzvf pkgsrc.tar.gz
(cd /usr/pkgsrc/bootstrap;./bootstrap) .. NetBSD以外のOSで実行する
cd /usr/pkgsrc/net/mikutter
make package-install
```

pkgsrc.tar.gz ファイルの中には、12000種類以上のソフトウェアをコンパイルし、インストールする方法が含まれてい

---

## 10.1. gitをインストールしてみる

---

```
cd /usr/pkgsrc/devel/git-base
make install
which git
/usr/pkg/bin/git
```

---

## 10.2. baserCMSをインストールしてみる

---

典型的なCMSは、この手順でインストールできます。

---

```
cd /usr/pkgsrc/www/ap-php ... php54+apache
make package-install 関連するソフトウェアが全部コンパイル・インストール
vi /usr/pkg/etc/httpd/httpd.conf
LoadModule php5_module lib/httpd/mod_php5.so
AddHandler application/x-httpd-php .php
```

```
cd /usr/pkgsrc/converters/php-mbstring
make package-install
```

```
vi /usr/pkg/etc/php.ini
extension=mbstring.so
```

baserCMSはMySQLをインストールしなくても利用できますが、利用する場合

```
cd /usr/pkgsrc/databases/php-mysql ... php+mysqlインストール
vi /usr/pkg/etc/php.ini
extension=mysql.so
```

```
vi /usr/pkg/etc/httpd/httpd.conf
DirectoryIndex index.php index.html
```

```
vi /etc/rc.conf
apache=YES
cp /usr/pkg/share/examples/rc.d/apache/etc/rc.d/apache
/etc/rc.d/apache start
```

basercms.netからzipファイルをダウンロード

```
cd /usr/pkg/share/httpd/htdocs
unzip basercms-2.1.2.zip
chown -R www.www basercms
http://localhost/basercms
管理者のアカウントとパスワードがメールで飛んでくる！！
```

pkgsrcを使う場合：

```
cd /usr/pkgsrc/www/php-basercms
make package-install
```

---

### 10.2.1. SSL設定

---

証明書のファイルを指定して、httpd.confのコメントを外して、apacheを再起動します。

---

```
/usr/pkg/etc/httpd/httpd-ssl.conf
SSLCertificateFile
SSLCertificateKeyFile
```

```
SSLCertificateChainFile
```

```
/usr/pkg/etc/httpd/httpd.conf
Include etc/httpd/httpd-ssl.conf ... コメントはすす
```

---

## 10.2.2. 日本語Wordpress

---

```
cd /usr/pkgsrc/www/php-ja-wordpress
make package-install
```

---

## 10.3. LibreOfficeを動かしてみる

---

LibreOfficeをインストールしてみましょう。

```
cd /usr/pkgsrc/misc/libreoffice
make package-install
 : 9時間くらいかかります。
which libreoffice
/usr/pkg/bin/libreoffice
```

---

## 10.4. IRCクライアントを動かしてみる

---

IRCクライアントとして hexchatをインストールします。

```
cd /usr/pkgsrc/chat/hexchat
make package-install
#hexchat
サーバ選択画面で http://Libera.Chat 指定します。
チャンネルに#netbsd を指定します。
設定→設定→インタフェース→外観→一般→フォントでフォント選んで、右端の表示が切れるのを直します。
```

---

## 10.5. aws/kubectl コマンド

---

AWSを操作するコマンドはnet/py-awscliにあります。

```
cd /usr/pkgsrc/net/py-awscli
make package-install
which aws
/usr/pkg/bin/aws
% aws
Note: AWS CLI version 2, the latest major version of the AWS CLI, is now stable and recommended for general
usage: aws [options] <command> <subcommand> [<subcommand> ...] [parameters]
```

---

kubectl は net/kubectl にあります。

```
cd /usr/pkgsrc/net/kubectl
make package-install
which kubectl
/usr/pkg/bin/kubectl
% kubectl
kubectl controls the Kubernetes cluster manager.
```

Find more information at: <https://kubernetes.io/docs/reference/kubectl/overview/>

---

## 10.6. 依存しているパッケージを調べる

---

```
cd /usr/pkgsrc/pkgtools/revbump
make package-install
```

```
finddepends lang/rust rustに依存しているパッケージを調べる
```

---

## 10.7. インストールするソフトウェアのライセンスを意識する

---

あるソフトウェアのソースコードをどのように取り扱えばいいのかは、ソフトウェアに含まれるライセンスに書かれています。GNUやBSDやMITやApacheなど有名なライセンスもあれば、有名なライセンスを少しだけ入れ替えて、目的にあったライセンスに作り替えたものなど、まちまちです。pkgsrcでは、pkgsrcに含まれるソフトウェアのライセンスを収集しています。実際に見てみましょう。

```
% cd /usr/pkgsrc/licenses ... ライセンス条項が集まっている
% ls |wc -l
228
% ls |head
2-clause-bsd
3proxy-0.5-license
CVS
acm-license
adobe-acrobat-license
adobe-flashsupport-license
amap-license
amaya-license
amazon-software-license
amiwm-license
:
```

---

特定のライセンスを持つソフトウェアのインストールを許可するかどうかは、/etc/mk.conf ファイルで定義します。星の数ほどあるソフトウェアのライセンスを受け入れるかどうかを、自分で決めることができます。

```
% grep ACCEPTABLE /etc/mk.conf |head
ACCEPTABLE_LICENSES+= ruby-license
ACCEPTABLE_LICENSES+= xv-license
ACCEPTABLE_LICENSES+= mplayer-codec-license
ACCEPTABLE_LICENSES+= flash-license
ACCEPTABLE_LICENSES+= adobe-acrobat-license
ACCEPTABLE_LICENSES+= adobe-flashsupport-license
ACCEPTABLE_LICENSES+= skype-license
ACCEPTABLE_LICENSES+= lha-license
ACCEPTABLE_LICENSES+= opera-eula
ACCEPTABLE_LICENSES+= lame-license
```

---

## 10.8. pkgsrc/packages

---

コンパイルしたパッケージは、pkgsrc/packages以下に生成されます。

```
% cd /usr/pkgsrc/packages/All/
% ls *.tgz |head
GConf-2.32.4nb7.tgz
GConf-ui-2.32.4nb11.tgz
ORBit2-2.14.19nb4.tgz
SDL-1.2.15nb7.tgz
SDL_mixer-1.2.12nb5.tgz
acroread9-jpnfont-9.1.tgz
:
pkg_add gedit-2.30.4nb17.tgz ... インストール
pkg_info ... 一覧表示
pkg_del gedit ... 削除
```

---

## 10.9. pkgsrcに何か追加したい

---

```
cd /usr/pkgsrc/pkgtools/url2pkg
make package-install
cd /usr/pkgsrc/ジャンル/名前
```

```
url2pkg ダウンロードURL
Makefileとかができる
```

---

## 10.10. /usr/pkgsrc以下のメンテナンス

---

```
cd /usr/pkgsrc/pkgtools/lintpkgsrc
make package-install
cd /usr/pkgsrc; cvs update -PAd ... /usr/pkgsrcを最新にする
lintpkgsrc -pr 古くなったバイナリパッケージを消す
lintpkgsrc -or 古くなったソースファイルを消す
lintpkgsrc -mr ソースファイルのチェックサムが/usr/pkgsrcと合っているか
```

---

## 10.11. pkgsrcの更新

---

pkg\_chkを使う方法

---

```
cd /usr/pkgsrc/pkgtools/pkg_chk
make package-install
cd /usr/pkgsrc
cvs update -PAd
pkg_chk -u 古いパッケージをコンパイルして更新する
```

---

pkg\_rolling-replaceを使う方法:依存関係に従って更新する

---

```
cd /usr/pkgsrc/pkgtools/pkg_rolling-replace
make package-install
cd /usr/pkgsrc
cvs update -PAd
pkg_rolling-replace -u
```

---

## 10.12. ソースコードの更新

---

```
http://cvsweb.NetBSD.org/
cd src
cvs update -PAd ... 最新に更新
cvs update -Pd -r netbsd-7 ... NetBSD7.0
cd pkgsrc
cvs update -PAd ... 最新に更新
cvs update -Pd -r pkgsrc-2015Q3 ... 2015Q3に更新
```

---

## 10.13. バグレポート・追加差分

---

<http://www.NetBSD.org> → Support → Report a bug / Query bug database.

## 10.14. The Attic Museum

---

[https://wiki.netbsd.org/attic\\_museum](https://wiki.netbsd.org/attic_museum)

メンテナンスするのがつらくなってきた機能を削除します。yurexとか。

## 11. NetBSDとブース展示

---

日本NetBSDユーザーグループは、日本各地のオープンソースイベントに参加し、ブース出展とセミナー枠を利用して、NetBSD関連の情報をまとめています。オープンソースカンファレンスへの積極的な参加が認められ、2014年2月に「第1回OSCアワード」を受賞しています。

## 11.1. ブース出展

オープンソース関連のイベントでは、たいてい幅1.8m程度の長机と椅子二つ程度のブースを出展します。各地域でのイベント開催に合わせて、最新の活動成果を展示しようとしています。

## 11.2. セミナー枠

セミナー枠では、NetBSDに関する情報を紙にまとめて配布して、出版物でカバーできないような情報をイベント毎にまとめています。開催地にある電子部品店・コンピュータショップ・古書店・クラフトビールバー等、生活に必要な情報もまとめています。

## 11.3. シール関連まとめ

NetBSDブースでは、NetBSDのシールや、NetBSDがサポートしている・サポートしようとしている・みんなが好きで利用しているソフトウェアに関連したシールを持ち寄って配っています。OSの展示は単調になりがちで、OS開発やNetBSDについて通りすがりの数秒で理解してもらうのは不可能でしたが、シールなら数秒で何かわかってもらえます。かさばらないので、誰にも受け取ってもらいやすく、優れたデザインのシールに人気が出ると、ブース全体に活気が生まれて、思いもよらない進展を呼ぶことがあります。

みくったーシールずかん <http://togetter.com/li/566230>

らこらこシール作成の記録 <http://togetter.com/li/554138>

## 12. ルナ式練習帳、またはLunaの薄い本2024 [1]

「私が誰かはわかっているはずだ。」その声は天使の声だった。

--- さまよえる天使 [2] [3] バーナード マラマッド [4]



### 12.1. History and Background of LUNA

The LUNA hardware had two different operating systems; a 4.3BSD derivative and a SVR3 variant. The first one, named UNIOS-B, was a port of Integrated Solution Inc. UNIX product. ISI manufactured m68k based VME UNIX boxes. Their OS had an interesting feature of TRFS (Translucent Remote File System) as well as the popular SMI's NFS. The paper of TRFS was published at USENIX Technical Conference (late '80, details unknown in this moment).

[174]

## 12.2. nono - LUNA-I emulator

「nono は NetBSD とかで動作する LUNA-I とかのエミュレータです。でもまだ動きません。」 [167]

nono 0.0.3 (2020/05/16) 置いときますね。

<http://pastel-flower.jp/~isaki/nono/>

なんちゃってROM用意したので、実機ROMなくても一応起動はすると思う。けど起動しかできないのと、こっからどうし;

「nonoさんが実機ROMなしでも起動するようなのでとりあえず最小インストールイメージを置きました」 [168]

NetBSD/luna68k 9.0 minimam liveimage 20200518版

<http://teokurebsd.org/netbsd/liveimage/20200518-luna68k/>

- pkgsrc経由でのnonoインストール

pkgsrc/emulators/nono

make package-install

<https://gnats.netbsd.org/55761>

<https://twitter.com/isaki68k/status/1315996525919518724>

<http://www.pastel-flower.jp/~isaki/NetBSD/patch/pkgsrc-nono-20201013.diff>

<http://www.pastel-flower.jp/~isaki/NetBSD/patch/nono-20201013.diff>

add /etc/mk.conf

ACCEPTABLE\_LICENSES+= nono-license

cd /usr/pkgsrc/emulators/nono;make ;make package-install

- nonoからのNetBSD/luna68k liveimage起動 [169]

1) nono-0.1.1 をダウンロード

<https://twitter.com/isaki68k/status/1261646479816404992>

2) 展開して doc/index.html を読んでビルド

3) liveimage をダウンロードして gunzip

4) nono.cfg を作って置く

<https://gist.github.com/tsutsui/340546bdc064cee786ed2473fb510463>

5) wx/nono で実行

6) Emulated ROM上で以下のコマンドを実行

k

[enter]

[enter]

d

boot

g

x

vmtype=luna

*#ethernet-hostdriver=tap*

*#prom-use-rom=0* #外部ROMを指定しなければ内蔵なんちゃってROMで上がるので指定しなくても動く

*#spc0-id6-writeprotect=1* #ディスクライトプロテクト。デモとかでACで落とす用。

spc0-id6-image=hd, liveimage-luna68k-raw-20200518.img

- Luna88Kの起動

「設定ファイルでvmtype=luna88kにして、O/luna88kのリリースセットの中のboot を-Aオプションで指定とかまでは出来ます。」 [170]

「it was made from scratch.」 [171]

#OpenBSD/luna88k 6.8-current runs on nono-0.1.4 on #OpenBSD/amd64. Now I can login to virtual luna88k machine! Great! [178]

For anyone interested in nono and luna88k, I put OpenBSD/luna88k live image. (990MB gzip'ed, 2.0G uncompressed) Set this image as spc0-id6-image in nono.cfg, and start nono with OpenBSD/luna88k bootloader, i.e. "nono (other options) -A boot" [179]

#VER=6.8

VER=snapshots



```
ftp https://cdn.openbsd.org/pub/OpenBSD/${VER}/luna88k/miniroot68.fs
ftp https://cdn.openbsd.org/pub/OpenBSD/${VER}/luna88k/bsd
ftp https://cdn.openbsd.org/pub/OpenBSD/${VER}/luna88k/bsd.rd
nono -A bsd.rd
```

```
vmttype=luna88k
#luna-dipsw1=11111111 #ディップスイッチの初期値設定
#ethernet-hostdriver=tap
#prom-use-rom=0
ram-size=64
spc0-id6-image=hd,spc0-id6-image
```

```
うえーい、進んだー(° ∇ °)ー!! [173]_
MFP通過した。 [175]_
ROMやっとな動いた(´Д`) [180]_
```

- [library\\_aslr \[181\]](#)

/etc/rc.conf.local に `library_aslr=NO` と書いておくと `reordering libraries` をスキップします。起動後であれば、`# rcctl disable library_aslr` でも良いです。 [man.openbsd.org/rc.conf](http://man.openbsd.org/rc.conf)

## 12.3. LUNA前夜 - 誕生と再生のためのテーマ

オムロン株式会社が1990年代初めに発売していたワークステーションLUNA。

「オムロンはインターネットの基礎となるUNIXにパイオニアとして取り組んできました。最初のマシンは1984年に出荷を開始した「スーパーメイト」と言うモトローラ社の68000をCPUとして使ったワークステーションでした。、当時サンマイクロシステムズが設立されたばかりで、10MHzのチップを使っていましたが、我々は国産の最新の12.5MHzのチップを使い、当時の最高速マシンとして登場しました。

当然UNIXを使うと自然にインターネットを使う事になるのですが、UNIXそのものが技術者しか使えないものだったため、技術者同士の通信手段として細々と使われていたに過ぎません。しかし、それでもUNIXの将来性に気づいていた我々は草の根的にオムロンの中でネットワークを拡大していきました。シグマワークステーション、LUNAワークステーションとマシンは進化していきましたが、その一方で「オムロン・インターネット」が着々と規模を拡大していきました。最終的には全国30箇所以上、2000人が使うネットワークにまで成長しました。当時はだれもこれが「イントラネット」だと言う意識は無く、ひたすら便利なネットワークとして整備を続けました。もちろん今ではこれが典型的なイントラネットである事は間違いありません。しかし、この段階では依然として技術者専用の情報インフラでありました。草の根的な従って統率の無いものでした。」 [50]

### 12.3.1. スーパーメイト

LUNAは、SX-9100以降の愛称なのですが、その前のSX-8700の時代は、スーパーメイトという愛称でした。 [149]

そしてソースリーディングを開始して約半年後、いよいよオムロン標準の16ビットボード (68000MPU) を改造して68451MMUを追加したボードコンピュータに、UNIXを移植する作業がスタートしました。開発環境は、EXORmacs上のIdrisを用い、移植中のOSのロードモジュールは、RS-232C接続で、実機にダウンロードしました。

そして、AH (アドバンストハード) プロジェクトと合流して開発したのが、68000搭載のUNIXワークステーションSX-8700でした。当時はUNIX System III注19であり、開発環境としてVAX-780上のSystem IIIを使いました。VAXと68000のバイトオーダーが逆だったので苦労しました。このマシンがスーパーメイトという商品名で、1984年春のマイコンショーで、オムロンのコンピュータとして華やかにデビューしたのです。そして間もなく発表されたUNIX System Vを移植し直し、その年の秋に出荷が開始されました。 [150]

### 12.3.2. トラッカー台分

引越しのため、収集していた古いワークステーションを廃棄している (しようとしている) ところです。そんななか、希少マシン? はNetBSDの移植に使用されていることを知り、事務局様を通じて、junk-jaへのポストをお願いしました。 [11]

### 12.3.3. 1985年12月20日

SEA設立総会の夜。「1985年12月20日という日付は、日本のソフトウェアの歴史に永久に記録されよう。」  
(c)岸田さん 「詳しくはシグマせんとのこと」 [54]

### 12.3.4. 1986年10月

「SIGMA サイドで作っていたオムロンのLUNA マシンは、そのころ、まだ影も形もなかった。わたしがソニーにアドバイスしたマーケティング戦略は、とりあえず最初のロットでできた何十台かのマシンを日本全国の大学の研究者に無料で配って使ってもらおうというもの。これもみごとに図にあたったと思います。」 [53]

### 12.3.5. 1982年

「一九八二(昭和五七)年頃の話。ワークステーション開発部長をしていた市原達朗は、その利用法を考えているうちに、ワークステーションを使った産学連携を思いついた。数学のノーベル賞とも言われるフィールズ賞の受賞者・広中平祐をトップに、全国から一〇〇人の教授を選んで、一人一〇大、合計一〇〇〇台のワークステーションを寄付し、それをネットワークで結んで研究成果を無償解法してもらおう。そしてそれを企業が事業に活用するというのがその趣旨だった。協力してもらおうのは立石電機のほかに、東芝、日立製作所、IBMといった企業四社を想定していた。」 [156]

## 12.4. LUNAシリーズ概要

### 12.4.1. SX-9100

1987年発表 for  $\Sigma$ プロジェクト [36] [51] [86] 「札幌 $\Sigma$ サブセンターに設置されて、地場企業による $\Sigma$  CAI ソフトウェアの開発に利用されていた。」 [52]

### 12.4.2. LUNA [13]

1. 1989年発表 MC68030 20MHz
2. 起動動画 [45] [46] [38]

シリーズ構成 [65]

| ディスクレス | ベーシック   | スタンダード    | スタンダード    | ファイルサーバ   | ハイエンド     |
|--------|---------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| DT10   | DT20/25 | DT30/35   | DT32/37   | DT40/45   | DT50/55   |
| 4MB    | 4MB     | 4MB       | 8MB       | 4MB       | 8MB       |
| •      | 70MB    | 100MB     | 100MB     | 172MB     | 172MB     |
| LAN    | •       | LAN       | LAN       | LAN       | LAN       |
| ブラック   | ブラック    | ホワイト      | ホワイト      | ホワイト      | ホワイト      |
| 55万円   | 88/103万 | 115/135万円 | 140/160万円 | 165/185万円 | 190/210万円 |

- PC98インターフェースはホワイトタイプに装備,DT20/25はオプション
- DT25,35,37は、フロッピーの代わりにテープストリーマ付き

### 12.4.3. オプション

1. ビットマップボード:モノクロ:2048x1024,1プレーン
2. ビットマップボード:カラー:2048x1024,4プレーン,4096色中16色/16階調同時表示
3. 増設メモリボード:最大4MBx2枚
4. LANボード:イーサネット,チーパネット(DT20/25)
5. PC-98インターフェースボード
6. GPXボード: X.25,GP-1B

### 12.4.4. UNI-OS [37]

UniOS-B

Unix4.3BSDを移植したもの。Lunaで稼動。

#### UniOS-U

UnixAT&TSystemV R2.1をベースに4.2BSDの機能等を付加し、移植したもの。Luna、Luna-IIで稼動。

#### UniOS-Σ

ΣOS-VOR1準拠したもの。Luna-Σで稼動。(要出典:Luna-Σという呼び方) [83]

#### UniOS-Mach

Machをベースに移植したもの。Luna-II、Luna-88Kで稼動。

本校のワークステーションはオムロン株式会社の「LUNA」（DT65及びFS180）というもので、CPUに「MC68030」（メインメモリー16MB）を、基本ソフトウェアに統合化OS（後述します）である「Unios-U」を採用した高性能なものです。（注釈：この部分を読めば、最近のコンピュータの進化が実感できますね） [66]

### 12.4.5. LUNAII

- 1991/6 MC68040 25MHz
- 68040を搭載したワークステーションLUNA - IIのハードウェア
- 互換性を重視し、CISC CPUを採用したワークステーションについて [21]
- カーネル起動問題

#### シリーズ構成 [73]

| DT2460 | DT2465 | DT2660 | DT2665 |
|--------|--------|--------|--------|
| 8/16MB | 8/16MB | 8/16MB | 8/16MB |
| 250MB  | 250MB  | 250MB  | 250MB  |

- PC98インターフェースを2スロット装備
- DT2465,2665は、フロッピーの代わりにテープストリーマ付き
- イーサネット/チーパネット(標準)+イーサネット(オプション)

- ビットマップボード:モノクロ:2048x1024,1プレーン
- ビットマップボード:カラー:2048x1024,4プレーン,4096色中16色同時表示
- ビットマップボード:カラー:2048x1024,8プレーン,1670万色中256色同時表示

88Kでも88K2でも、hwplanebits(=ROMモニタのワークエリアの値)は、PW7131(8bpp) → 8 PW7102(4bpp) → 1となる。 [101] [102] [103]

### 12.4.6. LUNA88k [10]

- モトローラRISC CPU MC88100(m88k)を採用
- マルチCPU対応(最大4つ) 1CPU時25Mips ,4CPU時100Mips
- Mach2.5,X11.4/X11R5(Luna88K2),Wnn4.1,Motif1.1.4
- PC-98用バス対応
- OpenBSDはm88kの実機とtoolchainがメンテナンスされている唯一のBSD
- 1992/9 「マルチRISCワークステーションLUNA - 88K2 - 33MHz MC88100 CPUを最大4個搭載したマルチRISCワークステーションについて」 [16]
- 88Kと88K2ではNVRAM/Timekeeperが違う。 [84]
- 起動動画 [30] [48] [49]
- ユニマガ紹介記事 [74] と、製品仕様 [75] と、まとめ [71]
- miod@openbsd.org さんのOpenBSD/luna88k ページ [90]
- LUNA-88K2 姉妹生存報告。10月にリリースされた #OpenBSD 6.8 [176]
- MC88100 バグ対応の一部 [177]

#### シリーズ構成 [73]

| DT8840 | DT8860  |
|--------|---------|
| 8/16MB | 32/64MB |
| 250MB  | 250MB   |
| 270万円  | 350万円   |

- 

## 12.4.7. omron3

---

omron3.sp.cs.cmu.edu (オムロン製 LUNA88k) は 1990年から1997年の間 CMU の日本語コンピュータ環境を提供するべくボランティア達によって運用されてきた計算機です。1997年5月をもって komachi.sp.cs.cmu.edu (Intel Pentium 120Mhz FreeBSD) に役目を引き継ぎ引退しました。 [68]

## 12.4.8. OEM版

---

「LUNAのシグマOSのやつで日本無線からでていたOEMのワークステーションというやつを使っていたことがあります。なんか日本語フォントがX-Window立ち上げなくても使えたようなおぼろげな記憶。銀座にあったオムロンのセミナー会場で講習をうけたのだけど、そこではOEMでなくて普通のLUNAだったからなんかちがってとまどったような...」 [64]

## 12.4.9. LUNA2010 [78]

---

Introduces Omron Electronic BV's Luna 2010, a multiprocessor Unix workstation that supports configurations of up to four 88110 CPUs. Compatibility with Data General's DG/UX 5.4 Release 2.10 operating system; Other features; Prices. [79]

そして、新しいワークステーション用のチップセットのコードネームにAsteroidという名前をつけました。火星と木星の間にある無数にある小惑星群のことです。今から考えると、何でこんな名前を付けたのだろうを反省してしましますが、とにかくそういう名前をつけてしまいました。 [77]

- 88110
- 1993/9ごろ
- DC/UX5.4.X

## 12.5. OSCを中心とするイベント駆動開発

---

1. 動きそうなLUNAを探す
2. ハードウェアを整備する
3. ソフトウェアを書くために必要な情報を交換する
4. 行き詰ったらツイッターで相談する
5. 定期的にイベントで展示する
6. 昔使っていた人に直接話を聞く
7. 集めた情報を整理して、公開する

### 12.5.1. OSC2011Kansai@kyoto - LUNA復活

---

NetBSD/m68k will never die!

当日いきなりSun/NEWS/Luna展示 [31]

2011/7/16のコミットメッセージ [35]

---

Revive NetBSD/luna68k.

Even after almost a lost decade since NetBSD/luna68k was switched to using ELF format by default back in 2001, actually only one fix (bus.h) is required for a GENERIC kernel itself to get multiuser login: prompt on a real hardware. Hurrahhh!!!

Demonstrated with a working Xorg mono server on the NetBSD booth at Open Source Conference 2011 Kansai @ Kyoto:  
<http://www.ospn.jp/osc2011-kyoto/>

"Very impressed," commented by Tomoko YOSHIDA, Program Committee Chair of the Conference, and some other OMRON guys.

Special Thanks to Tadashi Okamura, for providing a working SX-9100/DT "LUNA" for this mission.

---

## 12.5.2. なぜNetBSD/luna68kなのか

---

LUNAを使っていたわけでもないのになぜNetBSD/luna68kにこだわるのか。それはNetBSDのyamt-kmemブランチマージ作業の際の話にまで遡る。 [91] [92]

違った yamt-km のほうだった orz [93] [94] yamt-km では hp300由来の m68k pmap でカーネルKVA用のセグメントテーブルをKVAの最上位に移動する必要があった。大部分のm68kではKVA空間上位は空いていたが luna68kだけは0x40000000以降のデバイスアクセスにTTレジスタを使っていた。 [95] で、hp300由来のpmapのセグメントテーブルとページテーブルの初期化は壮絶に何をやっているのかさっぱりわからない記述になっていて、かつ030と040は別の初期化が必要で、yamt-kmマージ当初はyamtさんがそれなりに書き換えたけれど誰もテストしていなかったわけですよ [96] その後 NetBSD 4.0が出る前に yamt-km マージで動かなくなっていた atari を修正して、そのあとをm68k全部のpmap初期化をすべて読み解いてそれぞれのpmap\_bootstrap.cを初期化意図が読み取れるようにゴリゴリ書きなおしたわけなんですよ [97] 実機テストできない機種ソースを4つも5つも書きなおして、1年後に見直すぞ致命的なtypoがあったりして、誰も持ってないマシンのコードなんか何の意味があるのか消してしまえなどと言われて、でもOSC2011京都で入手したluna68k実機ではそのままのソースで起動した、というお話 [98]

## 12.5.3. OSC2011Kansai@kyotoの波紋

---

- 「オムロンからLUNA88Kが発掘された」 from よしだともこ先生 [29]
- 「LUNA88KはOpenBSD開発者の方へ」 →あおやまさんと連絡がとれる
- 「ツイッターで『LUNA-IIはありませんか』とつぶやくと」
- 「ふと、横を見ると『LUNA II』と書いたマシンが。。。」

## 12.5.4. LunaII対応

---

1. 同じオペランドで68030と68040で違う命令の罫
2. %tt1 (PA/VA透過変換レジスタ)設定値修正
3. M68040共通部分の修正適用
4. 外付けSCSIアタッチ追加
5. LCD表示を「SX-9100/DT2」に変更

## 12.5.5. KOF2011 - LUNAII展示

---

- 「NetBSDが謎マシンを動かす理由=そこに山があるからw」 [24]
- 「明日11日(金)からのKOFのNetBSDブースで OSC京都のOMRON LUNA展示の後に発見された LUNA-IIで動くNetBSD/luna68k を展示します。」
- 「LUNA資料は手書きだ」
- 「NetBSD/luna68k画面表示の裏でひっそりと活躍する自作LUNA-II内蔵型B/WビデオtoVGA変換。」
- 「「そんなことよりそれはなんだ」と言われそうなLUNAならぬ初代SX-9100 Mr.文具セット。裏によしだ先生サイン(?)入りの貴重品。」

## 12.5.6. isibootd(8)

---

LUNA専用ネットブートサーバプログラムisibootd(8)をNetBSDツリーにコミット。

## 12.5.7. FPU判別ルーチン

---

1. ローエンド、ベーシックタイプは68881
2. サーバータイプは68882

## 12.5.8. OSC2012Kansai@Kyoto

---

1. NetBSD/luna68k近況 [58]
2. wsconsコンソールフレームバッファ修正 (OpenBSD/luna88kから)
3. オムロンフォントで表示

4. 電源トラブル：電解コンデンサ全交換
5. PROM起動仕様 HDDから起動する条件調査
6. bootarg問題
7. SSD on LUNA
8. Xorgサーバー

## 12.5.9. 円頓寺LUNAエンカウント

---

NBUG2013/2月例会。いきなりLuna68K/Luna88k/BigNEWSがNBUG例会にタクシーで持ち込まれる。「掲示板でLUNA88kをNBUG例会に持ち込もうか聞いている人がいる」と噂になっていたその人だった。[56]

## 12.5.10. OSC2013Tokushima

---

1. NetBSDこの20年 [55]
2. NetBSD/luna68kブートローダー起動展示 [8]

---

Module Name: src  
Committed By: tsutsui  
Date: Sat Jan 5 17:44:25 UTC 2013

Added Files:

```
src/sys/arch/luna68k/include: loadfile_machdep.h
src/sys/arch/luna68k/stand/boot: Makefile autoconf.c bmc.c bmd.c boot.c
boot.ldscript conf.c cons.c device.h devopen.c disklabel.c font.c
getline.c init_main.c ioconf.c kbd.c kbdreg.h locore.S machdep.c
omron_disklabel.h parse.c preset.h prf.c rcvbuf.h romcons.c
romvec.h samachdep.h sc.c screen.c scsi.c scsireg.h scsivar.h sd.c
sio.c sioreg.h status.h stinger.h trap.c ufs_disksubr.c vectors.h
version
```

Log Message:

First cut at NetBSD/luna68k native bootloader.

Based on 4.4BSD-Lite2/luna68k "Stinger" loader revision "Phase-31"

<http://svnweb.freebsd.org/csrq/sys/luna68k/stand/>  
and MI libsa glue stuff are taken from hp300 etc.

Tested on LUNA-I and old DK315C SCSI disk drive.

LUNA's monitor PROM can load only an a.out binary in 4.3BSD FFS partition (i.e. created by "newfs -0 0") on disks with OMRON's UniOS disklabel, but now we can load an ELF kernel in root partition via this bootloader. (See luna68k/disksubr.c for details of UniOS label)

TODO:

- LUNA-II support (check 68040 to adjust cpuspeed for DELAY())
- secondary SCSI support for LUNA-II
- netboot via le(4) (should be trivial)
- support boot options on bootloader prompt
- bootinfo (passing info about booted device and kernel symbols)
- support "press return to boot now, any other key for boot menu" method like x86 bootloader (needs cnsan() like functions)
- tapeboot (anyone wants it?)

---

## 12.5.11. OSC2013Nagoya - Luna88K&Luna68K

- あおやさんと江富さんによるLuna88K/Luna68K完全動態展示 [57]
- Luna88K2 & Luna68K プロトタイプ7号機
- OpenBSD/luna88k開発者あおやさんによるプレゼンテーション [10]

---

## 12.5.12. OSC2013 Kansai@Kyoto

非力なマシンで最新のOSを動かすためには、大変な努力と工夫が必要です。その展示を実現させた方は、そ

の努力と工夫を楽しんでおられたというわけです。 [100]

### 12.5.13. NBUG 2013/9

---

- OpenBSD/luna88k 近況報告

### 12.5.14. KOF2013

---

- 関西オープンソース2013NetBSDブースの記録 [117]

### 12.5.15. OSC2014 Kansai@kyoto

---

- OSC2014京都 NetBSDブース展示への道 [134]
- OSC2014京都 NetBSDブースの記録 [135]

### 12.5.16. LUNAグッズ

---

- LUNAグッズ持参でブースに遊びに来てくれる元関係者の方が！
- シールとフロッピー [59]
- たれまく
- ペンセット [60]
- ペンケースとバンダナ [76] [121] [130]
- dpNote - 図形グッズ：シール・定規
- ホッチキス [133]
- トレーナー [144]
- LUNAII ボールペン

### 12.5.17. LUNA関連書籍

---

LUNAユーザーグループとは何か - mikutterの薄い本 [81] を会場に忘れたら、なぜか一緒に送られてくる  
UNIXワークステーションがわかる本 [61]

@tsutsuii LUNAの薄い本2013作れってことすね [7]

## 12.6. LUNAについて私が知っている二、三の事柄

---

### 12.6.1. Project Mach

---

Project Mach was an operating systems research project of the Carnegie Mellon University School of Computer Science from 1985 to 1994.

*"It's never too late. When it's over, you get to tell the story"* -- Garrison Keillor [67]

- luna88kカーネルソース [72]

### 12.6.2. LUNAインストール方法

---

- インストールマニュアル [27]
- NetBSD/luna68kの起動ディスク作り方メモ [28]

### 12.6.3. NetBSD/luna68Kのブート方法 [13]

---

2種類のブート方法： [27]

1. PROMがUNIOS-B /a.outをロードする
2. PROMが独自プロトコルでサーバからカーネルロード

- NetBSD1.5以降 m68kはELFフォーマット移行：どうやって起動するか
- 実機がないままソースツリーはメンテされ続ける

## 12.6.4. PROMモニタ

---

1. newfs -O o で作った4.3BSD形式のFFS上のa.outカーネルは読める。
2. LUNAIIでのネットブートは無理？
3. HDD起動時の制約は？(SCSI ID,カーネルサイズ,ファイルシステム)
4. LUNAIIは外部SCSI HDDから起動できるか

## 12.6.5. LUNA68Kのブートローダー

---

1. NetBSD/luna68k の起動ディスクの作り方メモ [28]
2. なんか出た。これでデバッグできる [8]
3. native bootloader update for NetBSD/luna68k [116]

## 12.6.6. LUNA88Kのブートローダー

---

1. OpenBSD/luna88k standalone bootloader by @MiodVallat works fine on my LUNA-88K2! [107]

## 12.6.7. BSD広告条項

---

4.4BSD-Lite2由来のコードに含まれる3項目(All advertising materials ..)、広告条項削除OKについて、文書で許可を出してくれるOMRONの方がいらっしゃると2-clause BSDで配布できる。

## 12.6.8. 電源問題

---

1. OMRONワークステーション LUNA-II 電源ユニット修理記 [25]
2. 「KOF本番週の日曜日に電源が不調になり急遽部品手配して展示直前に修理していた」
3. OSC2012京都前に再度補修 [26]
4. LUNA-II, LUNA-88K 電源ユニット(PTD573-51) 四級塩電解コンデンサー一覧 [88]
5. 88K2は88Kより分解しやすいような気がする。 [127]

## 12.6.9. LUNAII

---

1. 1MB SIMM/4MB SIMM切替→SIMM脇に謎ジャンパが
2. 4bppフレームバッファのX11R5ソースは？ [85]

## 12.6.10. PC98-Cバス

---

1. 86音源ボード on LUNA [138]
2. C-bus拡張ボード on LUNA-88K2 [146]

## 12.6.11. UniOS-Machと西暦2000年問題

---

でも、同じマシンでUniOS-Mach立ち上げると時刻が変になる。昔調べたとおりdate(8)コマンドでは2000年以降の日付は設定できないので、OS内部で元々Y2K対応が甘いだけかもしれない。 [82] [84]

## 12.6.12. 質問日時:2009/10/28 17:51:08

---

会社でワークステーション（オムロン製LUNAII）を使用していますが、プリンターが不良となりました。エプソンVP-4000です。中古をさがしていますが、これと互換性のあるプリンターはないでしょうか？ [14]

---

もう捨てようかと思う...が、未練があり捨てられず [10]

---

*Sometimes you get so lonely / Sometimes you get nowhere / I've lived all over the world / I've left every*



*place / Please be mine / Share my life / Stay with me / Be my wife* [5]

## 12.7. LUNA年表 - 月の刃

「次の日からオレとルナ先生の生活がはじまったんだ」 [62]

青：あおやまさん, 江：江富さん, オ：オムロン, 筒：筒井さん, 菅：菅原さん, モ：モトローラ

|            |   |                                                          |
|------------|---|----------------------------------------------------------|
| 1986/10    |   | いけない！ルナ先生連載開始                                            |
| 1987       | Σ | SX-9100 オムロンから発表 [47]                                    |
| 1988       | オ | グッドデザイン賞受賞 [15]                                          |
| 1988/7     |   | いけない!ルナ先生連載終了                                            |
| 1989       | オ | SX-9100/DT LUNA MC68030 20MHz                            |
| 1989/3     | オ | LUNAのハードウェア Omron Tech No.29 p.8-15 [19]                 |
| 1990/7     | オ | Luna88k Omron Tech p.81-92 [20]                          |
| 1991/6     | オ | LUNA - II Omron Tech No.31 p. 91-9 [21]                  |
| 1991/10/11 |   | 春奈るなさんの誕生日                                               |
| 1991/11    | モ | MC88110の存在が明らかになる [17]                                   |
| 1992/12    | オ | LUNA - 88K2 Omron Tech No.32 p.336-344 [16]              |
| 1992/12    | オ | MC88110ワークステーション Omron Tech No.32 p.345-350 [18]         |
| 1993/9     | オ | LUNA2010                                                 |
| 1994       |   | いけない!ルナ先生 復刻版                                            |
| 1994       |   | 4.4BSD Lite luna68k                                      |
| 1994       | オ | LUNA-IIの生産終了                                             |
| 1994/3     | オ | LUNA2010用システム診断プログラムの開発について [80]                         |
| 1998/6     |   | NetBSD/luna68k やってるひと、いますよ。[netbsd 02006] [23]           |
| 1999/12    |   | NetBSD/news68kマージ                                        |
| 2000/1/6   |   | NetBSD/luna68kマージ                                        |
| 2000       |   | いけない!ルナ先生 復刻版                                            |
| 2000/2/18  |   | 榎田さんluna68k起動成功 [netbsd 05132] [22]                      |
| 2000/08    | 青 | LUNA-88K2入手                                              |
| 2001/12    | 青 | LUNAにOpenBSD移植決意                                         |
| 2002/01/27 | 青 | OpenBSD/sparc上でm88kクロス環境構築                               |
| 2002/03/29 | 青 | シリアルコンソールでカーネルCopyright表示                                |
| 2002/06/05 | 青 | network bootでIPアドレス取得 [69]                               |
| 2003/08    | 青 | コンパイラのバグがなおったようなので再開                                     |
| 2003/09/20 | 青 | tarのオプションを間違えてソース消去、CVS導入                                |
| 2003/10/05 | 青 | なんとかもとの状態に戻る                                             |
| 2003/12/10 | 青 | NFS rootでシングルユーザ&マルチユーザ                                  |
| 2004/02/17 | 青 | SCSI動作                                                   |
| 2004/03/21 | 青 | Miod Vallatさん(OpenBSD/mvme88kのport maintainer)に見つかる [70] |
| 2004/04/21 | 青 | OpenBSD本家treeにcommit                                     |
| 2004/11/01 | 青 | OpenBSD 3.6: 初の正式リリース                                    |
| 2007/08/31 | 青 | LUNA-88K2の電源ユニット故障により起動できなくなる                            |
| 2007/9/5   | 青 | Luna88K検索願い [nbug:10540]                                 |
| 2009/10/28 |   | Yahoo知恵袋にLUNAIIに関する]質問が [14]                             |
| 2011/07    | 筒 | OSC2011Kansai@KyotoでLUNA/NEWS/Sun3展示 [31]                |
| 2011/7     | 筒 | NetBSD/luna68k on OMRON LUNA - Bootstrap [37]            |
| 2011/07    | オ | LUNA88Kオムロンにて発掘される！                                      |
| 2011/08    | 青 | ご好意により、オムロンで発掘されたLUNA-88Kが届く                             |
| 2011/08/15 | 青 | 上記LUNA-88Kの電源ユニットを移植して復活                                 |
| 2011       | 筒 | KOFでLUNA-II展示 [9]                                        |
| 2012/05/01 | 青 | OpenBSD 5.1: 久しぶりの正式リリース                                 |
| 2012/02/28 | 青 | 10年目にして一応マルチプロセッサ対応                                      |
| 2012/08/03 | 筒 | OSC2012関西@京都でLuna&LunaII展示 [32]                          |
| 2013/01    | 青 | OpenBSD m88k portのELF化&共有ライブラリ化                          |

|               |    |                                                                                                                           |
|---------------|----|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 2013/01/27    |    | Luna88k(白と黒) Luna88K2Luna2010を青山さんに送る                                                                                     |
| 2013/02/16    | 江  | Luna88K&Luna68k&BigNEWSをNBUG例会に持ち込む                                                                                       |
| 2013/03/09    | 江  | Luna88kをあおやまさんに送る                                                                                                         |
| 2013/03/09    | 筒  | OSC2013徳島でLuna68K展示 [33]                                                                                                  |
| 2013/03/19    | 筒  | 筒井さんから江富さんにLuna68k起動ディスクが送られる                                                                                             |
| 2013/04/13    | 青  | Monochrome X serverが動作                                                                                                    |
| 2013/06/22    | 青  | Luna88K OSC 2013 Nagoya で初展示。江富さんのLuna68kも初展示。 [119]                                                                      |
| 2013/08/2     | 筒  | OSC2013京都でLuna/Lunall tw/mikutter展示。 [120]                                                                                |
| 2013/08/24    | 筒  | OSC2013島根でLunall+mlterm-fb+mikutterd展示 [118]                                                                              |
| 2013/09/21    | 青  | OpenBSD/luna88k近況報告 無印/4bpp/リリース [109]                                                                                    |
| 2013/11/8-9   | 筒  | KOF2013 NetBSDブースでLuna+mikutter展示 [117]                                                                                   |
| 2013/12/21    | 青  | OpenBSD/luna88k近況報告 PC98バス 音源ボード [110]                                                                                    |
| 2014/01/11    | 筒  | native bootloader update for NetBSD/luna68k [129]                                                                         |
| 2014/03/05    |    | いけない！ルナ先生 DVD全6巻発売開始 [114] [115]                                                                                          |
| 2014/04/19    | 青  | NBUG2014/4例会 OpenBSD/luna88k 2014/4近況報告 [125]                                                                             |
| 2014/07/05    | 青  | OSC 2014 NagoyaでLuna88K+PC98 86音源ボード展示 [122] [123] [124]                                                                  |
| 2014/07/13    | 筒  | Lunall+8bpp ボードでカラー表示 [126]                                                                                               |
| 2014/07/20    | 筒  | LUNA's keyboard driver changes from OpenBSD/luna88k [131]                                                                 |
| 2014/07/21    | 筒  | luna68k 4/8bpp framebuffer as a monochrome server [132]                                                                   |
| 2014/08/01    | 筒  | lunall+mikutterd今年はカラーだ展示 [134]                                                                                           |
| 2014/08/13    | 筒  | LUNA framebuffer mod for LCDs without Sync on Green support [142]                                                         |
| 2014/11/07-08 | 筒  | 関西オープンソース2014 NetBSDブース展示の記録 [143]                                                                                        |
| 2014/11/29    | 青  | yaft × LUNA [140]                                                                                                         |
| 2014/12/20    | 青  | 86音源ボード on LUNA [138]                                                                                                     |
| 2014/12/29    | 青  | 86音源ボードコードコミット [139]                                                                                                      |
| 2015/02/21    | 青  | LUNA-88K2はPCカードの夢を見るか？ [141]                                                                                              |
| 2015/03/21    | 青  | LUNA-88K2はPCカードの夢を見るか？ <補遺> [145]                                                                                         |
| 2015/05/01    | 青  | OpenBSD 5.7リリース [148]                                                                                                     |
| 2015/05/22    | 青  | C-bus拡張ボード on LUNA-88K2 [146]                                                                                             |
| 2015/07/06    |    | 「いけない！ルナ先生」コラボ読切で復活 [147]                                                                                                 |
| 2015          | 青  | OpenBSD/luna88k移植物語 [152]                                                                                                 |
| 2015/10       | 青  | FM音源の調べ on LUNA <a href="http://www.slideshare.net/ao_kenji/nbug201510">http://www.slideshare.net/ao_kenji/nbug201510</a> |
| 2016/3        | 江  | Luna68K AsiaBSDCon2016ブース展示                                                                                               |
| 2016/7        | 筒  | Luna68K PSG Z80 sound driver for PC6001 to NetBSD/luna68k OSC京都 [164]                                                     |
| 2016/11       | 藤  | Implimentation of 4.BSD luna68k by Akito Fujita KOF                                                                       |
| 2016/11       | 筒  | Luna68K PSG Z80 sound driver for PC6001 to NetBSD/luna68k OSC広島                                                           |
| 2017/3        | 青江 | Luna88K&Luna68K AsiaBSDCon2017ブース展示                                                                                       |
| 2018/5        | 筒  | RaSCSI + OMRON 初代LUNA 起動                                                                                                  |
| 2018/5        | 青  | LUNA-88K2 OSC2018Nagoya ブース展示                                                                                             |
| 2018/8        | 菅  | LUNA68K OSC2018Kyoto ブース展示 LUNAのPSG音源でPCM再生                                                                               |
| 2018/8        | 筒  | LUNA68K OSC2018Kyoto ブース展示 sayaka+mlterm-fb                                                                               |
| 2018/7        | 青  | LUNA-88K2 OSC2018Nagoya ブース展示 [165]                                                                                       |
| 2020/4        |    | オムロン元社長・立石義雄氏逝去 [172]                                                                                                     |
| 2020/5        | 井  | nono-0.0.3リリース [167]                                                                                                      |
| 2020/7        | 井  | nono-0.1.0リリース                                                                                                            |
| 2021/5        | 青  | Here come LUNA-88K emulators! [182]                                                                                       |
| 2021/6        | 井  | nono-0.2.0リリース [181]                                                                                                      |
| 2022/4        | 井  | nono-0.3.0リリース                                                                                                            |
| 2022/5        | 筒  | psgpam(4)マージ [183]                                                                                                        |
| 2022/6        | 井  | nono-0.4.0リリース NetBSD/x68kブート                                                                                             |
| 2022/7        | 井  | nono-0.4.1リリース [185]                                                                                                      |
| 2022/7        | 筒  | NetBSD/luna88k シングルユーザブート [184]                                                                                           |
| 2022/9        | 井  | lunafb(4) improvement [186]                                                                                               |
| 2022/10       | 井  | nono-0.4.4リリース [187]                                                                                                      |
| 2023/1        | 井  | nono-0.5.0リリース [188]                                                                                                      |

|         |   |                               |
|---------|---|-------------------------------|
| 2023/2  | 井 | nono-0.5.1リリース [189]          |
| 2023/2  | 青 | LUNA88K Boot 0.8 [190]        |
| 2023/3  | 井 | nono-0.6.0リリース                |
| 2023/4  | 井 | nono-0.6.1リリース                |
| 2023/8  | 井 | nono-0.6.2リリース                |
| 2023/11 | 井 | nono-0.6.3リリース                |
| 2023/11 | 井 | nonoの話 [191]                  |
| 2023/12 | 井 | nono-0.6.4リリース                |
| 2024/2  | 井 | nono-0.7.0リリース                |
| 2024/3  | 井 | nono-0.7.1リリース                |
| 2024/5  | 井 | nono-0.7.2リリース                |
| 2024/5  | 青 | OSC2024NagoyaでLUNA88K展示 [192] |
| 2024/7  | 井 | nono-0.7.3リリース                |
| 2024/8  | 青 | FUZIXを88kのXP上で起動実験            |

## 12.8. 最近のLUNA

---

### 12.8.1. メモリ64M

---

というわけで LUNA-IIの64MB設定でも NetBSD/luna68kカーネル起動した。これでしばらく耐久テストするか… [12] [34]

### 12.8.2. mlterm-fb & tw

---

ツイッタークライアント！ [39] [40] [41] [42] [43] [44] [111]

### 12.8.3. mlterm-fb + mikutterd

---

LunaIIならmlterm-fbとmikutterdを組み合わせてタイムラインを展示できます。

### 12.8.4. 画像の2値化

---

モノクロ画面で効率的にデモ画面を作る方法：（サーベイする）

### 12.8.5. LUNA-88K:NVRAM and Timekeeper registers

---

On 'original' LUNA-88K, NVRAM contents and Timekeeper registers are

mapped on the most significant byte of each 32bit word. (i.e. 4-bytes stride) Also, add small 'Wrong year set by UniOS-Mach after Y2K' hack. [89]

### 12.8.6. LUNA88K謎ボード

---

- PWB7183 [99]
- 専用チップが載っている [102]

### 12.8.7. KOF2014におけるLUNA展示

---

LUNAフォントとSONYフォント [137]

### 12.8.8. yaft X LUNA

---

yet another frame buffer terminal [136]

## 12.8.9. 老ハード介護問題

- 電源修理
- SCSI HDD確保
- ブラウン管を知らない子どもたち
- 3ボタンマウスを知らない子どもたち [128]
- 液晶接続問題 [63]
- ハード保守
- 詳しい人がいなくなる

## 12.8.10. pkgsrc on Luna88K/OpenBSD

Luna88K/OpenBSD 上で、pkgsrcを使っていくつかパッケージを作ってみました。

```
nono88k# ls /usr/pkgsrc/packages/All/
bash-5.2.21nb1.tgz libiconv-1.17.tgz pcre2-10.42.tgz
bison-3.8.2nb1.tgz libidn2-2.3.4.tgz perl-5.38.2.tgz
bsdtar-3.4.3.tgz libtool-base-2.4.7nb1.tgz pkgconf-2.0.3.tgz
bzip2-1.0.8.tgz libunistring-1.1.tgz tcsh-6.24.10.tgz
digest-20220214.tgz libxml2-2.10.4nb6.tgz tradcpp-0.5.3.tgz
fetch-1.9nb2.tgz lz4-1.9.4.tgz xmlcatmgr-2.2nb1.tgz
gettext-lib-0.22.3.tgz m4-1.4.19nb1.tgz xorg-cf-files-1.0.8.tgz
gettext-tools-0.22.3.tgz mandoc-1.14.6nb1.tgz xorgproto-2023.2.tgz
gmake-4.4.1.tgz ncurses-6.4.tgz xz-5.4.5.tgz
grep-3.11.tgz ncursesw-6.4.tgz zlib-1.2.13.tgz
libfetch-2.39nb2.tgz nghttp2-1.58.0nb1.tgz
```

失敗する主なパッケージ

| パッケージ     | 失敗するパッケージ                       |
|-----------|---------------------------------|
| sayaka    | gcc7                            |
| nanotodon | openssl                         |
|           | undefined reference to `memcpy' |

「それなら、なぜ、先祖代々の墓を守って山間に生活したがる農民を、ダム工事のためにおいだすんだね？ それぞれの人間にそれぞれの幸福がある。それなら、なぜ、彼らを一般化の中に投げ込むんだ。君はなぜ、そういう役割をひきうけるんだ？」 [6]

## 12.9. 脚注

Luna関連コメントは筒井さんに紹介してもらったものです。

- [1] カフカ式練習帳 [http://www.bunshun.co.jp/cgi-bin/book\\_db/book\\_detail.cgi?isbn=9784163813301](http://www.bunshun.co.jp/cgi-bin/book_db/book_detail.cgi?isbn=9784163813301)
- [2] The Angel Levine: <http://www.blackmovie-jp.com/movie/angellevine.php?act=a#Uei7I9f75z0>
- [3] Look Back in Anger: [http://en.wikipedia.org/wiki/Look\\_Back\\_in\\_Anger\\_%28song%29](http://en.wikipedia.org/wiki/Look_Back_in_Anger_%28song%29)
- [4] バーナード・マラマッドに関する研究 <http://www.ishikawa-nct.ac.jp/lab/G/koguma/www/ehp/suzukihp.pdf>
- [5] Be My Wife: [http://en.wikipedia.org/wiki/Be\\_My\\_Wife](http://en.wikipedia.org/wiki/Be_My_Wife)
- [6] 高橋和巳『散華』論 - 生活人としての大家 - , 東口昌央, 1988, <http://ir.lib.osaka-kyoiku.ac.jp/dspace/handle/123456789/15270>
- [7] <https://twitter.com/ebijun/status/231983148118970368>
- [8](1,2) NetBSD/luna68kブートローダー実装作業日記, 2013/1/4 <http://togetter.com/li/433650>
- [9] NetBSDブース @ 関西オープンソース 2011, 2011/11/13 <http://togetter.com/li/213724>
- [10](1,2,3) OpenBSD/luna88k on LUNA-88K2 <http://www.nk-home.net/~aoyama/osc2013nagoya/OpenBSD-luna88k.pdf>

- [11] トラッカー一台分? <http://www.jp.netbsd.org/ja/JP/ml/junk-ja/201301/msg00005.html>
- [12] というわけで <https://twitter.com/tsutsui/status/357219819289985024/photo/1>
- [13](1,2) 展示マシン紹介(3) <http://www.ceres.dti.ne.jp/tsutsui/osc2011kyoto/>
- [14](1,2) Yahoo!知恵袋 [http://detail.chiebukuro.yahoo.co.jp/qa/question\\_detail/q1132299146](http://detail.chiebukuro.yahoo.co.jp/qa/question_detail/q1132299146) まだ動いていたのか! 人々に勇気を与えた質問。
- [15] GOOD DESIGN AWARD <http://www.g-mark.org/award/describe/15097> … 価格にマルが一つ足りない
- [16](1,2) 「マルチRISCワークステーションLUNA - 88K2 - 33MHz MC88100 CPUを最大4個搭載したマルチRISCワークステーションについて」 [http://jglobal.jst.go.jp/detail.php?JGLOBAL\\_ID=200902066730130379](http://jglobal.jst.go.jp/detail.php?JGLOBAL_ID=200902066730130379) … これも1992年12月でさっきのと同じだから同時進行だったのかな
- [17] MC88110とは <http://en.wikipedia.org/wiki/MC88110> "... the MC88110 was ultimately unsuccessful and was used in few systems." 諸行無常
- [18] 「MC88110を搭載したワークステーションのハードウェア - 64bits,Superscalerを採用したMC88110 CPUを搭載したワークステーションのハードウェアについて」 [http://jglobal.jst.go.jp/detail.php?JGLOBAL\\_ID=200902068908677809](http://jglobal.jst.go.jp/detail.php?JGLOBAL_ID=200902068908677809) … 幻のLUNA88K3計画なのだろうか
- [19] 「LUNA(デスクトップWS)のハードウェア 従来機に比べて小形化,低価格化を実現したハードウェアについて」 [http://jglobal.jst.go.jp/detail.php?JGLOBAL\\_ID=200902088071486407](http://jglobal.jst.go.jp/detail.php?JGLOBAL_ID=200902088071486407)
- [20] 「マルチプロセッサワークステーションのハードウェア - RISCマルチプロセッサのワークステーションへのインプリメンテーション技術について」 [http://jglobal.jst.go.jp/detail.php?JGLOBAL\\_ID=200902066853173587](http://jglobal.jst.go.jp/detail.php?JGLOBAL_ID=200902066853173587) 実はLUNA88Kの設計のほうがLUNA-IIより先なんですよ
- [21](1,2) 「68040を搭載したワークステーションLUNA - IIのハードウェア」 [http://jglobal.jst.go.jp/detail.php?JGLOBAL\\_ID=200902048488142806](http://jglobal.jst.go.jp/detail.php?JGLOBAL_ID=200902048488142806) … , Omron Tech 31巻 2号 91-97頁, 1991年06月
- [22] 古文書に見る現実逃避パワー <http://www.re.soum.co.jp/~fukaumi/ml/netbsd/200002/msg00122.html> …
- [23] 古文書に見る謎の痕跡 <http://www.re.soum.co.jp/~fukaumi/ml/netbsd/199806/msg00068.html>
- [24] なぜ山に登るのか <http://www.ceres.dti.ne.jp/tsutsui/kof2011/Why-enigmatic-machines.html>
- [25] OMRONワークステーション LUNA-II 電源ユニット修理記 <http://togetter.com/li/215988>
- [26] OMRONワークステーション LUNA-II 電源ユニット修理記 その2 <http://togetter.com/li/354562>
- [27](1,2) インストール方法 <http://www.jp.netbsd.org/ports/luna68k/install.html>
- [28](1,2) NetBSD/luna68k の起動ディスクの作り方メモ <https://gist.github.com/tsutsui/5196134> とかですが netboot の説明を isibootd(8) に合わせて更新するのをさぼっている (ブーメラン)
- [29] LUNA88K, オムロンにて発掘される! <http://www.jp.netbsd.org/ja/JP/ml/port-mac68k-ja/201107/msg00011.html>
- [30] Luna88k 起動動画 [https://twitter.com/ao\\_kenji/status/353469599871799296](https://twitter.com/ao_kenji/status/353469599871799296) [https://twitter.com/ao\\_kenji/status/353476705521905664](https://twitter.com/ao_kenji/status/353476705521905664)
- [31](1,2) "NetBSD/m68k will never die!" <http://www.ceres.dti.ne.jp/tsutsui/osc2011kyoto/NetBSD-m68k-will-never-die.html>
- [32] OSC2012京都NetBSDブース展示の記録 <http://togetter.com/li/350035>
- [33] OSC2013徳島 NetBSDブース展示の記録 <http://togetter.com/li/468577>
- [34] OMRONワークステーションLUNA 工作日記 <http://togetter.com/li/535307>
- [35] コミットメッセージ <http://mail-index.netbsd.org/source-changes/2011/07/16/msg024675.html>
- [36] Σプロジェクト <http://ja.wikipedia.org/wiki/Σプロジェクト>
- [37](1,2) [http://ja.wikipedia.org/wiki/Luna\\_\(ワークステーション\)](http://ja.wikipedia.org/wiki/Luna_(ワークステーション))
- [38] NetBSD/luna68k on OMRON LUNA - Bootstrap [http://www.youtube.com/watch?v=c1\\_e-A9Osr0](http://www.youtube.com/watch?v=c1_e-A9Osr0)

- [39] Twitter timeline on NetBSD/luna68k and mlterm-fb (final) [http://www.youtube.com/watch?v=djbEw0G\\_LMI](http://www.youtube.com/watch?v=djbEw0G_LMI) 2013/5/24
- [40] mlterm-fb demonstration on NetBSD/luna68k (revised) <http://www.youtube.com/watch?v=BP8AlceWgxA> 2013/5/18
- [41] Twitter timeline on NetBSD/luna68k and mlterm-fb (take 4) [http://www.youtube.com/watch?v=yKKT\\_Z1P9Xo](http://www.youtube.com/watch?v=yKKT_Z1P9Xo) 2013/05/04
- [42] Twitter timeline on NetBSD/luna68k and mlterm-fb (take 3) <http://www.youtube.com/watch?v=Cl1CaO5scHY> 2013/05/01
- [43] Twitter timeline on NetBSD/luna68k and mlterm-fb (take 2) <http://www.youtube.com/watch?v=8sC5XpK-Hxs> 2013/04/29
- [44] Twitter timeline on NetBSD/luna68k and mlterm-fb <http://www.youtube.com/watch?v=nzD0A279mcg> 2013/04/27
- [45] NetBSD/luna68k on OMRON LUNA - Start X.Org <http://www.youtube.com/watch?v=NRh60c420Mc> 2011/07/30
- [46] mlterm-fb demonstration on NetBSD/luna68k wsfb console <http://www.youtube.com/watch?v=jHU876RexCo> 2013/04/25
- [47] Σワークステーション(SX - 9100)の概要 <http://jglobal.jst.go.jp/public/20090422/200902068890346915> 1987/9/30 Omron Tech p.207-213
- [48] OpenBSD/luna88k on OMRON LUNA-88K2 - bootstrap screen <http://www.youtube.com/watch?v=btwiiZw3B2s> 2013/07/06
- [49] OpenBSD/luna88k on OMRON LUNA-88K2 - starting X.org [http://www.youtube.com/watch?v=\\_EUspUD0Qw](http://www.youtube.com/watch?v=_EUspUD0Qw) 2013/07/06
- [50] オムロンのイントラネットの歴史 <http://www.masuda.org/intra/rekisi.html>
- [51] 【IT】日本のITの歴史—SONY 『NEWS』の戦略(3) (1989-03-20 <http://www.miraikeikaku-shimbun.com/article/13282000.html>
- [52] さっぽろコンピュータ博物館 <http://www.sec.or.jp/electec/museum/>
- [53] 歴史的コンピュータとソフトウェアプロジェクトに関する昔話(社外公開版) <http://katsu.watanabe.name/doc/comphist/>
- [54] SEA Mail Vol.1 No.1 [http://www.sea.jp/office/seamail/1986/1986\\_1\\_honan.pdf](http://www.sea.jp/office/seamail/1986/1986_1_honan.pdf)
- [55] NetBSDこの20年 <http://www.slideshare.net/tsutsui/osc2013tokushima-net-bsd20th>
- [56] 名古屋\*BSDユーザグループ(NBUG)2013/2月例会の記録 <http://togetter.com/li/456972>
- [57] OSC2013名古屋 NBUG&NetBSDブース展示の記録 <http://togetter.com/li/522396>
- [58] NetBSD/luna68k 近況 <http://www.ceres.dti.ne.jp/tsutsui/osc2012kyoto/NetBSD-luna68k-updates.html>
- [59] LUNAシールとフロッピー <http://movapic.com/pic/2013062214270151c535a5bd627>
- [60] LUNAペンセットと本 <https://twitter.com/tsutsui/status/135565130372104192>
- [61] UNIXワークステーションがわかる本(LUNAの本シリーズ) <http://www.amazon.co.jp/dp/4526029963>
- [62] いけない!ルナ先生 全5巻 [http://www.comicpark.net/readcomic/index.asp?content\\_id=COMC\\_AKC01155\\_SET](http://www.comicpark.net/readcomic/index.asp?content_id=COMC_AKC01155_SET)
- [63] PS2Linux Kit(Sync on Green)対応モニター一覧 <http://www.ps2linux.dev.jp/monitor.html>
- [64] か や ま さ ん [https://www.facebook.com/jun.ebihara.18/posts/692735874076690?comment\\_id=30643585&offset=0&total\\_comments=1](https://www.facebook.com/jun.ebihara.18/posts/692735874076690?comment_id=30643585&offset=0&total_comments=1)
- [65] LUNAのカタログ Holonic Workstation LUNA[マニュアル・データシート類] <http://www.h2.dion.ne.jp/~dogs/collect/ds/luna.html>
- [66] ワークステーション操作入門 [http://www.kumamotokokufu-h.ed.jp/kokufu/comp/ws\\_tx1.html](http://www.kumamotokokufu-h.ed.jp/kokufu/comp/ws_tx1.html)

- [67] "It's never too late. When it's over, you get to tell the story" -- Garrison Keillor <http://www.cs.cmu.edu/afs/cs/project/mach/public/www/mach.html>
- [68] ピ ッ ツ バ ー グ 便 利 帳 サ ー バ ー の 歴 史 <http://komachi.sp.cs.cmu.edu/benricho/Komachi#.E3.82.B5.E3.83.BC.E3.83.90.E3.83.BC.E3.81.AE.E6.AD.B4.E5.8F.B2> 「1993年、オムロンのワークステーション業務撤退に伴い藤田さんと作業マシン達に突然の引き上げ命令が下りました。」
- [69] OpenBSD/luna88k 「network bootでIPアドレス取得」(2002/06/05)の頃のページ <http://t.co/VRxXgWWpTO>
- [70] 同じく「Miod Vallatさんに見つかる」(2004/03/21)の頃のページ <http://t.co/3QmzWm7reR>
- [71] OMRON Luna88Kについてのまとめ <http://t.co/rt5kUB74VG> 作者も忘れていた説
- [72] <http://www.cs.cmu.edu/afs/cs/project/mach/public/src/mkernel/src/kernel/luna88k/>
- [73](1,2) LUNA-II スペック表というサーベイ漏れ <https://t.co/KV9f6XS8bU>
- [74] ユニマガのluna88k発売の記事。 <https://twitter.com/a1kawa/status/360427576717611008>
- [75] LUNA-88K2 の 製 品 仕 様 プ ロ セ ッ サ 以 外 は 同 じ と い う 見 方 も あ る <https://twitter.com/tsutsui/status/361463750982778880/photo/1>
- [76] もうひとつあった。2011年OSC京都わざわざ2日目に持ってきていただいた超重要LUNAグッズ ペンケースとバンドナ <http://movapic.com/ebijun/pic/3812352> たしか、来場者の方の奥様の所有で、「持って行くのはいいけれど絶対に持って返ってくるように」と申し渡された、というお話だったような
- [77] 名は体を表す <http://ameblo.jp/hirokun39/entry-11345138649.html>
- [78] LUNA2010 Good Design Award <http://www.g-mark.org/award/describe/20641>
- [79] Omron spins four 88110s at Data General Aviiion line <http://connection.ebscohost.com/c/articles/9402180800/omron-spins-four-88110s-data-general-aviion-line>
- [80] システム診断プログラムの開発 LUNA2010用システム診断プログラムの開発について <http://jglobal.jst.go.jp/public/20090422/200902172571690192>
- [81] mikutterの薄い本製作委員会 <http://home1.tigers-net.com/brsywe/mikutter.html>
- [82] [https://twitter.com/ao\\_kenji/status/360775880198459394/photo/1](https://twitter.com/ao_kenji/status/360775880198459394/photo/1)
- [83] Wikipediaの「LUNA-Σ」という呼称は果てしなく要出典という感想。 <https://twitter.com/tsutsui/status/360430992638492672>
- [84](1,2) "RTC" の stamp のオフセットをそれぞれ x4してやればいいような気がします <https://twitter.com/tsutsui/status/360418015600312320>
- [85] まずはDIP SW操作してみて変わるかどうか <https://twitter.com/tsutsui/status/360416804876722177>
- [86] マンガソフトウェア革命—Σプロジェクトの全貌 <http://www.amazon.co.jp/dp/4339022543>
- [87] 仁和寺 <http://randen.keifuku.co.jp/map/17.html>
- [88] <https://gist.github.com/tsutsui/6203477> OMRON LUNA-II および LUNA-88K の電源ユニットに使用されている要交換な四級塩電解コンデンサのリスト。
- [89] <http://marc.info/?l=openbsd-cvs&m=137617369920936>
- [90] miod@openbsd.org さんの OpenBSD/luna88k resource page <http://gentiane.org/~miod/software/openbsd/luna88k/>
- [91] <https://twitter.com/tsutsui/status/365121355001237505>
- [92] <http://nrx.netbsd.org/xref/src/doc/BRANCHES?r=1.330#623>
- [93] <https://twitter.com/tsutsui/status/365121528309891072>
- [94] <http://nrx.netbsd.org/xref/src/doc/BRANCHES?r=1.330#1611>
- [95] <https://twitter.com/tsutsui/status/365121928526184448>

- [96] <https://twitter.com/tsutsui/status/365122443951616001>
- [97] <https://twitter.com/tsutsui/status/365122859305140225>
- [98] <https://twitter.com/tsutsui/status/365123833402896384>
- [99] [https://twitter.com/ao\\_kenji/status/366154076565680128/photo/1](https://twitter.com/ao_kenji/status/366154076565680128/photo/1)
- [100] 20年前のコンピュータで最新のOSを動かす意味とは？ <http://notredameningen.kyo2.jp/e422862.html>
- [101] 88Kと88K2のグラフィックボードを交換して調査。 [https://twitter.com/ao\\_kenji/status/366066990093303809](https://twitter.com/ao_kenji/status/366066990093303809)
- [102](1,2) 専用のゲートアレイでしょうか。 [https://twitter.com/ao\\_kenji/status/366056571609939968](https://twitter.com/ao_kenji/status/366056571609939968)
- [103] PWB7102 [https://twitter.com/ao\\_kenji/status/366009479285854208](https://twitter.com/ao_kenji/status/366009479285854208)
- [104] UniOS-Mach を参考に 1bpp/4bpp/8bpp を自前で識別するようにした。 [https://twitter.com/ao\\_kenji/status/368294458996948992](https://twitter.com/ao_kenji/status/368294458996948992)
- [105] Luna88k マニュアル [https://twitter.com/ao\\_kenji/status/395857381818519552](https://twitter.com/ao_kenji/status/395857381818519552)
- [106] Luna88k FaceBook ページ <https://www.facebook.com/Luna88k>
- [107] OpenBSD/luna88k standalone bootloader by @MiodVallat works fine on my LUNA-88K2! [https://twitter.com/ao\\_kenji/status/395551245563219969](https://twitter.com/ao_kenji/status/395551245563219969)
- [108] LUNA-88KのPC-98拡張バス(Cバス)についてのメモ <https://gist.github.com/ao-kenji/7843096>
- [109] OpenBSD/luna88k 近況報告 NBUG 2013/9 [http://www.slideshare.net/ao\\_kenji/openbsdluna88k-news-at-nbug-meeting-2013](http://www.slideshare.net/ao_kenji/openbsdluna88k-news-at-nbug-meeting-2013)
- [110] OpenBSD/luna88k近況報告 NBUG 2013/12 [http://www.slideshare.net/ao\\_kenji/nbug201312](http://www.slideshare.net/ao_kenji/nbug201312)
- [111] test tweet from OpenBSD/luna88k [https://twitter.com/ao\\_kenji/status/482151248502591488](https://twitter.com/ao_kenji/status/482151248502591488)
- [112] OMRONワークステーションLUNA 工作日記 <http://togetter.com/li/535307>
- [113] OMRONワークステーション LUNA-II 電源ユニット修理記 その3 <http://togetter.com/li/548989>
- [114] 「いけない！ルナ先生」実写化！6人のアイドルが先生に <http://natalie.mu/comic/news/105048>
- [115] <http://www.cinemart.co.jp/ikenai-run/>
- [116] native bootloader update for NetBSD/luna68k <http://mail-index.netbsd.org/port-luna68k/2014/01/11/msg000038.html>
- [117](1,2) 関西オープンソース2013NetBSDブース展示の記録 <http://togetter.com/li/587422>
- [118] オープンソースカンファレンス2013島根 NetBSDブース展示の記録 <http://togetter.com/li/553529>
- [119] OSC2013名古屋 NBUG&NetBSDブース展示の記録 <http://togetter.com/li/522396>
- [120] オープンソースカンファレンス2013関西@京都 NetBSDブース展示記録 <http://togetter.com/li/542885>
- [121] 泣いて喜びそうなもの発掘 [https://twitter.com/goinkyo\\_hacker/status/482528142930620416](https://twitter.com/goinkyo_hacker/status/482528142930620416)
- [122] OpenBSD/luna88kのご紹介 [http://www.slideshare.net/ao\\_kenji/osc2014-nagoya](http://www.slideshare.net/ao_kenji/osc2014-nagoya)
- [123] OpenBSD/luna88kのご紹介 パンフレット <http://www.nk-home.net/~aoyama/osc2014nagoya/obsd-luna88k-leaflet.pdf>
- [124] オープンソースカンファレンス2014 Nagoya&NBUG7月例会の記録 <http://togetter.com/li/688742>
- [125] OpenBSD/luna88k 2014/4近況報告 [http://www.slideshare.net/ao\\_kenji/nbug201404](http://www.slideshare.net/ao_kenji/nbug201404)
- [126] Setup Bt458 color palette to support ANSI color text on 8bpp framebuffer. <http://mail-index.netbsd.org/source-changes/2014/07/13/msg056309.html>
- [127] 88K2電源交換 [https://twitter.com/ao\\_kenji/status/485393846314872832](https://twitter.com/ao_kenji/status/485393846314872832)



- [128] どうしてこのマウスにはボタンが3つもあるのか [https://twitter.com/ao\\_kenji/status/485275421768814592](https://twitter.com/ao_kenji/status/485275421768814592)
- [129] native bootloader update for NetBSD/luna68k <http://mail-index.netbsd.org/port-luna68k/2014/01/11/msg000038.html>
- [130] 泣いて喜びそうなバンダナ [https://twitter.com/goinkyo\\_hacker/status/482528142930620416/photo/1](https://twitter.com/goinkyo_hacker/status/482528142930620416/photo/1)
- [131] LUNA's keyboard driver changes from OpenBSD/luna88k <http://mail-index.netbsd.org/source-changes/2014/07/20/msg056548.html>
- [132] luna68k 4/8bpp framebuffer as a monochrome server <http://mail-index.netbsd.org/source-changes/2014/07/21/msg056590.html>
- [133] LUNAホッチキス [https://twitter.com/goinkyo\\_hacker/status/497392417478156288/photo/1](https://twitter.com/goinkyo_hacker/status/497392417478156288/photo/1)
- [134] (1,2) OSC2014京都NetBSDブース展示への道 <http://togetter.com/li/703494>
- [135] OSC2014 Kansai@Kyoto NetBSDブース展示の記録 <http://togetter.com/li/700617>
- [136] yaft×Laan [http://www.slideshare.net/ao\\_kenji/nbug201411-yaft-42177561](http://www.slideshare.net/ao_kenji/nbug201411-yaft-42177561)
- [137] KOFにおけるLUNA展示 <https://speakerdeck.com/tsutsui/kof-and-luna-at-netbsd-booth>
- [138] (1,2) PC-9801-86 sound board on LUNA [http://www.slideshare.net/ao\\_kenji/nbug201412](http://www.slideshare.net/ao_kenji/nbug201412)
- [139] OpenBSD/luna88k用の86音源ボードドライバを整理してcommit。 [https://twitter.com/ao\\_kenji/status/549203137001553921](https://twitter.com/ao_kenji/status/549203137001553921)
- [140] yaft×LUNA [http://www.slideshare.net/ao\\_kenji/nbug201411-yaft-42177561](http://www.slideshare.net/ao_kenji/nbug201411-yaft-42177561)
- [141] LUNA-88K2はPCカードの夢を見るか [http://www.slideshare.net/ao\\_kenji/nbug201502](http://www.slideshare.net/ao_kenji/nbug201502)
- [142] LUNA framebuffer mod for LCDs without Sync on Green support <http://mail-index.netbsd.org/port-luna68k/2014/08/13/msg000043.html>
- [143] 関西オープンソース2014 NetBSDブース展示の記録 <http://togetter.com/li/742243>
- [144] Lunaトレーナー <http://movapic.com/ebijun/pic/5232493>
- [145] LUNA-88K2はPCカードの夢を見るか<補遺> [http://www.slideshare.net/ao\\_kenji/nbug201503](http://www.slideshare.net/ao_kenji/nbug201503)
- [146] (1,2) C-bus拡張ボード on LUNA-88K2 [http://www.slideshare.net/ao\\_kenji/osc2015-nagoya/](http://www.slideshare.net/ao_kenji/osc2015-nagoya/)
- [147] 伝説のHコメディ「Oh! 透明人間」×「いけない! ルナ先生」コラボ読切で復活 <http://natalie.mu/comic/news/152961>
- [148] INSTALLATION NOTES for OpenBSD 5.7 <http://ftp.openbsd.org/pub/OpenBSD/5.7/luna88k/INSTALL.luna88k>
- [149] LUNAは、SX-9100以降の愛称なんです、その前のSX-8700の時代は、スーパーメイトという愛称でした。 <https://www.facebook.com/events/1062729970410808/permalink/1153405211343283/>
- [150] このマシンがスーパーメイトという商品名で <http://www.tomo.gr.jp/root/new/root82.html>
- [151] LUNA88Kに付属しているxzoomというデモの画像です。 <http://moon.hanya-n.org/comp/luna/luna88k.html>
- [152] OpenBSD/luna88k移植物語 [http://www.slideshare.net/ao\\_kenji/a-story-of-porting-openbsd-luna88k](http://www.slideshare.net/ao_kenji/a-story-of-porting-openbsd-luna88k)
- [153] FM音源の調べ on LUNA [http://www.slideshare.net/ao\\_kenji/nbug201510](http://www.slideshare.net/ao_kenji/nbug201510)
- [154] PSG音源の調べ <https://speakerdeck.com/tsutsui/osc2016-kyoto-psg-tunes-on-netbsd-luna68k>
- [155] LUNAのPSGというか647180実装 <https://twitter.com/tsutsui/status/759793635898515456>
- [156] 「できません」と云うなーオムロン創業者 立石一真 <https://www.amazon.co.jp/dp/4478006334/>
- [157] <http://www.ustream.tv/recorded/90107872>
- [158] <https://speakerdeck.com/tsutsui/osc2016-hiroshima-psg-tunes-on-netbsd-luna68k-again>
- [159] <https://speakerdeck.com/tsutsui/osc2016-kyoto-psg-tunes-on-netbsd-luna68k>

- [160] <https://speakerdeck.com/tsutsui/osc2014-kansai-at-kyoto-netbsd-luna68k-report>
- [161] [http://www.ceres.dti.ne.jp/tsutsui/kof2013/NetBSD\\_bootloader.html](http://www.ceres.dti.ne.jp/tsutsui/kof2013/NetBSD_bootloader.html)
- [162] [http://www.ceres.dti.ne.jp/tsutsui/osc2013kyoto/NetBSD-luna68k\\_mlterm-fb\\_Twitter.html](http://www.ceres.dti.ne.jp/tsutsui/osc2013kyoto/NetBSD-luna68k_mlterm-fb_Twitter.html)
- [163] <https://twitter.com/tsutsui/status/991191717050118144>
- [164] <https://speakerdeck.com/tsutsui/osc2016-kyoto-psg-tunes-on-netbsd-luna68k>
- [165] [https://www.slideshare.net/ao\\_kenji/osc2019-nagoya](https://www.slideshare.net/ao_kenji/osc2019-nagoya)
- [166] <http://www.pastel-flower.jp/~isaki/nono/>
- [167](1,2) <https://twitter.com/isaki68k/status/1261646479816404992>
- [168] <https://twitter.com/tsutsui/status/1262429647364427783>
- [169] <https://twitter.com/tsutsui/status/1262430960718508033>
- [170] <https://twitter.com/isaki68k/status/1262375954883772418>
- [171] <https://twitter.com/isaki68k/status/1262949576362930180>
- [172] <https://ja.wikipedia.org/wiki/%E7%AB%8B%E7%9F%B3%E7%BE%A9%E9%9B%84>
- [173] <https://twitter.com/isaki68k/status/1317441952107827201>
- [174] [http://wiki.netbsd.org/ports/luna68k/luna68k\\_info/#behindthescene](http://wiki.netbsd.org/ports/luna68k/luna68k_info/#behindthescene)
- [175] <https://twitter.com/isaki68k/status/1322807313741148160>
- [176] [https://twitter.com/ao\\_kenji/status/1324952816884985857](https://twitter.com/ao_kenji/status/1324952816884985857)
- [177] [https://twitter.com/ao\\_kenji/status/1324990436390268928](https://twitter.com/ao_kenji/status/1324990436390268928)
- [178] [https://twitter.com/ao\\_kenji/status/1330473862686003202](https://twitter.com/ao_kenji/status/1330473862686003202)
- [179] [https://twitter.com/ao\\_kenji/status/1330504720516063235](https://twitter.com/ao_kenji/status/1330504720516063235)
- [180] <https://twitter.com/isaki68k/status/1330124516333412361>
- [180] [https://twitter.com/ao\\_kenji/status/1330019763775365120](https://twitter.com/ao_kenji/status/1330019763775365120)
- [181](1,2) <https://twitter.com/isaki68k/status/1406522668321366022>
- [182] Here come LUNA-88K emulators! [https://www.slideshare.net/ao\\_kenji/osc2021-nagoya-248742459](https://www.slideshare.net/ao_kenji/osc2021-nagoya-248742459)
- [183] <http://mail-index.netbsd.org/source-changes/2022/06/10/msg139155.html>
- [184] <https://twitter.com/tsutsui/status/1551955355101691904>
- [185] <https://twitter.com/isaki68k/status/1551020192037097473>
- [186] <http://mail-index.netbsd.org/source-changes/2022/09/25/msg141239.html>
- [187] <https://twitter.com/isaki68k/status/1585612735932674049>
- [188] <https://twitter.com/isaki68k/status/1618215457722617856>
- [189] <https://twitter.com/isaki68k/status/1624651445684563968>
- [190] [https://twitter.com/ao\\_kenji/status/1625846099394330625](https://twitter.com/ao_kenji/status/1625846099394330625)
- [191] <http://www.pastel-flower.jp/~isaki/NetBSD/osc23hi/>
- [192] [https://event.ospn.jp/slides/OSC2024\\_Nagoya/OSC2024Nagoya\\_BSD.pdf](https://event.ospn.jp/slides/OSC2024_Nagoya/OSC2024Nagoya_BSD.pdf)

### 12.9.1. このページ

---

- <https://github.com/ebijun/NetBSD/blob/master/Guide/Luna.rst> にあります。
- /usr/pkgsrc/textproc/py-sphinx をインストールして、make htmlとか。

## 13. NetBSD AGM2024: Annual General Meeting, May 18, 14:00 UTC

<http://mail-index.netbsd.org/netbsd-announce/2024/03/28/msg000367.html>

---

|                     |                               |
|---------------------|-------------------------------|
| America/Los_Angeles | Sat May 18 07:00:00 PDT 2024  |
| America/Denver      | Sat May 18 08:00:00 MDT 2024  |
| America/Winnipeg    | Sat May 18 09:00:00 CDT 2024  |
| America/New_York    | Sat May 18 10:00:00 EDT 2024  |
| Europe/London       | Sat May 18 15:00:00 BST 2024  |
| Europe/Berlin       | Sat May 18 16:00:00 CEST 2024 |
| Europe/Sofia        | Sat May 18 17:00:00 EEST 2024 |
| Europe/Moscow       | Sat May 18 17:00:00 MSK 2024  |
| Asia/Calcutta       | Sat May 18 19:30:00 IST 2024  |
| Asia/Bangkok        | Sat May 18 21:00:00 +07 2024  |
| Asia/Manila         | Sat May 18 22:00:00 PST 2024  |
| Asia/Tokyo          | Sat May 18 23:00:00 JST 2024  |
| Australia/Adelaide  | Sat May 18 23:30:00 ACST 2024 |
| Australia/Melbourne | Sun May 19 00:00:00 AEST 2024 |
| Pacific/Auckland    | Sun May 19 02:00:00 NZST 2024 |

---

### 13.1. Introduction

---

```
* Cryo turns down the lights
<leot> Welcome to The NetBSD Foundation Annual General Meeting 2024!
<leot> .
<leot> I will be the voice bot^W^Wmoderator for this year.
<leot> .
<leot> In the agenda we will have reports from:
<leot> - board (billc)
<leot> - secteam (billc)
<leot> - releng (leot)
<leot> - finance-exec (riastradh)
<leot> - admins (spz)
<leot> - membership-exec (wiz)
<leot> - pkgsrc-pmc (wiz)
<leot> - pkgsrc-security (leot)
<leot> - gnats (dh)
<leot> .
<leot> If there are any last-minute additions please /msg me!
<leot> .
<leot> Q&A will be at the end.
<leot> .
<leot> When Q&A begins please /msg me "I have question for <team>"
<leot> or "I have question for <nick>" and I will give you voice
<leot> when it is your turn.
<leot> .
```

---

### 13.2. Board of Directors

---

```
<leot> We can start with the board presentation!
<leot> Cryo, please go ahead
<Cryo> -
<Cryo> - submitted by billc for board:
<Cryo> -
<Cryo> Hello, and welcome to the 22nd Annual General Meeting of The
<Cryo> NetBSD Foundation.
<Cryo> -
```

```
<Cryo> First off, I'd like to thank <leot> for volunteering to
<Cryo> handle moderating and admins for doing the behind the scenes
<Cryo> magic to make this event (and all our communication) possible.
<Cryo> -
<Cryo> We finally release NetBSD-10 after years of development with innovative new features, improvements,
<Cryo> bug fixes. Your commits are very much appreciated, as is your
<Cryo> continued support of the foundation.
<Cryo> -
<Cryo> Now on to the report from the Board of Directors:
<Cryo> -
<Cryo> The NetBSD Foundation Board of Directors presents a consolidated
<Cryo> list of the relevant and major actions that occurred since last
<Cryo> AGM. Quite a few discussions, actions, and follow-ups crossed
<Cryo> multiple meetings. Very few meetings resulted in not reaching
<Cryo> quorum. Check our weekly meeting minutes in:
<Cryo> localsrc/tnf/board/minutes for the latest on our progress.
<Cryo> During this period, new director(s) were elected by the members
<Cryo> and officers were renewed or installed.
<Cryo> ?
<Cryo> We continued with our Bronze level sponsorship support of
<Cryo> BSDcan, AsiaBSDcon, and EuroBSDcon to improve our representation
<Cryo> at conferences and developer summits.
<Cryo> -
<Cryo> We participated in the Google Summer of Code for 2023 and
<Cryo> attended the virtual Google Summer of Code Mentor Summit. We
<Cryo> are currently participating in GSoC this year with 5 students!
<Cryo> -
<Cryo> o - Test root device and root file system selection
<Cryo> o - ALTQ refactoring and NPF integration
<Cryo> o - puffs(3) bindings for Lua + SquashFS in Lua
<Cryo> o - Emulating Missing Linux Syscalls: Tackling ?The L2N Problem?
<Cryo> o - Making Network Drivers MPSAFE in NetBSD
<Cryo> -
<Cryo> Like last year, we have provided core with a pre-approved,
<Cryo> reasonable budget, to spend as they see most fit without an
<Cryo> additional confirmation step from us.
<Cryo> -
<Cryo> We continued to improve our interaction and relationships with
<Cryo> vendors, as well as participating in industry PSIRT/CSIRT
<Cryo> with commercial vendors and other open-source projects.
<Cryo> -
<Cryo> The funded contracts continued for:
<Cryo> o - improvements in release engineering
<Cryo> -
<Cryo> We are 75% through a fundraising campaign. Please consider
<Cryo> donating, as we are a US IRS 501(c)3 charitable organization.
<Cryo> -
<Cryo> [let us pause for a moment of silence]
<Cryo> In memoriam: We were notified that Wayne Knowles (wdk@) had
<Cryo> passed beyond the rim at the end of 2022. We are eternally
<Cryo> grateful for his contributions to the NetBSD/mipsco port, and are
<Cryo> dedicating NetBSD-9.4 to his memory. We are honored to have had
<Cryo> his support and friendship.
<Cryo> -
<Cryo> It has been an honor and pleasure to continue working with
<Cryo> abs, leot, khorben, mlelstv, riastradh, and wiz to accomplish all
<Cryo> that we have in this year.
<Cryo> -
<Cryo> .eof
```

---

## 13.3. Socialmedia

---

```
<Cryo> I will go ahead and do the social media update:
<Cryo> - submitted for socialmedia by billc:
<Cryo> -
<Cryo> A non-scientific representation of Social Media Presence:
```

```
<Cryo> -
<Cryo> X, formerly Twitter: (very active)
<Cryo> @netbsd still has 10,000 followers
<Cryo> @pkgsrc has 694 followers down from 704
<Cryo> NOTE: Due to changes in X/Twitter management, people have left.
<Cryo> -
<Cryo> -
<Cryo> We have an account on the distributed social network
<Cryo> ActivityPub ('the fediverse' or better known as Mastodon), where we
<Cryo> have a small but dedicated fan base:
<Cryo> -
<Cryo> @netbsd@mastodon.sdf.org has 1800 followers up from 1077 (very active)
<Cryo> -
<Cryo> -
<Cryo> Facebook: 2,400 3,200 down from 3,200 members (sort of active)
<Cryo> -
<Cryo> On IRC our numbers are stable. To help improve connectivity options,
<Cryo> we have a Matrix bridge to our IRC channel.
<Cryo> -
<Cryo> irc.libera.chat users: (very very active)
<Cryo> #NetBSD: 284 up from 276
<Cryo> #NetBSD-code: 53 down from 59
<Cryo> #pkgsrc: 109 up from 107
<Cryo> -
<Cryo> .eof
<leot> Thanks Cryo!
```

---

## 13.4. Security-team

---

```
<leot> Next it's the secteam presentation... please go ahead Cryo!
<Cryo> and I'm back!
<Cryo> (presenting for agc)
<Cryo> -
<Cryo> - submitted by billc for secteam:
<Cryo> -
<Cryo> This is a brief report for security-team.
<Cryo> -
<Cryo> Since last AGM, there have been 8 NetBSD Security Advisories:
<Cryo> -----
<Cryo> NetBSD-SA2024-001 Inadequate validation of user-supplied hostname
<Cryo> in utmp_update(8)
<Cryo> -
<Cryo> NetBSD-SA2023-007 multiple vulnerabilities in ftpd(8)
<Cryo> NetBSD-SA2023-006 KDC-spoofing in pam_krb5
<Cryo> NetBSD-SA2023-005 su(1) bypass via pam_ksu(8)
<Cryo> NetBSD-SA2023-004 procfs environ exposure
<Cryo> NetBSD-SA2023-003 Structure padding memory disclosures
<Cryo> NetBSD-SA2023-002 Various compatibility syscall memory access issues
<Cryo> NetBSD-SA2023-001 Multiple buffer overflows in USB drivers
<Cryo> -
<Cryo> There have been numerous bug fixes applied to the tree, pulled up to the
<Cryo> NetBSD-10 branch, and in the NetBSD-9 and NetBSD-10 releases.
<Cryo> -
<Cryo> NetBSD continues to be represented in a product security incident
<Cryo> response working group with other operating system vendors, as well
<Cryo> as a direct contact team with other BSD projects. This framework
<Cryo> allows us to better work with vendors requiring an embargoed and/or
<Cryo> coordinated release with other operating systems. We can begin
<Cryo> working on issues that affect NetBSD much faster, instead of only
<Cryo> notified after an embargo is lifted. We are expanding the number
<Cryo> of vendors as time goes on, as well as participating in FIRST.
<Cryo> -
<Cryo> This is teaching us quite a bit of where we needed to improve our
<Cryo> process, which is currently on-going.
<Cryo> -
<Cryo> Submitted respectfully on behalf of the security-officer(s),
```

```
<Cryo> the security-team, and the sirt team.
<Cryo> -
<Cryo> .eof
<leot> Thanks again Cryo!
```

---

## 13.5. Release Engineering

---

```
<leot> We have not the releng@ presentation, prepared by <martin>. He's AFK so I will present it.
<leot> -
<leot> We are:
<leot> abs agc bouyer he jdc martin msaitoh phil reed riz
<leot> sborrill snj
<leot>
<leot> Since the last meeting, we have:
<leot> o - Released NetBSD 10.0, 9.4 and 8.3
<leot> o - announced end-of-support for netbsd-8
<leot> o - Processed hundreds of pullup requests.
<leot> o - Continued preparations to make the build cluster
<leot> independent from cvs
<leot>
<leot> The biggest hurdle was the long and stony way to
<leot> finally get 10.0 out of the door. Now we are heading
<leot> for 10.1. Since nothing urgent popped up so far
<leot> (that is: no disaster have been discovered in the
<leot> 10.0 release) we can give it a few month, maybe
<leot> late september.
<leot>
<leot> The massive ammount of pullups that got into the netbsd-10
<leot> branch was only possible because developers took the time
<leot> to test their changes on the branch and submit a
<leot> pullup request. We have been pretty good with this,
<leot> and pulled up lots of security and usability improvements,
<leot> as well as bug fixes to the various active branches.
<leot> This is good for our users, thank you to everyone who
<leot> cared and made it possible.
<leot>
<leot> We are now looking forward to a netbsd-11 branch (maybe
<leot> late this year) and hope that this time things will go
<leot> a lot faster and more smoothly. This is currently planned
<leot> to include the new wifi work, but we are not going to
<leot> delay the branch if that will not be ready. Watch me poking
<leot> my onw nose - the wifi work has been massively delayed
<leot> due to heavy releng workload, but that should be over now.
<leot>
<leot> Thanks to everyone who tested the branch and filled tickets,
<leot> and keep both the tickets and the pullup requests coming!
<leot> -
<leot> EOF
<leot> Thanks Martin!
```

---

## 13.6. Finance-exec

---

```
<leot> It is now time for finance-exec@ presentation. Riastradh, please go ahead!
<Riastradh> Finance-exec maintains The NetBSD Foundation's financial records and
<Riastradh> assets at the board's direction. We balance the books, hoard the cash
<Riastradh> (and non-cash financial instruments), and send thank-you letters to
<Riastradh> donors so they can get tax deductions (in the US).
<Riastradh> .
<Riastradh> We are:
<Riastradh> - christos (Christos Zoulas)
<Riastradh> - reed (Jeremy C Reed)
<Riastradh> - riastradh (Taylor R Campbell)
<Riastradh> .
<Riastradh> The NetBSD Foundation's public 2023 financial report is at:
```

```
<Riastradh> https://www.NetBSD.org/foundation/reports/financial/2023.html
<Riastradh> We produce this from an internal ledger maintained with ledger(1)
<Riastradh> <https://www.ledger-cli.org/>.
<Riastradh> .
<Riastradh> Highlights:
<Riastradh> - We have net assets of a little over 270k USD.
<Riastradh> - We took in about 61k USD -- well over our usual annual target!
<Riastradh> - We also spent 45k USD, primarily on release engineering, wifi update,
<Riastradh> and new server hardware for package builds.
<Riastradh> - We expect to increase spending this year to replace our aging NetBSD
<Riastradh> autobuild cluster too and finish the wifi update.
<Riastradh> .
<Riastradh> We have been working on better automating the donation thank-you
<Riastradh> process, which is currently only semiautomated -- requires clicking a
<Riastradh> dozen different buttons to process an RT ticket, something Christos
<Riastradh> usually does in a batch once a month, in case you were wondering why it
<Riastradh> takes so long to get a donation acknowledgment (sorry!). We had a GSoC
<Riastradh> student to work on this but the project stalled after GSoC.
<Riastradh> .
<Riastradh> Happy to answer any questions about what finance-exec does, or swap
<Riastradh> notes on using ledger(1)!
<Riastradh> Thanks,
<Riastradh> -Riastradh, on behalf of finance-exec
<leot> Thank you Riastradh!
```

---

## 13.7. Admins

---

```
<leot> It is now time for the admins@ presentation! spz, please go ahead!
<spz> good localtime() all
<spz> ,
<spz> admins is the following people:
<spz> christos, dogcow, kim, mspo, phil, riastradh, riz, seb, soda, spz, tls
<spz> ,
<spz> Statistics:
<spz> - admins runs the following TNF systems:
<spz> @ TastyLime
<spz> + 8 hardware systems and 6 Xen guests
<spz> = 1 earmv7hf, the rest amd64
<spz> @ Columbia University
<spz> + 10 hardware systems
<spz> = all amd64
<spz> @ Washington University
<spz> + 7 hardware systems
<spz> = 1 earmv7hf, 1 aarch64 and the rest amd64
<spz> @ Regensburg (commercial housing)
<spz> + 2 hardware systems, one of them with 2 Xen guests,
<spz> = all amd64
<spz> ,
<spz> - CDN services donated by Fastly
<spz> - Housing donated by TastyLime, WWU, Columbia and spz
<spz> ,
<spz> NetBSD versions in use:
<spz> 1 pre-8.1 (earmv7hf, a console server)
<spz> 1 8.1_STABLE (earmv7hf, a console server)
<spz> 1 9.0_STABLE
<spz> 4 9.1_STABLE
<spz> 10 9.2_STABLE
<spz> 4 9.3_STABLE
<spz> 1 9.4
<spz> 1 9.99.*
<spz> 1 10.0_BETA
<spz> 2 10.0_RC1
<spz> 1 10.0_STABLE
<spz> ,
<spz> Changes:
<spz> We retired 4 hardware systems and gained 2 new ones, which are @WWU:
```

```
<spz> + babylon4 which is running anita tests
<spz> + shadow which is doing package builds for x86_64 and i386. With shadow,
<spz> the "time to packages" after a new pkgsrc branch has been cut from
<spz> 2-3 weeks to 2-3 days.
<spz> ,
<spz> Riastradh spent quite some time on the mail system to make it do DKIM etc
<spz> so we can still send mail to Google mail accounts.
<spz> ,
<spz> Notable plans:
<spz> We will have to leave Columbia and will use the occasion to update the
<spz> build environment so that the new location receives less RU.
<spz> ,
<spz> I will be updating servers the next two weeks since I have some time off,
<spz> be forewarned.
<spz> ,
<spz> Thanks to riz, tls and phil for their resources, time
<spz> and blood sacrifices, too. :}
<spz> ,
<spz> Back to moderator.
<leot> Thank you spz!
```

---

## 13.8. Membership-exec

---

```
<leot> It's now time for membership-exec presentation! wiz00, please go ahead!
<wiz00> (This presentation was prepared by martin@ who can't be here today.)
<wiz00> -
<wiz00> The current members of membership-exec are:
<wiz00> - Christos Zoulas <christos>
<wiz00> - Martin Husemann <martin>
<wiz00> - Lex Wennmacher <wennmach>
<wiz00> - Thomas Klausner <wiz>, and
<wiz00> - Ken Hornstein <kenh> who is on sabbatical.
<wiz00> -
<wiz00> Membership-exec is responsible for all aspects of
<wiz00> "membership", but in practice the main task is to handle
<wiz00> membership applications. The number of active developers
<wiz00> (as of 2024-05-16) is 146. Note that this number is a
<wiz00> bit outdated, as the commit counting required for the
<wiz00> board election has not yet happened for this year.
<wiz00> -
<wiz00> Since the last AGM we gained 5 new developers, which
<wiz00> is way too few. We need to invite more people,
<wiz00> please help active users and encourage them to apply.
<wiz00> -
<wiz00> The difference between developers and active developers
<wiz00> is explained in the bylaws - an active developer has
<wiz00> actually committed something in the last year, or contributed
<wiz00> in an active way, like admins.
<wiz00> -
<wiz00> We'd like to emphasize that we appreciate all your replies
<wiz00> to our membership RFC e-mails, although we do not usually
<wiz00> acknowledge them. Please keep on providing feedback to
<wiz00> the RFC mails.
<wiz00> that's it from membership-exec.
<leot> Thank you wiz00!
```

---

## 13.9. pkgsrc-pmc

---

```
<leot> It's now the time for the pkgsrc-pmc@ presentation... Please go ahead wiz00!
<wiz00> The pkgsrc team kept thousands of packages in pkgsrc up to date and in
<wiz00> good working order, and delivered four -- the 79th through 82nd --
<wiz00> stable branches. Great work!
<wiz00> -
<wiz00> The pkgsrc team has welcomed one new developer, ktnb.
```



```
<wiz00> -
<wiz00> Bigger planned changes for the near future:
<wiz00> - phase-out of Python version 2
<wiz00> - switching the pkgsrc repository to git
<wiz00> - deprecating Python 3.8 support since many upstreams started doing
<wiz00> that
<wiz00> -
<wiz00> Topics that could do with help
<wiz00> - keeping rust working on NetBSD platforms outside of amd64
<wiz00> - maintaining the pkg-vulnerability database in pkgsrc/doc
<wiz00> pkgsrc-security needs more people!
<wiz00> -
<wiz00> Thank you for your help!
<wiz00> -- wiz, for pkgsrc-pmc
<leot> Thanks again wiz00!
```

---

## 13.10. pkgsrc-security

---

```
<leot> It is now time for pkgsrc-security presentation. This presentation was prepared by Thomas Merkel <tr
<leot> -
<leot> The mission of the pkgsrc Security Team is to ensure that the ever-growing
<leot> ecosystem of third party software is either safe to use or at least be sure
<leot> people are aware of the known vulnerabilities.
<leot> -
<leot> Our members monitor publicly available vulnerability feeds, mainly CVE.
<leot> -
<leot> We aggregate received advisories believed to impact pkgsrc into the pkgsrc
<leot> vulnerability list. When time allows we try to notify individual package
<leot> MAINTAINERS and locate, commit patches to fix the vulnerabilities.
<leot> -
<leot> Since 2021 our ticket handling crew is currently only 2 people, unfortunately
<leot> pretty understaffed. We are looking and welcome people volunteering to join
<leot> us!
<leot> -
<leot> Currently handling tickets are:
<leot> - Leonardo Taccari <leot>
<leot> - Thomas Merkel <tm>
<leot> -
<leot> The other current members of the team are:
<leot> - Thomas Klausner <wiz>
<leot> - Tobias Nygren <tnn>
<leot> - Tim Zingelman <tez>
<leot> -
<leot> The year in numbers:
<leot> In 2023, the vulnerability list had 717 lines added to it (661 less than last
<leot> year) for a total of 30401 known vulnerabilities.
<leot> In 2022, the ticket queue received 30401 new advisories (3971 more than last
<leot> year). Of these 30401 new advisories:
<leot> new: 1027 (3.4%) (not able to handle in 2023)
<leot> stalled: 0 (0.0%)
<leot> resolved: 717 (2.3%) (affecting pkgsrc packages)
<leot> rejected: 28653 (94.3%) (no impact or duplicates)
<leot> -
<leot> The current count of vulnerable packages in pkgsrc-current is 707 (33 less
<leot> than last year), in pkgsrc-stable is 729 (21 less than last year).
<leot> See the periodic email to packages@NetBSD.org for the list.
<leot> But we've 2834 vulnerabilities to review!
<leot> We can always use help locating and committing security patches, in particular
<leot> for the many of these that are maintained by pkgsrc-users.
<leot> -
<leot> On November 2023 NVD deprecated the RSS feed that we used for getting
<leot> CVE vulnerabilities entries. <tm> and <wiz> have written a script to switch
<leot> to the NIST National Vulnerability Database API. If you are more
<leot> curious it is available under
<leot> localsrc/security/pkgsrc-security/programs/cve2email.py.
<leot> Thanks <tm> and <wiz>!
```



```
<dholland> 20 martin@netbsd.org
<dholland> 22 rin@netbsd.org
<dholland> 30 wiz@netbsd.org
<dholland> 32 christos@netbsd.org
<dholland> 133 riastradh@netbsd.org
<dholland>
<dholland> This list always has a very long tail; this year there were 63
<dholland> people who fixed or helped fix at least one bug report. This is
<dholland> down slightly from last year, but only by a little. Thanks to
<dholland> one and all.
<dholland>
<dholland> And here are those who've been processing pullups, according to
<dholland> the same analysis:
<dholland>
<dholland> 1 msaitoh@netbsd.org (releng)
<dholland> 1 riz@netbsd.org (releng)
<dholland> 1 sborrill@netbsd.org (releng)
<dholland> 1 snj@netbsd.org (releng)
<dholland> 2 spz@netbsd.org (releng)
<dholland> 8 bsiegert@netbsd.org (releng)
<dholland> 9 bouyer@netbsd.org (releng)
<dholland> 248 martin@netbsd.org (releng)
<dholland>
<dholland> This is skewed far more toward Martin even than last year. Many,
<dholland> many, many thanks, Martin.
<dholland>
<dholland> <eot>
<leot> Thanks dholland!
```

---

## 13.12. Q&A

---

```
<leot> We can start the Q&A time. If you have any questions please `/msg leot <question>` and I will voice
<leot> No questions?
<leot> OK! Let's go ahead... Cryo, the floor is your!
<leot> Whoops, sorry!
<leot> One question!
<Cryo> -
```

---

### 13.12.1. drm update

---

```
<Cryo> Thanks to all the places that host our server machines and thanks to
<Cryo> all kind heroes who do hands-on work too on them!
<PGoyette> for core(?) what are plans for maintaining "currency" of video drivers? riastradh@ did a huge :
<Riastradh> We'll do a drm update, I was mostly waiting for netbsd-10.
<PGoyette> thanks. are you targetting 11.0?
<Riastradh> hope so
<PGoyette> great!
<leot> Thanks PGoyette and Riastradh! We have another question in the queue.
```

---

### 13.12.2. pullups

---

```
<andvar> for releng: the pullups are handled by martin mainly. Is it expected and is there a need or way to
<leot> Anyone from releng and/or who can answer that? (if you do not have voice feel free to /msg me)
<Riastradh> andvar: martin is doing a lot of the releng work on a part-time consulting basis (part of the !
<andvar> OK, thanks. In case hands are needed, this work may be possible for me from time to time.
<leot> Thanks andvar and Riastradh!
<Cryo> -
```

---

## 13.13. Closing

---

```
<Cryo> Thanks to all the executive committees who do a lot of work behind the
```

<Cryo> scenes to keep everything running smoothly!  
<Cryo> -  
<Cryo> Thanks to everyone who is running our services, participating and  
<Cryo> helping in mailing lists, chat and other communities and filling PRs!  
<Cryo> -  
<Cryo> Finally, thank you, for being part of this process today, fixing bugs,  
<Cryo> committing new features and making NetBSD and pkgsrc the best operating  
<Cryo> system and packaging system!  
<Cryo> -  
<Cryo> We couldn't do it without you, and please keep up the excellent work!  
<Cryo> -  
<Cryo> -  
<Cryo> Respectfully submitted on behalf of the Board of Directors  
<Cryo> .eof  
<Cryo> Now, let's crank it up to 11.  
<Cryo> o/ Thank you all for coming  
<Cryo> We appreciate you taking time to come to our AGM  
<Cryo> We look forward to the NetBSD-11 release, and seeing you at the next AGM  
<Cryo> (optimistically)  
\* Cryo closes the curtains and gets the broom out for the popcorn on the floor... watch out for spilled dr:  
<Cryo> EOF  
<Cryo> Copyright 2024, The NetBSD Foundation, Inc. All Rights Reserved. Objects may appear closer in mirro  
\* spz whaps Cryo with a small trout for the pun  
<Cryo> who left these bricks laying around?  
<Cryo> See y'all next year!

---

## nono 0.7.3 (2024/07/03)

nono は NetBSD とかで動作する OMRON LUNA-I/LUNA-88K のエミュレータです。何故か SHARP X68030 と virt-m68k も動いたりするかも知れません。 [nono is OMRON LUNA-I/LUNA-88K emulator runs on NetBSD and etc. It can also emulate SHARP X68030 and virt-m68k.]

### Index of this page:

- [1. ビルド方法 \[How to build\]](#)
- [2. 実行方法 \[How to execute\]](#)
- [3. 設定 \[Configuration\]](#)
- [4. VM について \[About VM\]](#)
- [5. 実行してみる \[Try it\]](#)
- [6. ホストネットワーク設定例 \[Example of host network setup\]](#)
- [7. 既知の問題 \[Known Issues\]](#)
- [8. 過去のバージョンからの移行方法 \[How to migrate from old versions\]](#)
- [9. 変更履歴 \[Changes\]](#)
- [10. 連絡先、ライセンス等 \[Contact, License, etc\]](#)

緑背景は新規または目立った更新のあった箇所です。 [Green Background is new or updated paragraph.]

### ▼ 1. ビルド方法 [How to build]

ビルドには以下が必要です。 [The followings are required for build.]

- make (BSD make, not GNU make)
- C/C++ compiler which supports -std=c++14.  
(For gcc, at least 7.4 or later. For clang, at least 7.0 or later.)
- wxWidgets 3.2.x "stable" branch. (3.0.x "old stable" branch would also work but is not confirmed.)
- gettext

wxWidgets は NetBSD(pkgsrc) なら pkgsrc/x11/wxGTK32 です (wxGTK30 でも動くはずです)。 [If you use NetBSD(pkgsrc), wxWidgets is pkgsrc/x11/wxGTK32 (or wxGTK30).]

(NetBSD 以外でのビルドはサポートしていませんが) Ubuntu ではたぶん以下のパッケージが必要です。 [You may need the following packages on Ubuntu (though we won't support non-NetBSD platform).]

- Ubuntu 22.04: bmake, build-essential, gettext, libbsd-dev, libkqueue-dev, libwxgtk3.0-gtk3-dev, zlib1g-dev
- Ubuntu 24.04: bmake, build-essential, gettext, libbsd-dev, libkqueue-dev, libwxgtk3.2-dev, zlib1g-dev

nono のソースアーカイブを展開したら以下のようにビルドします。 [Extract the nono's source archive and build as following.]

```
% ./configure [<options>]
% make -DRELEASE depend
% make -DRELEASE
% su
make install
```

configure には環境変数 CC、CXX でコンパイラを指定することが出来ます。 wx-config が標準的な名前で提供されていないために見付けられない場合には環境変数 WX\_CONFIG にパスを指定することが出来ます。また configure のオプションとして以下が指定できます。 [You can specify C/C++ compiler using environment variable CC and CXX if configure cannot find standard name suitable compiler. You can specify wx-config path using environment variable WX\_CONFIG if configure cannot find wx-config. Also, you can specify the following option for configure. ]

- --disable-avx2 ... amd64(x86\_64) で AVX2 対応コードを無効にします。デフォルトでは、コンパイラが AVX2 に対応していることを configure が検出できれば AVX2 対応コードを生成します。 [Disable AVX2 support on amd64(x86\_64). By the default, it will generate AVX2 supported binary only if configure detects that compiler supports AVX2.]

make install により2つの実行ファイルがインストールされます。 nono が GUI 版実行ファイル、 nono-cli がコマンドライン版です。 [make install will install two executables. nono is the GUI executable and nono-cli is the command line executable.]

### ▼ 2. 実行方法 [How to execute]

nono は複数機種に対応しているため設定なしでは起動できません。設定は設定ファイルかコマンドラインオプションで指定します。詳細は以下の設定の章を参照してください。 [nono supports multiple architectures so that it

needs configuration. See the following Configuration section for details.]

## ▼ 2.1. コマンドラインオプション [Command Line Option]

-c *vmpath*

VM ディレクトリ/設定ファイルを指定します。 *vmpath* がディレクトリならそのディレクトリの中の *nono.cfg* を設定ファイルとします。 *vmpath* がファイルならそれを設定ファイルとします。そしていずれの場合も設定ファイルがあるディレクトリを VM ディレクトリとします。 -c オプションを省略すると *vmpath* をカレントディレクトリとします。 [Specifies the VM directory/configuration file. If *vmpath* is a directory, make *nono.cfg* in that directory a configuration file. Or if *vmpath* is a file, make the specified file a configuration file. And in both cases, make the directory where that file is located a VM directory. If -c option is omitted, *vmpath* is considered as the current directory.]

--create-sram

(X68030 Only) VM ディレクトリに X68030 用の SRAM.DAT がなければ初期状態で作成して終了します。 [nono will create the initial SRAM.DAT for X68030 and exit, if there is no SRAM.DAT in the VM directory.]

-f

高速モードで起動します。 GUI なら起動後にもメニューから変更できますが、その初期値を変えるだけです。設定の *fast-mode=1* と等価です。 [Boot as the fast mode. You can change this mode on GUI menu after boot, and the option only changes its initial state. This option is equivalent to *fast-mode=1* in configuration.]

--fontsize *height*

GUI 版のみ。全サブウィンドウの起動時のフォントサイズを指定します。起動後にメニューから変更できます。設定の *monitor-fontsize* と等価です。 [GUI Only. Specifies the initial fontsize of all sub windows. You can change this value on GUI menu after boot. This option is equivalent to *monitor-fontsize* in configuration.]

--initrd *file*

(virt-m68k only) カーネルに渡す初期 RAM ディスクのパスを指定します。 *file* が相対パスの場合カレントディレクトリからのパスになります。設定の *exec-initrd* とは相対パスの起点の違いを除いて同一です。 [Specifies the initial ramdisk image passed to the kernel. If *file* is relative path, it is path from the current directory. This option is equivalent to *exec-initrd* in configuration except for base directory of the relative path.]

-s *scale*

GUI 版のみ。メインウィンドウの起動時のスケールを実数で指定します。設定の *mainview-scale* と等価です。起動後はメニューからプリセットされた倍率と *mainview-scale* で指定された倍率には変更可能です。 [GUI Only. Specifies the initial main window scale in real number. This is equivalent to *mainview-scale* in configuration. You can change this scale on GUI menu after boot.]

--show-config

設定ファイルと -v オプションを読み込んだ結果を表示します。 [Shows the result of reading configuration file and parsing -v options.]

-v

バージョンを表示します。 [Shows the version.]

-V *name=value*

設定ファイルで指定した *name=configvalue* の代わりにこのオプションの *name=value* を適用します。 *name* が正しくない場合はエラー終了します。 [Use this *name=value* instead of *name=configvalue* specified in configuration file. If *name* is not correct, it will exit on error.]

-X *file*

ホストの *file* をロードして実行します。 *file* が相対パスの場合カレントディレクトリからのパスになります。設定の *exec-file* とは相対パスの起点の違いを除いて同一です。ファイルが gzip 圧縮されていれば自動的に展開します。(展開後の) ファイル形式は以下の通りですが、実際にはブートローダとカーネル程度しか想定していません。また、いずれも起動元デバイスが取得できないなどの問題はあるかも知れません。 [Loads and executes host's *file*. If *file* is relative path, it is path from the current directory. This option is equivalent to *exec-file* in configuration except for base directory of the relative path. If the file is gzip'd, it is automatically extracted. The supported file format (after extracting) is the following. Actually, it only assumes bootloaders or kernels. And note that it may not obtain some information that where did I boot from, for example.]

- a.out (OMAGIC) 実行ファイル (おそらくブートローダのみサポート) [a.out (OMAGIC) executable (It probably supports bootloaders only)]
- ELF 実行ファイル (おそらくカーネルのみサポート。NetBSD の実行ファイルのようであれば、カーネルだと思ってシンボルテーブルも読み込みます) [ELF executable (It probably supports the kernel

only. If the file is assumed to be NetBSD executable, it will also load symbol tables as the bootloader does to the kernel.)]

- ELF object (Experimental)
- Human68k .x executable (Experimental)

LUNA では設定の `prom-image` (後述) に基づく内蔵の互換 ROM で起動します。 `luna-dipsw1` の DIPSW 設定が `dipsw-autoboot=yes` 相当の状態ならそのまま直ちにホストファイルを実行し、そうでなければ互換 ROM のプロンプトで停止します。後者の場合でも LUNA-I なら "g" コマンド、LUNA-88K なら "b" コマンドによるロードはここで指定したホストファイルをロードします。X68030 では、IPLROM 起動の後の起動デバイスに細工がしてあり、そこからホストファイルを実行します。 `virt-m68k` (と NEWS) はこの方法でしか起動できませんので、実行ファイルの指定は必須になります。 [On LUNA, regardless of `prom-image` configuration (see below), it boots the internal emulated PROM. If `luna-dipsw1` configuration meets `dipsw-autoboot=yes`, it will immediately load and execute the host file. Otherwise, it will wait in prompt. Even in this case, "g" command (in LUNA-I) or "b" command (in LUNA-88K) will load the host file that is specified by this option. On X68030, nono hacks the boot device after normal boot from IPLROM, and loads and executes the host file. On `virt-m68k` (and NEWS), this is the only way to boot.]

以下開発用。 [For developers:]

- b `hexaddr[,skipcount]`  
デバッガのブレークポイントを 16進数で指定します。
- C  
ログをコンソールにも出力します。通常はログウィンドウにだけ出力されます。
- d  
起動時にデバッガプロンプトで停止します。
- D  
コンソールをデバッガとして使用します。過去との互換性のために存在していますが、 `-V debugger-driver=stdio` と等価です。
- L `name1=level1[,name2=level2,...]`  
ログレベルを指定します。カンマで区切って複数指定することも出来ます。 `-Lhelp` で `name` の一覧を表示します。
- M `name[,name2,...]`  
起動時に表示するモニタウィンドウを指定します。カンマで区切って複数指定することも出来ます。 `-Mhelp` で `name` の一覧を表示します。

### ▼ 3. 設定 [Configuration]

`nono` の設定はいずれも以下の順序で適用されます。 [nono's configurations are always applied in the following order.]

1. デフォルト値 [Default value]
2. `~/nono.cfg` があればその内容 [Contents of `~/nono.cfg` if exists]
3. VM ディレクトリ内の `nono.cfg` (または `-c` で指定したファイル) があればその内容 [Contents of `nono.cfg` in the VM directory (or the file specified by `-c` option) if exists]
4. コマンドラインオプション [Command line option]

ファイルの書式はどちらも `key = value` 形式で1行1項目ずつです。 `key` と `value` の前後の空白は取り除かれます。また空行と "#" で始まる行は無視します。知らないキーは警告を出した上で無視します。同じキーが複数回現れた場合、上に列挙した順に後から書いたほうで上書きし、同じファイル内でも同様に後に書いたほうで上書きします。コマンドラインオプション `-v` 等はこれをさらに上書きします。コマンドラインオプションで同じキーが複数回現れた場合も後に書いたほうが上書きします。 [ The syntax of both files is `key = value` format, one per line. White spaces before and after `key` and `value` are ignored. Blank lines, lines beginning with "#" are also ignored. The lines with unrecognized key are ignored with a warning. If the same key appears more than once, the latter overwrites the former in the above order. If the same key appears in a file, the latter overwrites the former in the same manner. Then, command line option `-v` etc. overwrites them. If the same key appears more than once in the command line option, do in the same manner.]

`vmtype` を除くすべての設定項目はそれぞれデフォルト値を持っています。つまり少なくとも `vmtype` だけは設定ファイルかコマンドラインオプションで指定する必要があります。 [All configuration items except `vmtype` have default value. It means, you need to specify at least only `vmtype` by configuration file or commandline option.]

設定項目は次の通りです。 [The configuration items are:]

- ```
vmtype = string
```
- VM 種別を以下のいずれかから指定します。省略不可です。 [Specifies the VM type from the following. This field is mandatory.]
- | | |
|----------------------|----------------------------|
| <code>luna</code> | ... LUNA-I |
| <code>luna88k</code> | ... LUNA-88K |
| <code>x68030</code> | ... X68030 |
| <code>news</code> | ... NWS-1750 (Just a joke) |

virt-m68k (or virt68k) ... virt-m68k

cgrom-image = *path*

(X68030 Only) X68030 の外部 CGROM イメージファイルのパスを指定します。CGROM は 768KB です。 *path* がファイル名のみなら VM ディレクトリとその親ディレクトリからこのファイル名を検索します。 *path* が相対パスなら VM ディレクトリからの相対パスになります (現在のディレクトリからではありません)。空にすると nono 内蔵の互換 CGROM を使用します。デフォルトは空です。 [Specifies the X68030's external CGROM image file path. This CGROM is 768KB. If the *path* does not have any path delimiters, the VM directory and then its parent directory will be searched. If the *path* is a relative path, it will be path from the VM directory, not from the current directory. If the *path* is empty, nono's builtin compatible CGROM will be used. The default value is empty.]

clock-sync = *value*

仮想マシン内の時刻の同期方法を指定します。 *real* なら実時間に同期、 *virtual* なら仮想時間に同期します。デフォルトは *real* です。この機能は実験中のため将来予告なく仕様が変更になる可能性があります。 [Specifies how to synchronize the time in virtual machine. If *real*, synchronize with the real time; if *virtual*, synchronize with the virtual time. The default is *real*. This feature is under experimentation and may be changed in the future without notice.]

debugger-driver = *string*

デバッガのコンソールドライバを指定します。 *stdio*、*tcp*、*none* が選択可能です。 *stdio* は標準入出力を使用します。 *tcp* は TCP ポートで TELNET プロトコルで待ち受けます。 *none* ならホスト側とは一切通信を行いません。デフォルトは *none* です。 [Specifies console driver of the debugger. *stdio*, *tcp*, and *none* can be specified. *stdio* uses the standard input/output. *tcp* listens on TCP port using TELNET protocol. *none* doesn't make any communication with the host. The default is *none*.]

debugger-tcp-port = *integer*

デバッガのコンソールドライバが *tcp* の時の TCP 待ち受けポート番号を指定します。 [Specifies the TCP port number that debugger console driver listens.]

dipsw-autoboot = *yesno*

(LUNA and NEWS Only) 機種に依存せず DIPSW を自動起動に設定するかどうか指定します。 "yes" なら自動起動するように、 "no" なら自動起動しないように DIPSW 設定を上書きします。 "" (空) なら何もしません。デフォルトは "" です。このオプションは *luna-dipsw1* や *news-dipsw* の状態が設定ファイルやコマンドラインオプションによって確定した後に該当のスイッチだけを変更します。 [Specifies whether to configure DIPSW to boot automatically, regardless of the models. "yes" overwrites DIPSW, to boot automatically. "no" overwrites DIPSW, not to boot automatically. "" (Empty) does nothing. The default value is "". This option only changes the appropriate switch(es) after the *luna-dipsw1* OR *news-dipsw* configuration is determined by the configuration file or command line options.]

dipsw-serial = *yesno*

(LUNA and NEWS Only) 機種に依存せず DIPSW をシリアルコンソールを使うかどうか指定します。 "yes" ならシリアルコンソールを使うように、 "no" ならシリアルコンソールを使わないように DIPSW 設定を上書きします。 "" (空) なら何もしません。デフォルトは "" です。 *luna-dipsw1* もしくは *news-dipsw* (機種による) の状態が設定ファイルやコマンドラインオプションによって確定した後にこのオプションによって該当のスイッチだけを変更します。NEWS でシリアルコンソールを使わないを選択した場合、SW1,2,3 は OFF, OFF, ON にセットされ、NWB-512 モノクロコンソール(未実装) が選択されます。 [Specifies whether to configure DIPSW to use serial console, regardless of the models. "yes" overwrites DIPSW, to use serial console. "no" overwrites DIPSW, not to use serial console. "" (Empty) does nothing. The default value is "". This option only changes the appropriate switch(es) after the *luna-dipsw1* OR *news-dipsw* configuration is determined by the configuration file or command line options. If you choose not to use serial console on NEWS, SW1,2,3 will be set OFF, OFF, ON respectively, and NWB-512 monochrome console (not implemented) will be chosen.]

ethernet-macaddr = *string*

ethernet*N*-macaddr = *string*

N 番目のイーサネットデバイスの仮想マシン側の MAC アドレスを指定します。 *xx:xx:xx:xx:xx:xx* 形式で指定します。 *auto* なら自動的に決定します。デフォルトは *auto* です。 *ethernet-macaddr* は *ethernet0-macaddr* の別名です。

exec-file = *path*

起動時にロードするホストの実行ファイルを指定します。 *-X* オプションとほぼ同等ですが、相対パスは VM ディレクトリを起点にします。 [Specifies the host file that will be loaded at startup. This is mostly the same as *-X* option. The only one difference is that relative path originates the VM directory.]

exec-initrd = *path*

(virt-m68k Only) カーネルに渡す初期 RAM ディスクイメージのパスを指定します。 *--initrd* オプションとほぼ同等ですが、相対パスは VM ディレクトリを起点にします。 [Specifies the initial ramdisk image passed to the kernel. This is mostly the same as *--initrd* option. The only one difference is that relative path originates the VM directory.]

`extram-size = integer`

(X68030 Only) 拡張メモリのサイズを MB 単位で指定します。今の所以下だけが指定できます。 [Specifies the extended RAM size in MB. For now, only the following can be specified.]

- 0 ... 拡張メモリを使用しません。デフォルトです。 [No extended memory. It's default.]
- 16 ... TS-6BE16 互換モードで、アドレス \$0100'0000 からの 16MB です。 [TS-6BE16 compatible mode. Its address is from \$0100'0000 and the size is 16MB.]
- 128/256/512 ... 060turbo 互換モードで、アドレス \$1000'0000 からです。 [060turbo compatible mode. Its address is from \$1000'0000.]

`fast-mode = integer`

起動時の動作モードを指定します。0 なら通常モード、1 なら高速モードです。デフォルトは 0 です。コマンドラインオプション `-f` でも高速モードへのみ指定可能です。

`fd-drive = integer`

(X68030 Only) フロッピードライブの数を 0 から 4 で指定します。デフォルトは 2 です。 [Specifies the number of floppy drives from 0 to 4. The default is 2.]

`fdN-image = path`

(X68030 Only) フロッピードライブ *N* に起動時に挿入するディスクイメージを指定します。イメージパスが相対パスなら VM ディレクトリからの相対パスになります。起動後はメニューから操作できます。デフォルトは空です。 [Specifies a diskimage to be inserted to floppy drive *N* at startup. If the *path* is relative path, it is from the VM directory. You can also operate them from menu after startup. The default is empty.]

`fpu-type = value`

(X68030 Only) FPU を装着するかどうか指定しています。none なら FPU を装着しません。68881 なら FPU として 68881 を装着します。現状 68882 はサポートしていません。また none の代わりに 0、68881 の代わりに 1 と書くこともできます。デフォルトは 68881 です。LUNA-I はたぶん 68881 搭載モデルのみのため設定できません。virt-m68k も現状 68881 固定としています。 [Specifies whether to install FPU or not. If none, FPU is not installed. If 68881, 68881 FPU is installed. 68882 is not supported yet. And, none can also be written as 0, 68881 can also be written as 1. The default is 68881. This item cannot be specified on LUNA-I because (probably) all LUNA-I has 68881. This item also cannot be specified on virt-m68k for now.]

`host-avx2 = string`

ホストが amd64(x86_64) の場合にレンダリングに AVX2 アクセラレーションを使うかどうかを指定します。auto なら起動時にホスト CPU が AVX2 をサポートしているか確認し、サポートしていれば使用します。no なら AVX2 コードを実行しません。デフォルトは auto です。amd64(x86_64) 以外のホストではこの設定は無視されます。 [Specifies whether to use AVX2 acceleration for rendering on amd64(x86_64) host. If auto, nono checks whether the host CPU supports AVX2 on startup and use it if it does. If no, nono will not execute AVX2 instructions. The default is auto. Note that this item is ignored if the host is not amd64(x86_64).]

`host-neon = string`

ホストが aarch64 の場合にレンダリングに NEON アクセラレーションを使うかどうかを指定します。auto なら使用し、no なら使用しません。デフォルトは auto です。aarch64 以外のホストではこの設定は無視されます。 [Specifies whether to use NEON acceleration for rendering on aarch64 host. If auto, nono uses NEON code. If no, nono don't use NEON code. The default is auto. Note that this item is ignored if the host is not aarch64.]

`hostcom-driver = string`

シリアルポートのホスト側ドライバを指定します。stdio、tcp、none が選択可能です。stdio は標準入出力を使用します。tcp は TCP ポートで TELNET プロトコルで待ち受けれます。none ならホスト側とは一切通信を行いません。デフォルトは none です。 [Specifies the host driver of serial port. stdio, tcp, and none can be specified. stdio uses the standard input/output. tcp listens on TCP port using TELNET protocol. none doesn't make any communication with the host. The default is none.]

`hostcom-tcp-port = integer`

ホストドライバが tcp の時の TCP 待ち受けポート番号を指定します。 [Specifies the TCP port number that host driver listens.]

`hostcom-fallback = integer`

hostcom-driver で指定したドライバが使用可能でなかった時、0 ならプロセスを終了します。1 なら none を選択して実行を継続します。デフォルトは 0 です。 [Specifies the behavior when the driver which is selected by hostcom-driver is unusable; terminate the process if 0, or continue to run using the none driver if 1. The default is 0.]

`hostkbd-input = string`

(LUNA and X68030 only) ホストキーボードの入力モードを指定します。char ならキャラクタ入力モード、

jp なら日本語キーボードモードです。デフォルトは char です。詳細は [VM について](#) の章を参照してください。
[Specifies the input mode of the host keyboard. char means the character mode, jp means the Japanese keyboard mode. The default is char. See [About VM](#) for details.]

```
hostnet-driver = string
hostnet-afpacket-ifname = ifname
hostnet-bpf-ifname = ifname
hostnet-tap-devpath = path
hostnet-fallback = integer
```

それぞれ hostnet0-* の別名です。

hostnetN-driver = string
N 番目のイーサネットデバイスのホスト側ドライバを指定します。afpacket、bpf、tap のうちホスト OS がサポートしているものと auto、none が選択可能です。afpacket は Linux の AF_PACKET ソケットを使用します。bpf は bpf(4) デバイスを使用します。tap は tap(4) インタフェースを使用します。none ならホスト側とは一切通信を行いません。auto ならホスト OS がサポートしているものうち tap → afpacket → bpf を順に試します。hostnet0-driver のデフォルトは auto、hostnet1-driver のデフォルトは none です。[Specifies the host driver of N-th ethernet device. afpacket, bpf, and tap can be specified only if the host OS supports them. auto and none can always be specified. afpacket uses Linux's AF_PACKET socket, bpf uses bpf(4) device, and tap uses tap(4) interface. none doesn't make any communication with the host. If auto is specified, it tries tap, afpacket, and bpf in that order (if the host OS supports them). The default of hostnet0-driver is auto, the default of hostnet1-driver is none.]

hostnetN-afpacket-ifname = ifname
ホストドライバが afpacket の時にバインドするインタフェースを1つ指定します。ifname が auto なら使用可能なインタフェースを1つ自動的に選択します。デフォルトは auto です。なお、このホストドライバではローカルホストとの通信は出来ません。[Specifies an interface name to bind to, when the host driver is afpacket. If auto is specified as ifname, it selects an usable interface automatically. The default is auto. Note that this host driver cannot communicate with the localhost.]

hostnetN-bpf-ifname = ifname
ホストドライバが bpf の時にバインドするインタフェースを1つ指定します。ifname が auto なら使用可能なインタフェースを1つ自動的に選択します。デフォルトは auto です。なお、このホストドライバではローカルホストとの通信は出来ません。[Specifies an interface name to bind to, when the host driver is bpf. If auto is specified as ifname, it selects an usable interface automatically. The default is auto. Note that this host driver cannot communicate with the localhost.]

hostnetN-tap-devpath = path
ホストドライバが tap の時に使用するデバイスを1つフルパスで指定します。デフォルトは auto で、この場合は自動的にデバイスを選択します。この時の探し方はホスト OS によって異なります。Linux なら /dev/net/tun を指定したのと同じです。OpenBSD なら /dev/tap0 から /dev/tap9 まで順番にオープンできるまで試します。NetBSD (と FreeBSD) ならまず /dev/tap でクローニングを試み、それが失敗すれば /dev/tap0 から /dev/tap9 までを順番にオープンできるまで試します。いずれの場合も VM ディレクトリかその親ディレクトリに nono-ifup、nono-ifdown という名前のシェルスクリプトが必要です。何もすることがない場合でも正常終了する空のシェルスクリプトを用意してください。[Specifies a device pathname, when the host driver is tap. The default is auto. The behavior in this case depends on the host OS. On Linux, it's the same as /dev/net/tun. On OpenBSD, it will try from /dev/tap0 to /dev/tap9 until successful. On NetBSD (and FreeBSD), it will try cloning by /dev/tap first. If that fails, then try from /dev/tap0 to /dev/tap9 until successful. In all cases, you need to prepare two shell script files which names are nono-ifup and nono-ifdown in the VM directory or its parent directory. Even if you don't have anything to do in these scripts, you need to prepare empty scripts that will terminate successfully.]

hostnetN-fallback = integer
hostnetN-driver で指定したドライバが使用可能でなかった時、0 ならプロセスを終了します。1 なら none を選択して実行を継続します。デフォルトは 0 です。[Specifies the behavior when the driver which is selected by hostnetN-driver is unusable; terminate the process if 0, or continue to run using the none driver if 1. The default is 0.]

iplrom1-image = path
(X68030 Only) X68030 の外部 IPLROM イメージファイルのパスを指定します。こちらは 0xfe0000..0xfffff の 128KB の部分で、IPLROM30 と呼ばれているほうです。path がファイル名のみなら VM ディレクトリとその親ディレクトリからこのファイル名を検索します。path が相対パスなら VM ディレクトリからの相対パスになります (現在のディレクトリからではありません)。空にすると無償配布されている IPLROM30 を使用します。デフォルトは空です。[Specifies the X68030's external IPLROM image file path. This one contains 128KB at 0xfe0000..0xfffff and is known as IPLROM30. If the path does not have any path delimiters, the VM directory and then its parent directory will be searched. If the path is a relative path, it will be path from the VM directory, not from the current directory. If the path is empty, the public released IPLROM30 will be used. The default value is empty.]

iplrom2-image = path

(X68030 Only) X68030 の外部 IPLROM イメージファイルのパスを指定します。こちらは 0xfc0000..0xfdffff の 128KB の部分で、ROM30 と呼ばれているほうです。 *path* がファイル名のみなら VM ディレクトリとその親ディレクトリからこのファイル名を検索します。 *path* が相対パスなら VM ディレクトリからの相対パスになります (現在のディレクトリからではありません)。空にすると内蔵 ROM を使用します。内蔵 ROM は NetBSD/x68k が起動する程度の SCSI IOCS のみサポートしています。デフォルトは空です。 [Specifies the X68030's external IPLROM image file path. This one contains 128KB at 0xfc0000..0xfdffff and is known as ROM30. If the *path* does not have any path delimiters, the VM directory and then its parent directory will be searched. If the *path* is a relative path, it will be path from the VM directory, not from the current directory. If the *path* is empty, internal emulated ROM will be used. The ROM supports only enough SCSI IOCS to boot NetBSD/x68k. The default value is empty.]

keyboard-connect = *integer*

(LUNA and X68030 Only) 起動時にキーボードを本体に接続するかどうかを指定します。1 なら接続し、0 なら接続しません。デフォルトは 1 です。起動後はメニューから変更可能です。 [Specifies whether to connect keyboard on boot. If 1, it is connected; if 0, it isn't connected. The default is 1. You can change it on GUI menu after boot.]

luna-adjust-misused-epoch = *integer*

(LUNA Only) LUNA で誤った RTC epoch を採用している OS 向けに RTC エミュレーションを補正するかどうかを指定します。0 なら補正をしません(実機と同じ動作)、1 なら補正します(現実世界と同じ動作)。デフォルトは 1 で、通常 1 のままで使用して問題ありません。 [Specifies whether nono corrects RTC emulation for OSes that adopts wrong RTC epoch on LUNA. 0 means making no correction (this is the same behavior as the actual machine). 1 means making correction (this is the same behavior as the real world). The default is 1. Normally, leave it 1.]

LUNA で採用している RTC (MK48T02) は2桁で保持している年の値が 4 で割り切れる年をうるう年とする仕様です。ところが NetBSD/luna68k、OpenBSD/luna88k などはこの RTC の年の値を 1970年からの経過年として使用しています。例えば1970年はうるう年ではないため 2月28日の翌日は 3月1日ですが、MK48T02 的には 00年であるためうるう年と認識し 2月28日の翌日が2月29日になります。このように、これらの OS を使っている場合実機の RTC は4年のうち約2年間、1日ずれた日付を指しているようです。しかしながら、RTC の時刻は OS 起動時に一度読んだ後は基本的に参照しない上、今時必要なら NTP で時間を合わせるため、実機でも問題が顕在化することはまずないと思います。nono の場合は実機と異なり、アプリケーション実行中しか RTC が進まないため、補正がない場合の動作が問題になるのは nono を起動したまま偶数年の2月末日から日付をまたいで、かつ nono を起動したまま OS を再起動して NTP などで時刻修正を行わなかった時だけだと思います。このオプションはほぼ開発者向けの動作確認用です。

luna-dipsw1 = *string*

(LUNA Only) 本体前面 DIPSW#1-1..#1-8 の内容を指定します。"0" を DOWN、"1" を UP として、これを 8つ並べた形式で、前から順に #1..#8 に対応します。 [Specifies status of the front panel DIPSW#1-1..#1-8 using 8 digits. "0" means DOWN and "1" means UP. The first character corresponds to #1 and the eighth character corresponds to #8.]

LUNA-I でのデフォルトは 11110111 です。各スイッチの内容は以下のリンクを参照してください。 [On LUNA-I, the default value is 11110111. See the following link about DIPSW.]

→ [NetBSD/luna68k: Information](#)

LUNA-88K でのデフォルトは 11111111 です。各スイッチの内容は以下のリンクを参照してください。 [On LUNA-88K, the default value is 11111111. See the following link about DIPSW.]

→ [OpenBSD manual pages: boot_luna88k\(8\)](#)

自動起動するかどうかとシリアルコンソールを使うかどうかを指定したい場合はこちらではなく [dipsw-autoboot](#)、[dipsw-serial](#) 設定を使うほうが便利です。 [If you only want to specify whether to autoboot and/or to use serial console, [dipsw-autoboot](#), [dipsw-serial](#) configurations are useful.]

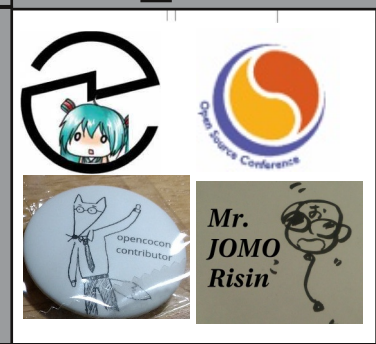
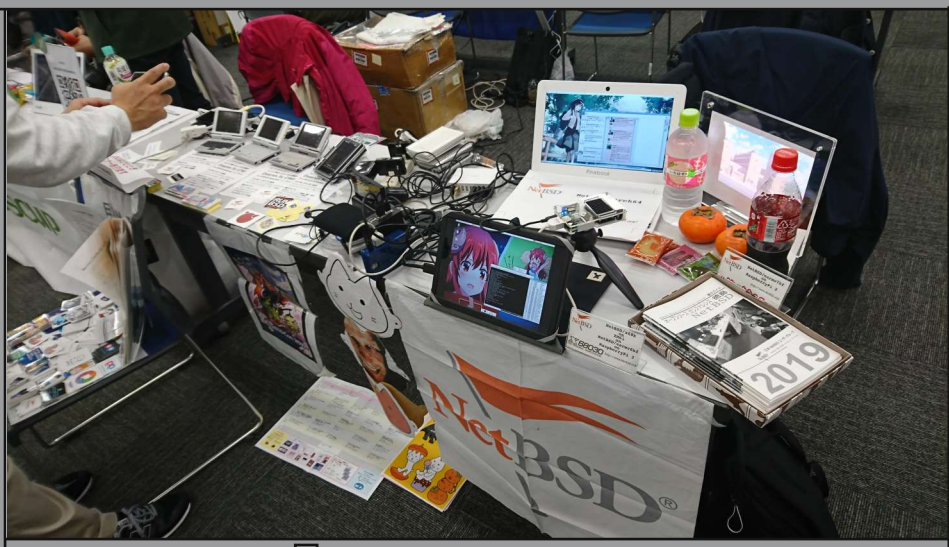
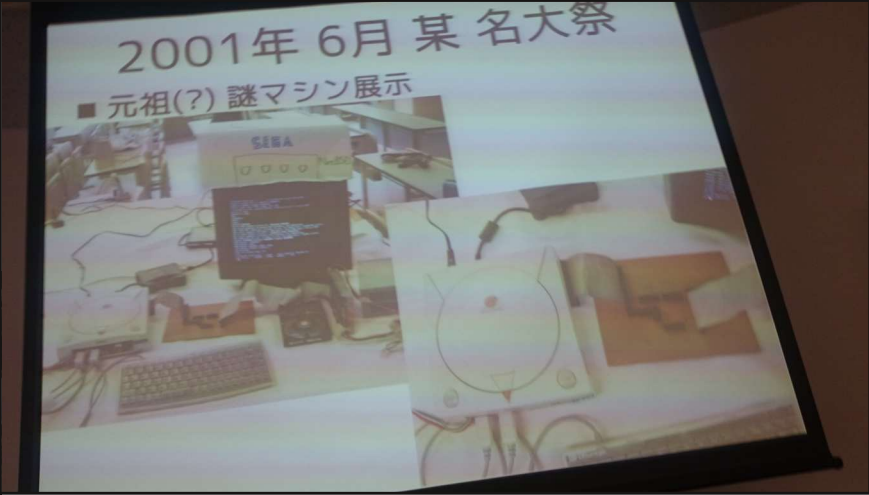
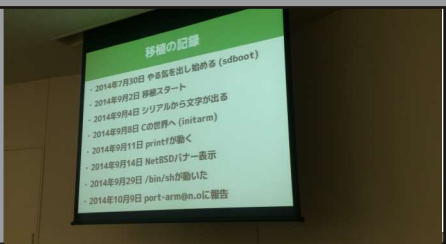
luna-dipsw2 = *string*

(LUNA Only) 本体前面 DIPSW#2-1..#2-8 の内容を指定します。書式は luna-dipsw1 と同じです。デフォルトは 11111111 です。 [Specifies status of the front panel DIPSW#2-1..#2-8. The same syntax as luna-dipsw1 is used. The default value is 11111111.]

NetBSD/luna68k のブートローダは、DIPSW#2 が "11111111" なら自動的にカーネルをロードして実行し、どれかでも "0" にするとプロンプトで停止するようです。(本当は #8 だけで制御するつもりだったんじゃないかという気がします) [NetBSD/luna68k bootloader will automatically load and execute the kernel, if the DIPSW#2 is "11111111". Otherwise, the bootloader will enter interactive mode. (I doubt that they actually wanted to switch with only #8)]

luna-video-plane = *integer*

(LUNA Only) LUNA のビデオボードのプレーン数を 1、4、8 から指定します。1 ならモノクロビデオボード、4 なら16色 (4bpp) ビデオボード、8 なら 256色 (8bpp) ビデオボードです。デフォルトは 4 です。 [Specifies number of planes on LUNA video board. The valid values are 1, 4 or 8. 1 means a



Issue: 204
2024/10/19,26

contact: jun@soum.co.jp twitter: @ebijun
backnumber: github.com/ebijun/osc-demo/
facebook.com/NetBSD.jp